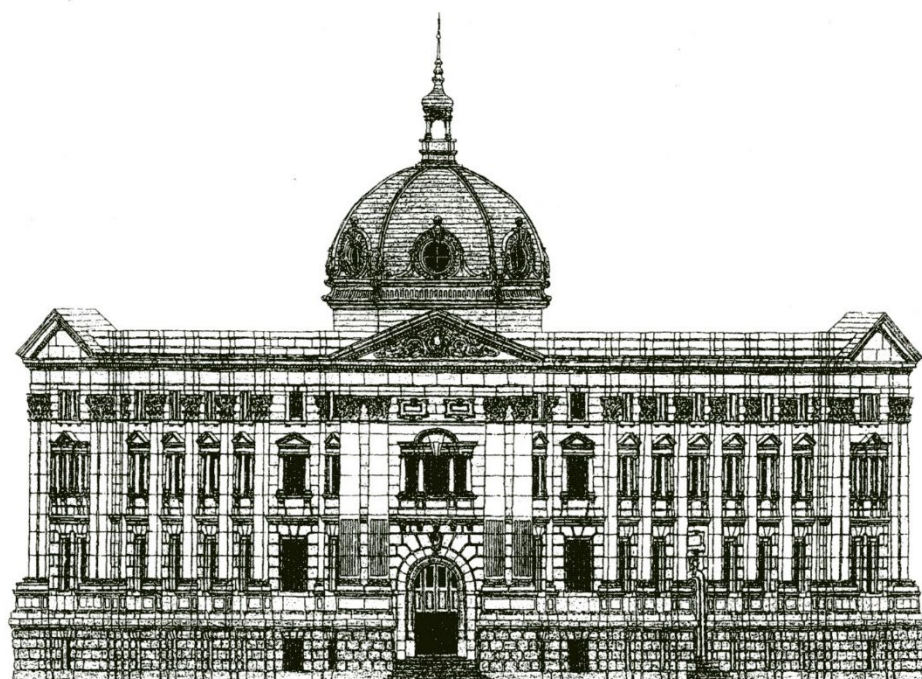


神奈川県立歴史博物館年報

令和4年度



神奈川県立歴史博物館

はじめに

令和5年4月1日、制定から約70年を経た博物館法の一部を改正する法律が施行され、これからの博物館に求められる役割を果たしていくための規定が整備されました。この大きな変化を目前にした令和4年度の神奈川県立歴史博物館は、2年以上に及ぶコロナ禍から少しずつ社会的な営みが再開され、様々なステージにおいてReスタートの機運が高まりつつあることを捉えながら、運営を開始しました。

展示活動は、常設展の他に特別展を3回、特別陳列を1回開催しました。特別展「洞窟遺跡を掘る－海蝕洞窟の考古学－」は、半世紀前に当館が発掘した間口洞窟遺跡をはじめとする三浦半島の洞窟遺跡や周辺の遺跡から出土した資料を通して、そこに生きた人々の暮らしぶりをひも解くとともに考古学の魅力を紹介しました。

特別展「地図最前線－紙の地図からデジタルマップへ－」は、主に近現代の「紙の地図」に焦点を当て、地図を作り、地図を使った人たちの活動を、幕末以降に製作された地図や関連資料などを展示しながら紹介しました。

特別展「源頼朝が愛した幻の大寺院 永福寺と鎌倉御家人－荘厳される鎌倉幕府とそのひろがり－」は、源頼朝が建立し、鎌倉幕府や鎌倉御家人に重要視されていた永福寺の全貌と軌跡を、文献資料・考古資料・美術資料などの多彩な歴史資料群から復原していきました。

特別陳列「松平造酒助江戸在勤日記－武士の絵日記－」は、庄内藩の上級武士である松平造酒助が、江戸在勤中に記した50冊にもおよぶ日記から、江戸における生活や職務、幕末江戸の様相を、日記に描かれた挿絵とともに紹介しました。

一方、各学芸員は専門分野の調査研究活動を着実に進め、その成果を展示に反映させるとともに「神奈川県立博物館研究報告－人文科学－」をはじめとした様々な媒体により発表しました。

また、学習支援活動では、特別展の関連行事や展示解説、講演会や見学会、出張講座や学校団体の受入などを実施し、さまざまな世代、目的の来館者に生涯学習の場を提供しました。併せて、遠隔の地にいる人々にも等しく学びの機会を提供するため、「神奈川県立歴史博物館デジタルアーカイブ」を新たに公開し、デジタルコンテンツを通じた情報発信に取り組みはじめました。加えて、ミュージアムライブラリーでは、図書の整備や、利用者一人ひとりに寄り添ったきめ細やかなレファレンス等を通じて情報提供を行い、来館者の学びを支援しました。

さらに、当館の運営に不可欠なボランティアの方々には、ウィズコロナにおける活動のあり方を模索しながら段階的に活動を再開し、観覧者サービスの向上に寄与いただきました。

博物館法改正に伴い、博物館に求められる役割や機能は多様化、高度化しています。当館でも、資料の収集・保管、展示・普及、調査・研究という基本的活動を充実させつつ、様々な課題にも対応していけるよう、「かながわの歴史と文化」を通史的・総合的に扱う県立博物館として、その価値と魅力を分かち合う博物館活動に努めてまいります。

神奈川県立歴史博物館

目次

はじめに

1 沿革・理念

- (1) 沿革…………… 3
- (2) 神奈川県立歴史博物館の理念…………… 4
- (3) 神奈川県立歴史博物館の使命と運営方針…………… 5

2 管理運営

- (1) 組織…………… 6
 - ア 組織及び分掌
 - イ 職員名簿
- (2) 歳入・歳出…………… 7
 - ア 歳入
 - イ 歳出
- (3) 入館者状況…………… 7
 - ア 入館者数
 - イ 有料入館者内訳
 - ウ 無料入館者内訳
 - エ 特別展の入館者状況
- (4) 広報・広聴…………… 9
 - ア 広報実績
 - イ ホームページアクセス件数
 - ウ Twitter ツイート数・フォロワー数
- (5) 事業評価…………… 9
 - ア 各目標値及び評価指標の達成状況
 - イ 総括
- (6) 施設概要…………… 10
 - ア 概要
 - イ 館内施設
 - ウ 館外施設
 - エ 外部協力
 - オ 平面図

3 調査・研究

- (1) 館独自の研究事業費によるもの…………… 14
 - ア 総合研究
 - イ 連携研究
 - ウ 個別研究
 - エ 調査研究報告会
- (2) 日本学術振興会科学研究費助成事業によるもの…………… 20
- (3) 個人研究活動…………… 24
 - ア 研究報告書
 - イ 個人研究活動

4 資料収集・修理・保管・利用

- (1) 考古資料…………… 37
- (2) 歴史資料…………… 39
- (3) 美術資料…………… 42
- (4) 民俗資料…………… 48
- (5) 写真資料…………… 50
- (6) 資料の燻蒸等…………… 50
- (7) その他の資料…………… 50
 - ア 図書
 - イ 写真
 - ウ 情報システム

5 展示・教育普及・学習支援

- (1) 総合テーマ展示(常設展)…………… 54
- (2) 特別展…………… 55
- (3) その他の展示…………… 68
- (4) 教育普及・学習支援事業…………… 77
 - ア 県立社会教育施設公開講座
 - イ 特別展等関連行事
 - ウ 学芸員による展示解説
 - エ ミュージアムトーク「今月の逸品」
 - オ その他の行事
 - カ 子ども・青少年向け教育普及事業
 - キ 学校連携事業の状況
- (5) ミュージアムライブラリー…………… 91
- (6) 普及印刷物…………… 92
 - ア 図録
 - イ 広報印刷物
 - ウ 神奈川県立歴史博物館だより
- (7) ボランティアの活動…………… 92
 - ア 活動状況及び実績
 - イ 専門研修
 - ウ その他の研修
- (8) 博物館実習生の受け入れ…………… 94
 - ア 見学実習
 - イ 実務実習

6 資料

- (1) 条例・規則…………… 96
 - ア 神奈川県立の博物館条例
 - イ 神奈川県立の博物館組織規則
 - ウ 神奈川県立の博物館の利用等に関する規則
- (2) 利用案内…………… 100

1 沿革・理念

(1) 沿革

- 昭和 38 年 6 月 神奈川県教育庁に博物館準備事務室を設置
- 昭和 41 年 11 月 神奈川県立博物館条例の制定により、神奈川県立博物館を設置
神奈川県立博物館組織規則の制定により、庶務部、学芸部の 2 部を置く
- 昭和 42 年 3 月 神奈川県立博物館開館 (20 日)
- 4 月 附属機関の設置に関する条例の一部改正により神奈川県博物館協議会を設置
(委員 20 名)
- 6 月 神奈川県立博物館組織規則の一部改正により、庶務部に庶務課、経理課の 2 課を
置く
- 昭和 43 年 4 月 神奈川県立博物館組織規則の一部改正により、学芸部に学芸課、人文課、自然課の
3 課を置く
- 昭和 44 年 3 月 旧館である旧横浜正金銀行本店が国の重要文化財に指定される
- 7 月 神奈川県立博物館組織規則の一部改正により、庶務部を管理部に、庶務課を管理課
に名称変更
- 昭和 47 年 8 月 神奈川県立博物館組織規則の一部改正により、学芸部の各課の名称を廃し、企画調
整課、学芸第一課、学芸第二課及び学芸第三課の 4 課を置く
- 昭和 49 年 8 月 神奈川県立博物館組織規則の一部改正により、管理部に施設保全課を置く
- 昭和 52 年 5 月 神奈川県立博物館組織規則の一部改正により、学芸部の各課を廃止
- 昭和 53 年 9 月 文部省学術研究機関の指定を受ける
- 昭和 55 年 2 月 入館者数 100 万人達成
- 昭和 62 年 4 月 第 2 次新神奈川計画の重点政策「文化施設 21 世紀構想」の一環として、博物館再
編整備事業策定
- 昭和 63 年 12 月 神奈川県立博物館整備構想懇談会が「神奈川県立博物館整備構想に関する提言－
自然系博物館・人文系博物館の基本的な考え方－」を提出
- 平成 2 年 3 月 人文系博物館の整備計画・展示計画策定
- 平成 3 年 3 月 博物館総合情報システム整備計画、資料収集計画を策定
- 平成 4 年 3 月 展示基本設計
- 平成 5 年 3 月 改修工事基本・実施設計、展示工事実施設計
- 4 月 県立博物館休館(～7 年 3 月)
- 10 月 改修工事及び展示工事開始
- 平成 6 年 11 月 改修工事終了
- 平成 7 年 1 月 神奈川県立博物館条例改正に伴い「神奈川県立博物館」は「神奈川県立歴史博物
館」と名称変更、神奈川県立博物館組織規則の一部改正により、企画情報部に企画
普及課及び情報資料課の 1 部 2 課を置き、管理部の施設保全課を廃止
- 3 月 展示工事終了、博物館情報システムの一部稼働開始
神奈川県立歴史博物館開館(18 日)
- 6 月 国の史跡に指定される
- 平成 9 年 7 月 博物館ボランティアが活動を開始
- 平成 11 年 2 月 金銅装笈・椿彫木朱漆笈・清拙正澄墨跡・石室善攻墨跡・源頼朝袖判下文・源頼家
袖判下文が県の重要文化財に指定される
神奈川の職人の道具(17 職種 1,982 点)が県の有形民俗文化財に指定される
- 4 月 重要文化財の公開承認施設として文化庁から承認される

- 平成 13 年 1 月 三浦市間口洞窟遺跡出土品(450 点)が県の重要文化財に指定される
- 3 月 附属機関の設置に関する条例の一部改正により、神奈川県博物館協議会を廃止
- 平成 18 年 4 月 神奈川県立博物館組織規則の一部改正により、管理部管理課と経理課を統合し管理課に改め、企画情報部企画普及課、情報資料課及び学芸部の 2 部 3 課となる
- 平成 19 年 11 月 旧館である旧横浜正金銀行本店が、経済産業省により近代化産業遺産(横浜港周辺の関連建築物群)に認定される
- 平成 21 年 8 月 入館者数 200 万人達成
- 平成 28 年 6 月 空調設備等改修工事のため休館(～平成 30 年 4 月)
- 9 月 事務室を(宇徳ビル 6 階に)移転
- 10 月 空調設備等改修工事開始
- 平成 29 年 12 月 空調設備等改修工事終了
- 平成 30 年 4 月 空調設備等改修工事終了に伴い、博物館業務を再開

(2) 神奈川県立歴史博物館の理念

神奈川県立歴史博物館の前身は昭和 42 年開館の神奈川県立博物館である。昭和 62 年から自然系と人文系が分離分館する再編整備の検討が行なわれ、平成 7 年のリニューアル開館に至るまで、3 回にわたって博物館活動の理念やテーマが検討・提案された。

ア 検討・提案の経緯

- (ア) 昭和 63 年 12 月、神奈川県立博物館整備構想懇談会から提出された「神奈川県立博物館整備構想に関する提言－自然系博物館・人文系博物館の基本的な考え方－」(以下「提言」という。)
- (イ) 平成 2 年 3 月に策定された「神奈川県立人文系博物館(仮称)整備計画」(以下「整備計画」という。)
- (ウ) 平成 7 年 3 月の再編整備時に作られた「神奈川県立歴史博物館概要説明」(以下「概要」という。)

イ 活動理念・テーマ

(ア) 「提言」における活動理念・テーマ

a 人文系博物館の「意義」(「提言」を要約、抜粋)

- (a) 文化の視点からの未来の探求
- (b) 考古、歴史、美術、民俗等を統合化した新しい文化史の創造
- (c) 歴史的、文化的特色による神奈川のアイデンティティーの探求
- (d) 振幅の大きな神奈川の歴史にみる人々の生き方の探求
- (e) 神奈川の文化と内外の文化との交流や相互関係の探求
- (f) 文化史的意義のある資料の集積と後世への継承

b 「基本テーマ」等の設定

(a) 基本テーマ：「文化の交流と変容」

上記の意義を踏まえ、また、神奈川の文化と歴史を専門的かつ学際的な観点から総合的にとらえる唯一の博物館として活動していくため、基本テーマが設定された。

(b) サブテーマ：「神奈川の文化と歴史を考える」「日本・世界の神奈川を考える」

空間的、時間的な広がりのある視点や、先人から受け継がれた地域の固有性をとらえる視点に立って 2 つのサブテーマが設定された。

(c) 展開の視点

これらの基本テーマ、サブテーマを、展示をはじめとした様々な博物館活動に反映させるため、次のような展開の視点が設けられた。

- [継承] 各時代の文化と時代を超えて継承される文化を歴史の流れの中でとらえる
- [交流] 他の国や他の地域との文化交流を空間的、時間的広がりの中でとらえる
- [変容] 文化の変容をダイナミックにとらえる
- [風土] 文化の特色を地域風土を通してとらえる

(イ) 「整備計画」における活動理念・テーマ

上記「提言」を受け、平成2年に「整備計画」が策定され、再編整備の具体的な内容がまとめられたが、「提言」における博物館の意義、性格、基本テーマなどは、歴史博物館のあるべき姿を示す目標・指針として継承されることとなった。

(ウ) 「概要」における活動理念・テーマ

平成7年のリニューアル開館に際して作成された「概要」では、当館を「かながわの文化と歴史」を総合的に扱う博物館と位置付けて博物館活動の基本テーマとし、展示テーマを「文化の交流と変容」とすることが示された。

(3) 神奈川県立歴史博物館の使命と運営方針

当館が令和元年度に作成した「神奈川県立歴史博物館評価書（社会教育施設個別評価）」では、当館の使命と運営方針を次のように定めている（事業評価の概要については9ページを参照）。

ア 神奈川県立歴史博物館の使命

神奈川県立歴史博物館は、「かながわの歴史と文化」を通史的・総合的に扱う唯一の博物館として、県民や利用者が「かながわ」への理解を深め、「かながわ」に魅力を感じ、「かながわ」の新たな価値を見出すことができる博物館活動を展開します。

イ 神奈川県立歴史博物館の運営方針

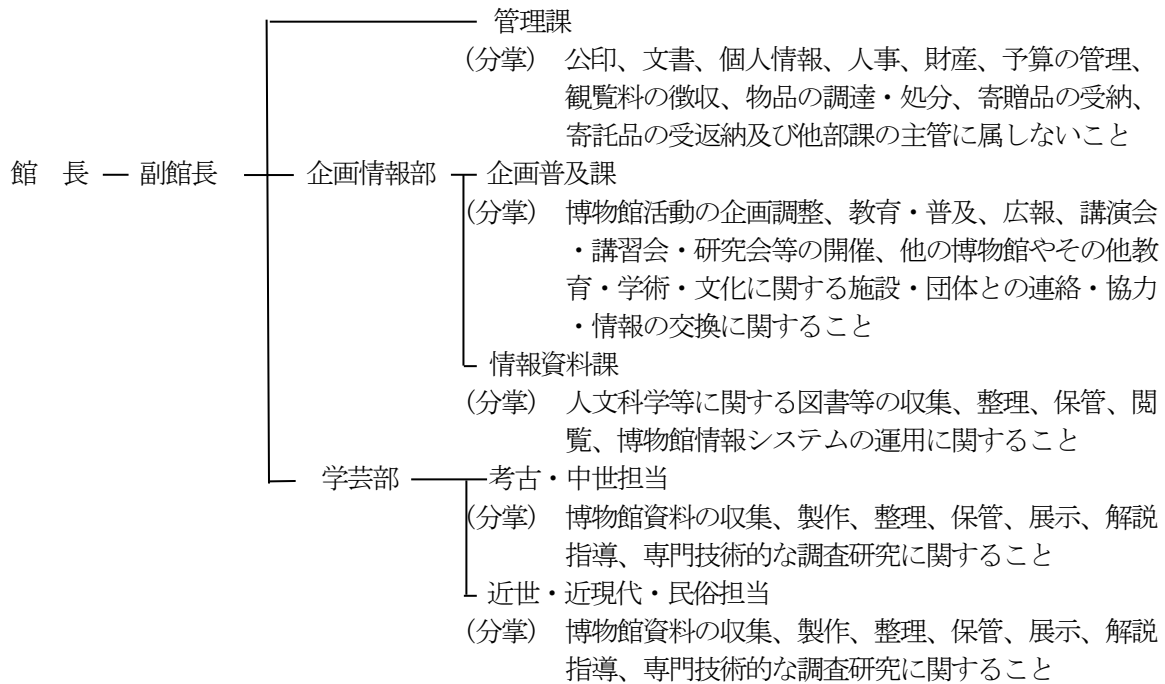
かながわの歴史や文化に関する様々な貴重な資料を適切に保存・活用し、未来につなぐとともに、専門性を発揮した調査研究活動を着実に進め、特色を生かした魅力ある展示や講座等を展開し、地域や関係機関等とも連携しながら、人生100歳時代において生涯にわたる県民の学びを支援します。

2 管理運営

(1) 組織

(令和4年4月1日現在)

ア 組織及び分掌



イ 職員名簿

館長	望月 一樹	非常勤資料整理員	檜皮 千穂
副館長兼管理課長	星 孝樹	非常勤資料整理員	加茂 たがね
管理課 副主幹	持丸 幸広	非常勤事務補助員	三瓶 裕子
主査	大貫 宗大	非常勤事務補助員	神津 由紀子
主事	小菅 桃子	非常勤事務補助員	濱本 明海
主事	笠原 美佐子	非常勤図書整理員	深野 亜希子
主任専門員	竹内 廣一	非常勤図書整理員	京極 順子
非常勤事務補助員	西村 純子	非常勤図書整理員	森 由紀
非常勤事務補助員	森 久利子	学芸部長	丹治 雄一
非常勤事務補助員	佐々木 誠	非常勤事務補助員	新井 実
非常勤事務補助員	内田 忠男	非常勤事務補助員	杉山 誠
非常勤自動車運転員	大塚 清志	非常勤資料整理員	吉澤 智恵子
企画情報部長	小板橋 未紀	非常勤資料整理員	中村 茉貴
企画普及課長	桑山 童奈	(考古・中世担当)	
企画普及課 主査	岡田 和子	主任学芸員 (～9月)	千葉 毅
主事	廣瀬 啓	学芸員	神野 祐太
学芸員 (兼務)	梯 弘人	学芸員	橋本 遼太
非常勤博物館学習指導員	黒木 俊治	学芸員	渡邊 浩貴
非常勤事務補助員	松井 礼子	学芸員	梯 弘人
非常勤事務補助員	野島 愛子	学芸員	鈴木 愛乃
非常勤資料整理員	渡邊 実華子	(近世・近現代・民俗担当)	
非常勤学芸員	豊田 倫子	主任学芸員	嶋村 元宏
非常勤学芸員	市野 悦子	主任学芸員	角田 拓朗
非常勤学芸員 (6月～)	大柳 麻美	主任学芸員	新井 裕美
情報資料課長	宇賀田 信	学芸員	武田 周一郎
情報資料課 主査	小川 和哉	学芸員	寺西 明子
主任専門員	小松 晶子	非常勤学芸員	根本 佐智子
業務専門員	能勢 悦子	非常勤学芸員	三浦 麻緒
非常勤司書	鈴木 隆雄	非常勤学芸員	山口 希
非常勤写真職	荒井 孝則	非常勤学芸員	山下 春菜

(2) 歳入・歳出

ア 歳入

(単位：千円)

科 目	金 額	内 訳
教育使用料	18,132	観覧料収入、目的外使用許可使用料
教育費国庫補助金	1,980	国庫補助金
芸術文化振興基金助成金	3,000	芸術文化振興基金助成金
公有財産売却収入	236	ぐるっとバス清算金
教育事業収入	3,282	図録販売収入
教育受講料収入	168	県立社会教育施設公開講座受講料
教育立替収入	445	ミュージアム・ショップ、喫茶等の光熱水費
雑入	22	複写代
合 計	27,265	

イ 歳出(人件費含まず)

(単位：千円)

事 業 名	金 額	内 訳
教育施設維持修繕費	1,595	施設・設備の修繕
県立社会教育施設公開講座事業費	181	講座の開催
維持運営費	71,844	維持管理(電気、ガソリン代を除く)・事業運営
博物館事業費	27,917	展示事業、調査研究、資料整備、学習支援等
情報システム整備費	42,296	システム運用、データ入力等
合 計	143,833	

(3) 入館者状況

ア 入館者数

(単位：名)

月	展示室入館者			フリーゾーン 利用者	合 計
	有料入館者	無料入館者	小 計		
4	2,475	1,062	3,537	554	4,091
5	5,827	3,485	9,312	1,428	10,740
6	5,092	3,525	8,617	51	8,668
7	3,664	1,182	4,846	147	4,993
8	5,595	1,537	7,132	52	7,184
9	5,537	2,402	7,939	451	8,390
10	5,087	1,634	6,721	416	7,137
11	7,005	3,881	10,886	484	11,370
12	2,747	2,073	4,820	489	5,309
1	3,024	2,903	5,927	458	6,385
2	2,817	2,102	4,919	1,152	6,071
3	3,151	2,434	5,585	2,866	8,451
合計	52,021	28,220	80,241	8,548	88,789

イ 有料入館者内訳

(単位：名)

月	個人				団体(団体扱い含む)				合計
	20歳以上	20歳未満	高校生	65歳以上	20歳以上	20歳未満	高校生	65歳以上	
4	1,084	85	284	437	531	23	0	31	2,475
5	1,967	351	347	699	1,916	167	0	380	5,827
6	1,713	288	105	925	1,482	130	0	449	5,092
7	1,459	182	136	491	1,163	74	0	159	3,664
8	1,898	284	193	649	2,002	169	0	400	5,595
9	1,782	244	47	965	1,843	172	0	484	5,537
10	1,559	164	265	1,160	1,283	67	0	589	5,087
11	1,741	230	155	1,737	1,821	122	0	1,199	7,005
12	1,101	140	36	651	602	39	0	178	2,747
1	1,519	145	22	862	464	12	0	0	3,024
2	1,620	164	71	673	232	57	0	0	2,817
3	1,517	223	57	936	407	11	0	0	3,151
合計	18,960	2,500	1,718	10,185	13,746	1,043	0	3,869	52,021

ウ 無料入館者内訳

(単位：名)

月	条例別表備考欄指定の無料入館者				減免による無料入館者							合計
	未就学 幼児	小学生	中学生	特別 支援 学校	高校生	生徒 引率 者	優待 券	招待券	障が い者	ぐるっ とパス 入場券	その 他	
4	30	287	143	0	253	32	5	48	73	46	145	1,062
5	52	256	1,909	0	206	88	8	432	168	143	223	3,485
6	38	492	1,264	1	260	74	14	794	138	146	304	3,525
7	37	430	178	6	7	30	1	187	110	105	91	1,182
8	37	399	127	0	20	8	10	479	141	116	200	1,537
9	50	411	616	0	7	59	9	755	161	133	201	2,402
10	25	304	192	4	268	40	8	338	159	181	115	1,634
11	33	896	1,041	6	144	123	11	983	208	178	258	3,881
12	33	515	729	7	13	53	5	437	93	92	96	2,073
1	57	370	1,125	0	0	43	9	859	120	168	152	2,903
2	42	713	770	31	1	101	3	41	128	125	147	2,102
3	36	205	541	0	2	20	11	1,190	142	139	148	2,434
合計	470	5,278	8,635	55	1,181	671	94	6,543	1,641	1,572	2,080	28,220

エ 特別展の入館者状況(前掲表内数)

(単位：名)

特別展名	有料入館者	無料入館者	合計
洞窟遺跡を掘る	5,099	2,517	7,616
地図最前線	6,476	2,967	9,443
永福寺と鎌倉御家人	6,584	5,636	12,220
合計	18,159	11,120	29,279

(4) 広報・広聴

ア 広報実績

令和4年度の広報実績は次のとおり(館のPR、特別展・テーマ展、催しもの等)。

(単位：件)

媒体別	紙媒体				電波媒体		インターネット	計
	新聞	雑誌	単行書	その他	テレビ	ラジオ		
件数	133	27	0	6	13	7	57	243

イ ホームページアクセス件数

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
HP	140,444	161,104	156,957	152,121	160,188	144,412	227,297	214,837	177,110	194,532	150,134	161,926	2,041,062

参考(内数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
デジタルミュージアム	1,116	1,375	1,260	1,152	1,356	1,068	1,195	1,045	960	974	973	854	13,328
デジタルアーカイブ	-	-	-	-	-	-	19,692	6,662	8,581	6,194	7,039	8,689	56,857
おうちでかながわけんぱく	3,127	3,081	2,919	3,089	3,974	2,552	4,294	3,010	3,056	4,102	4,058	3,797	41,059

ウ Twitter ツイート数・フォロワー数

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
Twitter ツイート数	30	32	27	33	46	34	34	32	29	24	25	29	375
Twitter フォロワー数	10,528	10,785	10,931	11,033	11,143	11,260	11,404	11,468	11,534	11,605	11,665	11,724	-

(5) 事業評価

平成30年度から県立社会教育施設(県立図書館、県立川崎図書館、金沢文庫、近代美術館、生命の星・地球博物館、当館)において、事業評価を実施することとし、全館共通の評価項目による「社会教育施設評価書(目標設定・実施結果)」(以下、全館共通評価)を作成している。

また、令和元年度からは、全館共通評価に加えて、「神奈川県立歴史博物館評価書(社会教育施設個別評価)」(個別評価)を作成し、当館が独自に設定した評価指標による事業評価をあわせて実施している。令和4年度における事業評価の概要は次のとおりである。

ア 各目標値および評価指標の達成状況

	達成 (目標値 ≥ 100%)	ほぼ達成 (目標値 ≥ 80%)	未達 (目標値 < 80%)
全館共通評価項目	9	3	0
個別評価項目 (定量評価)	12	3	1

	達成 (チェックリストクリア数 80%以上)	ほぼ達成 (同クリア数 50%以上 80% 未満)	未達 (同クリア数 50%未満)
個別評価項目 (定性評価)	13	1	0

イ 総括

新型コロナウイルス感染症による影響が残っていた令和3年度と比べ、令和4年度は来館者数、講座参加者数など回復傾向にあり、徐々にコロナ禍前の状態に戻りつつある。今後も魅力的な展示や、常設展の充実、県民のニーズに対応した講座・講演会や各種行事などの開催できるよう努める。来館者が回復傾向にあることと併せて、ホームページへのアクセスやTwitterのフォロワー数も増加傾向にあることを踏まえ、オンラインによる情報発信についても引き続き強化する必要がある。

(6) 施設概要

ア 概要

(ア) 施設の規模

敷地面積 4,160.82 m²
 構造 石・煉瓦造り(一部鉄骨鉄筋コンクリート造り)地上3階・地下1階
 延床面積 10,565.47 m²
 部門別面積 展示部門=約3,896 m²、学習支援部門=約386 m²、収蔵部門=約619 m²
 研究部門=約1,306 m²、サービス部門=約438 m²、管理部門=約1,251 m²
 その他共用部分=約2,670 m²

(イ) 建物の特徴

旧館部分 旧横浜正金銀行本店本館(明治37年(1904)竣工、設計:妻木頼黄)
 ネオ・バロック様式
 新館部分 神奈川県立博物館として新築(昭和42年(1967))
 指定状況 国指定重要文化財(建物旧館部分・昭和44年(1969)3月12日指定)
 国指定史跡(平成7年(1995)6月27日指定)

(ウ) 施設の状況

- 1 階:【展示室、学習支援関係諸室】
 特別展示室、コレクション展示室、
 ミュージアムライブラリー、ミュージアムショップ、喫茶室、情報処理室 等
- 2 階:【展示室、管理課・企画情報部関係諸室】
 総合テーマ展示室(テーマ3、4)
 館長室、管理課、企画情報部、応接室、図書整理室、書庫 等
- 3 階:【展示室、学芸部関係諸室】
 総合テーマ展示室(テーマ1、2)
 学芸部、資料整理室、保存修復処置室/印刷室、作業室 等
- 地下1階:【講堂、バックヤード諸設備】
 講堂、写場、写真整理室、その他機械室 等

イ 館内施設

1階のフリーゾーンには来館者のために次の施設がある。

(ア) ミュージアムショップ

当館の刊行物(展示解説書、特別展図録)をはじめ、神奈川の文化や歴史に関する書籍、所蔵資料の絵はがき、博物館見学の記念になるような品々を販売する。運営は民間の企業が行っている。

(イ) 喫茶室(喫茶ともしび)

来館者に休憩してもらえるように喫茶室がある。喫茶の他、軽食を提供し、店内には県内の福祉施設で作られた品々も販売されている。運営は「社会福祉法人 県央福祉会」が行い、障がい者の就業の場ともなっている。

(ウ) ミュージアムライブラリー

県民の学習活動を支援する場として設置している。図書、情報システム端末(デジタルミュージアム用)などがあり、展示を中心とした神奈川の歴史や文化について学ぶことができる。

ウ 館外施設

昭和42年(1967)の開館以来継続的に収集してきた資料により、館内の収蔵庫の狭隘化が進行してきたため、現在、神奈川県教育委員会生涯学習部文化遺産課が所管する「文化遺産課収蔵センター」(旧神奈川県立野庭高等学校校舎)の一角を「野庭収蔵庫」(旧体育館、面積3,100.84㎡)として占有し、民俗資料等の一部を収蔵している。

エ 外部協力

当館には、県内の博物館の質的向上や文化財に対する普及啓発を行う次の外部団体の事務局が設置されている。

(ア) 神奈川県文化財協会

昭和29年(1954)から活動している任意団体である。現在は会員に対しての講演会、見学会など文化財に関する知識の啓発活動を中心に活動している。協会員数188人(令和4年4月1日現在)。

事務局長	副館長	星 孝樹
事務局次長	学芸部長	丹治 雄一
事務局員	企画普及課長	桑山 童奈
〃	学芸員	渡邊 浩貴
〃	学芸員	寺西 明子
〃	主査	大貫 宗大
〃	非常勤事務補助員	新井 実

(イ) 神奈川県博物館協会

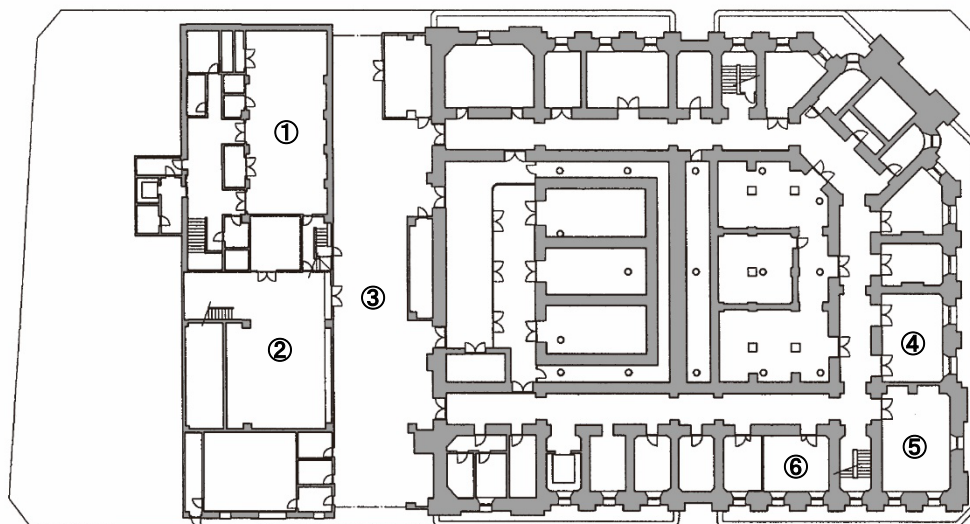
昭和30年(1955)から活動している県内博物館施設の任意団体で、博物館のPR、職員の研修、会報の発行など各種活動を行っている。加盟館園数94館(令和4年4月1日現在)。

会長	館長	望月 一樹
事務局長	副館長	星 孝樹
事務局次長	学芸部長	丹治 雄一
機能研究部会幹事	学芸員	神野 祐太
事務局員	主任専門員	竹内 廣一
〃	非常勤事務補助員	杉山 誠

オ 平面図

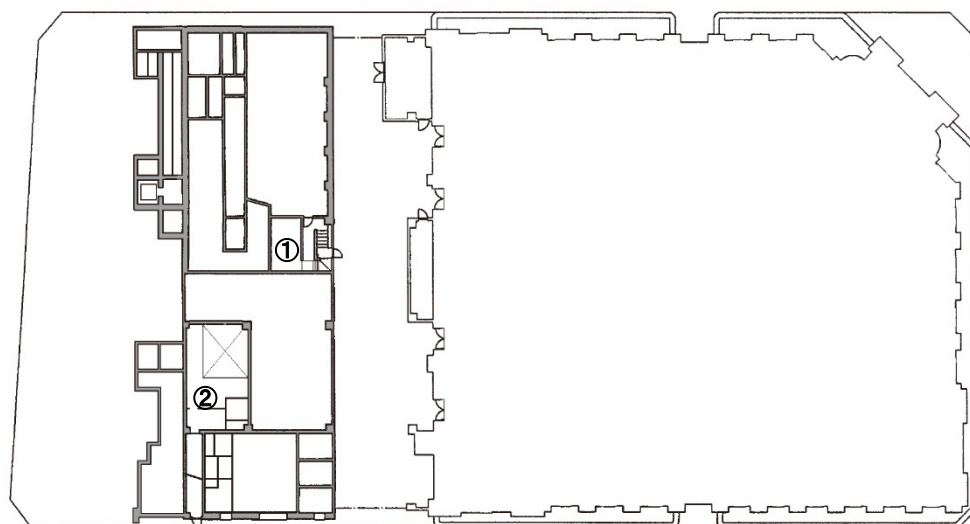
地階

- ①講堂
- ②空調機械室
- ③サービスヤード
- ④展示準備室
- ⑤写場
- ⑥写真整理室



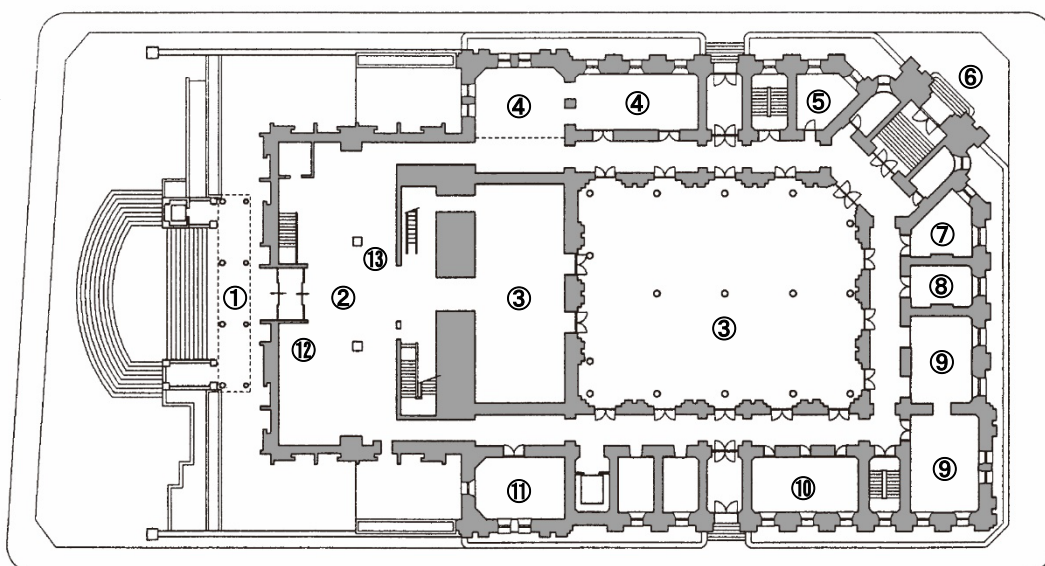
中1階

- ①映写室
- ②中央監視室



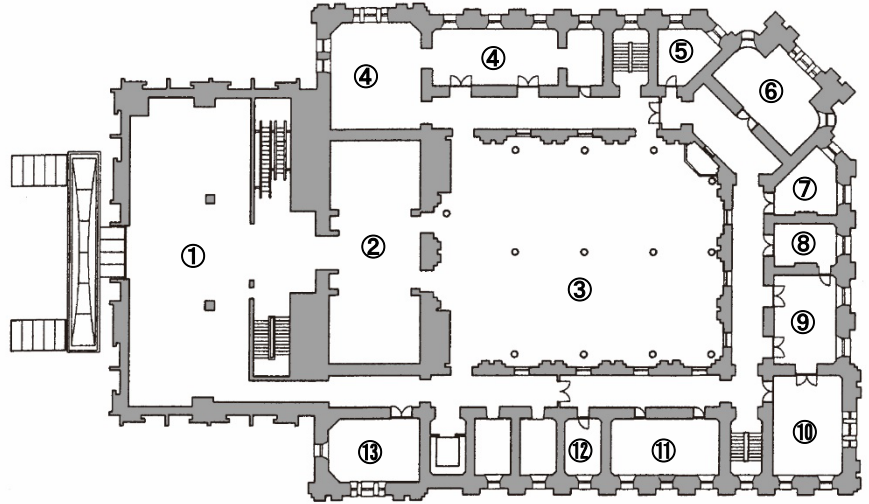
1階

- ①正面玄関
- ②エントランスホール
- ③特別展示室
- ④コレクション展示室
- ⑤ボランティアルーム
- ⑥馬車道玄関
- ⑦情報処理室
- ⑧書庫
- ⑨ミュージアム
ライブラリー
- ⑩会議室
- ⑪喫茶室
- ⑫ミュージアム
ショップ
- ⑬総合受付



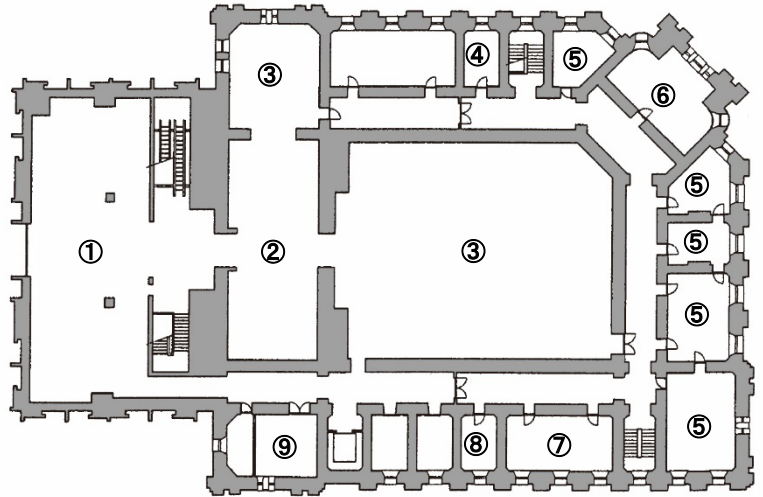
2階

- ①総合テーマ展示室 テーマ 3
- ②総合テーマ展示室 テーマ 4
- ③総合テーマ展示室 テーマ 4/5
- ④総合テーマ展示室 テーマ 5
- ⑤図書整理室
- ⑥書庫
- ⑦電話交換室
- ⑧館長室
- ⑨応接室
- ⑩管理課室
- ⑪企画情報部室
- ⑫第2 応接室
- ⑬空調機械室



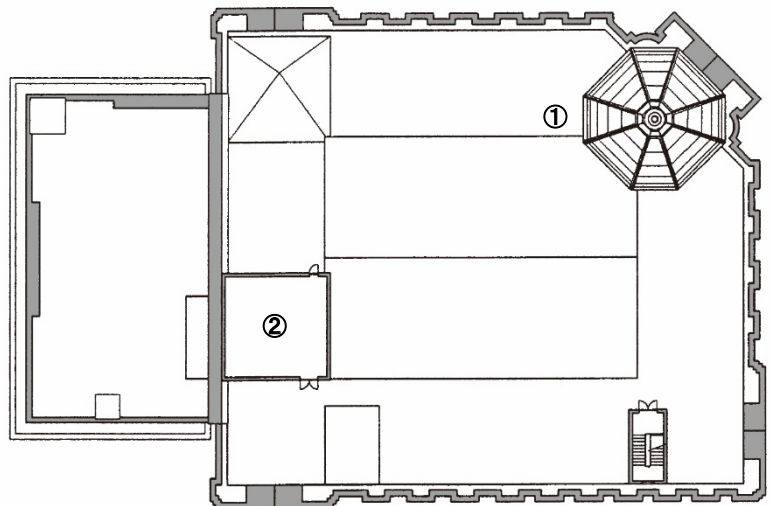
3階

- ①総合テーマ展示室 テーマ 1
- ②総合テーマ展示室 テーマ 1/2
- ③総合テーマ展示室 テーマ 2
- ④畳敷作業室
- ⑤資料整理室
- ⑥保存修復処置室/印刷室
- ⑦学芸部室
- ⑧共同作業室
- ⑨空調機械室



屋上

- ①ドーム
- ②空調機械室



3 調査・研究

(1) 館独自の研究事業費によるもの

ア 総合研究

研究課題：横須賀市満願寺出土中世瓦の分析を通じた永福寺式瓦と鎌倉御家人の総合研究

研究代表者：学芸員 渡邊 浩貴

研究分担者：伊豆の国市教育委員会 池谷 初恵 氏、鎌倉市教育委員会 押木 弘巳 氏、公益財団法人古学財団 高橋 香 氏、横須賀市教育委員会 中三川 昇 氏

研究期間：令和3～5年度

概要：鎌倉幕府有力御家人の三浦一族の拠点・横須賀市満願寺から出土した大量の中世瓦を調査・分類し、瓦製作に関する技法や様式、産地（尾張国八事裏山窯遺跡出土瓦など）、編年という基礎的な確定作業を通じて、三浦一族の動向を地域社会のなかから明らかにするものである。本年度は横須賀市自然・人文博物館所蔵の満願寺出土中世瓦の調査・整理・分類・撮影を行い、報告書『岩戸満願寺遺跡の研究—三浦半島における鎌倉時代寺院の瓦—』を刊行した。

研究課題：「かながわの浮世絵」の総合的研究—東海道揃物と江の島—

研究代表者：企画普及課長 桑山 童奈

研究分担者：学芸員 寺西 明子、非常勤学芸員 山口 希

研究期間：令和4～5年度

概要：当館丹波コレクションの中でも特色ある作品群「神奈川県における各宿駅及び名勝に関する浮世絵（かながわの浮世絵）」を中心に、神奈川の東海道の宿駅や名所の風景が描かれた浮世絵版画の目録作成を目標とする。初年度は丹波コレクションの資料データの見直しを行った。今後は当館所蔵以外の作品の情報を収集し、整理する。

イ 連携研究

研究課題：多摩川流域における水と人の生活文化史

研究代表者：学芸員 寺西 明子

研究分担者：主任学芸員 新井 裕美、学芸員 渡邊 浩貴、非常勤学芸員 根本 佐智子、非常勤学芸員 三浦 麻緒

研究期間：令和4～5年度

概要：多摩川を中心に神奈川県内の河川を比較研究し、長い年月を経てはぐくまれてきた「水」と「人」、そして社会の歴史について明らかにする。今年度は多摩川流域をフィールドとし、地理的環境、絵図・地図、文書、日記、民具などの基礎資料から各自が個別に設定したテーマに沿って具体的な研究を進めた。

ウ 個別研究

研究課題：青木文庫の特徴分析

研究代表者：主任学芸員 角田 拓朗

研究期間：令和4年度

概要：令和3年度に寄贈を受けた青木文庫について、その概要を把握し、その特徴分析を試みた。その成果の一部は、令和5年度の当館特別協力となる愛知県美術館企画展で公開する。なお、令和4年度も第二次の寄贈を受けており、あわせてその整理と分析に努めた。さらに令和5年度からは、継続して青木文庫の公開活用にかかる基礎研究を開始する予定である。

エ 調査研究成果報告会

開催日時：5月31日（火） 口頭報告・紙上報告

内容：総合研究および個別研究の成果などについて報告した。（令和3年度分）

《口頭報告》

(ア) 個別研究

発表者：学芸員 寺西 明子

テーマ：『鈴木藤助日記』の基礎的整理 藤助と留五郎

概要：川崎市多摩区・宮前区鈴木快輔家文書について資料整理及び調査を行い、特に『鈴木藤助日記』からその概要を把握しようと試みた。近世の日記は書き手・書式も多用であることが指摘される中で、職務日記とは一線を画した「自己が垣間見える」農民日記が近世日記の特殊な点であるという先行研究の指摘がある。武蔵国橋樹郡長尾村の鈴木藤助家は醤油造を営む村内でも有力な農家であり、村政、家業に関わる記述が多数を占めるが、私的な人間関係や個人の思想の発露も垣間見える。また、本資料は書き手が藤助からその息子留五郎に引き継がれる。地租改正業務の耕地等級調査や地区作成作業の時期が留五郎へ鈴木家家業が移行する時期が重なることに着目し「日記の書き手」としての留五郎を考察した。

(イ) グループ研究（令和3年度まで実施）

発表者：主任学芸員 新井 裕美

テーマ：大磯町大磯 脇家の祝儀帳からみる贈答習俗

概要：当館所蔵の柳行李と祝儀帳（MT 登録資料名称）（K360/CY5000551、大磯町大磯 脇トヨ氏より昭和45（1970）年10月29日寄贈受入）のうち、資料1「大正九年申四月吉日 脇達郎婚姻諸費記録 脇安五郎」、資料2「大正九年申四月吉日 脇達郎結婚式招待客記録 脇安五郎」、資料3「脇達郎 婚姻招待人名簿長生館大正九年申四月吉辰」、資料4「大正九年四月廿八日嫁披露案内路順」を用いて、婚姻習俗にかかる贈答習俗を報告する。婚礼には様々な儀礼があり、その過程において義理を受けた者には返礼を行う。本研究では、贈答が行われる人間関係やその範囲、贈答品、贈答期間等を中心に調査を行った。

(ウ) 自由論題

a 発表者：主任学芸員 嶋村 元宏

テーマ：オランダ別段風説書研究の現状と課題

概要：幕末情報史研究、特に日本の開国について研究するうえで、貴重な史料であるオランダ別段風説書に関する研究についてはこれまでの研究成果を概括するとともに、今後解明すべき課題について報告した。オランダ別段風説書とは、天保11年に勃発したアヘン戦争を契機に、オランダから提供された海外情報書である。それまでは、いわゆる「鎖国」を開始した寛永年間以来、西洋諸国として唯一交易することを許されたお礼としてオランダが幕府に対して定期的に「風説書」を提供していた。その通常の「風説書」とともに、特別版として提供されるようになったのが「別段風説書」である。はじめは、戦況、和平交渉、南京条約、虎門寨追加条約など、アヘン戦争に関連する記述が中心であったが、戦後は欧米諸国の動向が詳細に報告されるようになった。特に、日本との通商を目指していた米・英の軍艦配備状況、ドーバー海峡に敷設された海底ケーブルやパナマ地峡への鉄道敷設計画など、西洋の技術の高さを示す内容が盛り込まれていた。当然、この「別段風説書」はオランダが日蘭関係の強化を目的に編纂したもので、すなわち、オランダが意図した、幕府に見せたい世界像が描かれていることになる。したがって幕府は対外政策を決定するにあたり「オランダが描いた世界、に対して対応していくことになる。そこで、今後の研究としては、オランダの情報操作の実態や幕府の認識などを念頭に、別段風説書を読み直したいと考えている。

b 発表者：学芸員 鈴木 愛乃

テーマ：紀州徳川家ゆかりの菓子木型について

概要：菓子を作る際に用いられる、木製の板の表面に様々な意匠が彫られた菓子木型についての調査を行った。和歌山市立博物館所蔵の紀州藩10代藩主・徳川治宝(1771-1852)と、11代藩主・斉順(1801-1846)が御好みとしていた菓子木型を取り上げて比較・検討を行い、菓子の意匠が文化的背景と個人の意向を反映するものであることを確認した。また紀州徳川家にまつわる題材が、造形作品と同じ表現を用い、高価な砂糖を材料に表されているこ

とから、菓子という手段を積極的に用いて物質的・精神的な豊かさを誇示する意図があることを指摘した。

c 発表者：非常勤学芸員 山口 希

テーマ：三越時代の非水—『みつこしタイムス』にみる琳派の意匠—

概要：杉浦非水（1876—1965）は、明治末期から大正、昭和にかけて、日本の広告美術の第一線で制作を行ってきたグラフィックデザイナーとして知られている。従来の非水の商品様式の検討は、西洋美術の様式を取り入れたモダンデザインであることを前提に語られてきた。一方、非水は自身の画業の中でも大きな転換期となる三越との関わりの中で、「光琳」を軸としたいわゆる琳派風の意匠と向き合う機会を得ている。そのデザイン性の高さで知られる尾形光琳の意匠は、とりわけ近代の三越の戦略の一つとして大々的に取り上げられ、杉浦非水の図案にも影響を及ぼすこととなる。三越呉服店時代に非水が手がけた刊行物のなかでも、明治41（1908）年から大正3（1914）年の足掛け6年の内に刊行された機関紙『みつこしタイムス』の表紙群は、非水の図案の中でも上記で述べた光琳の意匠の踏襲が考察できる重要な作品群である。しかし管見の限り、本書に関する詳しい研究報告は未だなされていない。以上の点を踏まえ本発表では、①『みつこしタイムス』と非水の関係性を示し、②表紙の具体的な検討、そして③三越の販売戦略との関りの中で、非水が「光琳風」と表現し採用した様式について考え、最終的に、①非水の画業における『みつこしタイムス』の位置づけと、②三越の広報活動の中での非水の示した光琳意匠の2点を明らかにした。

d 発表者：非常勤学芸員 山下 春菜

テーマ：佐賀における旧藩秩序について—民権運動を中心に—

概要：従来の「士族民権」は民権運動の初期段階に起こるが、やがて別の勢力に変化ないし合流するため、重要視されてこなかった。しかし、九州では多くの場合、民権運動の担い手は一貫して士族である。本論で取り上げる佐賀は特にその傾向が強い。旧佐賀藩では本藩（佐賀）・支藩（鹿島・小城・蓮池）・大分配（家臣団）という旧藩秩序に基づいた「士族的結合」が存在した。佐賀の乱で征韓党（江藤新平が党首。旧藩時代の下級武士出身・士官経験者が参加）と旧支藩士族集団の「隊」が結合し、また憂国党（島義勇が党首。旧藩時代の上級武士が参加）と旧大分配士族である「団」が結合した。これらの士族は佐賀の乱に敗れ、民権運動に移行した際も、この「士族的結合」を用いて勢力拡大を行う。佐賀開進会結成によって、佐賀の乱で二分していた征韓党・憂国党は合流した。さらに開進会の勢力拡大にともなって「区会」というグループが形成されるが、これは旧藩時代の本藩・支藩・大分配の支配地域を元に形成された。開進会は九州改進黨に合流し、九州改進黨肥前部として活動を続けるが、この活動の中で佐賀の乱慰霊祭を征韓党・憂国党両党党首を並べて行うことで、さらに「士族的結合」を強めようとした。

《紙上報告》

(ア) 総合研究

発表者：学芸員 渡邊 浩貴

テーマ：永福寺式瓦が語る鎌倉幕府と鎌倉御家人の物語 —特別展の導入、総合研究の中間報告をかねて—

概要：本報告では、準備途中であった特別展「永福寺と鎌倉御家人」の中心テーマである永福寺式瓦を題材に、中世社会における瓦への認識を踏まえつつ、永福寺式軒瓦の形式変遷と東国御家人本拠地での受容過程とその意義について述べた。併せて総合研究で調査中であった三浦佐原一族の氏寺満願寺跡（横須賀市）から出土した中世瓦群の性格についても言及した。

(イ) 自由論題

a 発表者：主任学芸員 千葉 毅

テーマ：縄文土器の色調研究のための基礎整理

概要：報告者は、従来の縄文土器研究において主要な分析対象とされてきた文様や形態に加え、胎土の色調を定量的に分析することで、土器製作に関する情報や製作者の実態、さらには「縄文人の色に対するこだわり」にも迫れる可能性があると考えている。そのためにいくつかの分析方法を試行したので、その概要を報告した。これまで、縄文土器の胎土の色に体系的に言及した研究は極めて少ない。そのため、計測、記録、記述の方法を検討する必要がある。報告者は以下の三つの方法を検討した。1 [色差計で直接計測] 器面全体から複数箇所の色調を色差計で測定し、その組み合わせを記録する。測定は、明らかな付着物等を除く範囲から20箇所程度で行う。2 [土色帖での肉眼計測] 器面全体から複数箇所の色調を土色帖との肉眼対照により測定し、その組み合わせを記録する。測定時の注意は1と同様。3 [3Dモデルから色面積を計測] 色温度を管理した照明下で撮影したデジタル画像から、フォトグラメトリにより3Dモデルを作成し、3Dモデル上で同一の色面積を記録する。当館が所蔵する複数個体の縄文土器を対象に、上記の方法にて試験したところ、1が最も再現性が高く、かつ作業効率も良いことが確認できた。色計測にはSPECTRO 1 by VARIABLEを使用した。今後、この方法での計測を蓄積しながら、方法の改善を図っていく。

b 発表者：学芸員 梯 弘人

テーマ：小田原北条氏と円覚寺

概要：小田原北条氏による鎌倉の寺社への関与については、鶴岡八幡宮の修造がよく知られている。その取り組みにより北条氏は「八ヶ国之大将軍」（「快元僧都記」）にふさわしい存在として認識されたと指摘される。すなわち、室町時代以来関東を治めた関東公方足利氏や関東管領上杉氏と並び立つ存在であるとの評価がなされていると言えるだろう。一方で、同じく鎌倉に所在する円覚寺との関わりの中では、別の評価がなされている。ここでは、足利氏が最大の支援者として君臨する秩序の下で、上杉氏の家臣である太田氏や長尾氏と同列の存在であると位置付けられているのが現状である。彼らは円覚寺の境内塔頭（寺院内寺院・高僧の墓所）を菩提寺とし、所領を寄進するなどの援助を行ったと評価される。しかし、北条氏の菩提寺は箱根湯本の早雲寺であり、円覚寺の塔頭ではない。そこで、改めて北条氏の円覚寺に対する関与の位置づけを検討した。まず、北条氏による塔頭に対する支援について考察した。円覚寺開山の北条時宗を祀る仏日庵への所領寄進が確認できたほか、三代氏康は、太田氏の菩提寺である帰源庵を再興している。その末寺から住持を招へいし所領の寄進を行った。この関与は従前の太田氏と同庵の関係を前提としたものであった。次に、北条氏と円覚寺本寺との関係について3つの事例を取り上げた。1つ目は坐禅窟帰属をめぐる相論の裁許である。塔頭の正統院と統燈庵がその帰属を巡り争ったが、本寺も関与していたとみられる。そして、その裁許を北条氏康が下している。2つ目は寺中における不法行為の禁止命令である。長尾景虎（後の上杉謙信）が小田原まで攻めてきた頃、円覚寺は大勢の避難民のため混乱した状況であったようで、それに対し北条氏は、寺中における狼藉者を処罰することを約束している。3つ目は太平寺仏殿（現存の円覚寺舍利殿）の移築である。大火に見舞われた円覚寺では舍利殿等が被災したが、その再建のため太平寺仏殿の移築を北条氏康が本寺へ宛てて承認する文書を作成している。以上のとおり、北条氏は円覚寺全体の法や秩序に関わる案件へ対応していた。彼らの円覚寺に対する関与は、従前その立場にあった管領上杉氏に準じたものと考えられる。

c 発表者：学芸員 神野 祐太

テーマ：松田町延命寺の諸像について

概要：松田町延命寺に伝わる聖観音菩薩立像（観音堂安置）、薬師如来立像（同）、薬師如来坐像（同）、聖観音菩薩坐像（本堂安置）の4軀の調査報告。観音堂に安置される3軀は約50年前に調査が実施されてからほとんど彫刻史研究者の目に触れることなく秘仏としてま

つられていたもので、今回、再調査をおこない製作年代について再検討した。また、本堂にも数軀の仏像が秘仏として祀られており、そのうち聖観音菩薩坐像について調査を実施した。像内を観察したところ、墨書木札が見出され、明暦2年（1656）に造られた江戸時代前期の規準作であることが判明した。本報告では今回の調査で得られた基礎データと簡単な解説を付した。

d 発表者：学芸員 橋本 遼太

テーマ：北条早雲像をはじめとする北条五代画像の転写と伝来について—神奈川県立歴史博物館所蔵狭山藩北条家伝来の下絵類の描写をめぐって—

概要：狭山藩北条家に伝来し神奈川県立歴史博物館が所蔵する総数およそ240点の北条家文書群に含まれる小田原北条氏肖像画下絵を対象に、描かれる像主の顔貌の特徴および線や色や模様に関する注記などを確認することにより白描画像が基にした画像の特定を試み、あわせて、現存する小田原北条氏の肖像画との関連を考察した。

e 発表者：館長 望月 一樹

テーマ：池上幸豊の砂糖国産化事業について 一田沼意次との関係を中心に—序論

概要：武蔵国橋樹郡大師河原村名主であった池上太郎左衛門幸豊は、新田開発を行うとともに、砂糖の国産化にも従事した殖産興業家として有名である。一方、幕府の中で砂糖国産化事業を推進していたのが、後に老中となる田沼意次であった。この両者の間では、意次が幸豊の進める事業について口利きをし、その政治力をもって関係役所への働きかけを行ったと指摘している。そこで筆者が最近解読を進めている幸豊の日記の記載と、砂糖製造に関する諸々の請願等を書き留めた御用留とを突き合わせることで、幸豊と意次との関係をより鮮明化できるものと考え、今後の研究の見通しを含め、若干であるがその具体的な事例を紹介した。

f 発表者：非常勤学芸員 根本 佐智子

テーマ：幕末期地方藩士による江戸在勤日記の基礎的研究 —造酒助と西洋銃砲—

概要：神奈川県立歴史博物館所蔵『松平造酒助江戸在勤日記』、鶴岡市郷土資料館所蔵「松平武右衛門文書 造酒助書簡」より、庄内藩上級武士である松平造酒助の江戸在勤の大きな成果と言える、庄内藩への西洋銃砲の導入について考察した。松平造酒助が藩の軍備に危機感を募らせた契機としては、当時各地で戦闘を行っていた天狗党が西洋銃砲を装備したことが挙げられる。和田峠の夜戦において信州軍の敗因を、火縄の火を狙われたと考え、西洋流でなくては済まされない世の中となったと造酒助は記す。火炮については、造酒助は元治元年十一月頃から導入を画策し始め、江戸市中取締を主導する立場でもあったことから、日々の訓練に西洋砲稽古を積極的に組み入れた。一年交代で庄内へ帰る御備組の者へも西洋砲術を伝授し、国元へも西洋砲術を伝えた。十二月下旬には幕府役人が臨席する中、ポルト炮の実射演習を行うなど、西洋大筒が庄内藩江戸屋敷へ急速に導入され、実用化したことが判明した。一方小銃については、「丸子」という鉄砲鍛冶・武器商人により様々な西洋小銃が造酒助へもたらされた。造酒助は、元治元年十二月下旬頃より飛距離も威力も強いミニエー銃の庄内藩軍備への導入を主張し始める。多くの大名が同銃の大規模導入を進める中、元治二年正月時点で庄内藩には十挺も無かった。造酒助によりミニエー銃の重要性と緊急性は江戸屋敷の末々に至るまで認識されていたが、折からの財政難により、許可は出ず、上級武士たちは自費によるミニエー銃購入に踏み切った。翌六月には横浜から約三〇挺購入が叶い、家禄が低い者に対しては三年賦の貸付も認められ、この時二人が個人で買い取った。造酒助は藩での買入れがなかったことは残念だが、家中で五〇挺を超える所持が叶ったと喜んだ。造酒助は庄内藩軍備西洋化の口火を切り、江戸藩邸だけでなく、国元へも西洋砲術を広げることにつなげた。戊辰戦争で新政府軍と渡り合える程の軍備を備える基礎を築いた人物であることが明らかとなった。

g 発表者：企画普及課長 桑山 童奈

テーマ：明治期の錦絵に描かれた政府高官の肖像

概要：今回の報告は、昨年開催した特別展「錦絵にみる明治時代 -丹波コレクションが語る近代ニッポン-」の一部を深めたものである。展覧会の展示でも「明治の肖像画」のコーナーで天皇の周囲にいた政府高官の肖像を現在に伝わる写真をパネル展示して、似顔絵として描かれたと認められる例があることを指摘した。その後の調査で、浮世絵独特の出版事情といえる「版木の使い回し」により、人物の容姿とその人物に添えられた人名が一致しなくなった例があることが判明した。つまり、オリジナルの錦絵では政府高官は似顔絵で描かれていても、数年後の再版では人名の部分だけが変えられた（象嵌）ため、別人の肖像となってしまう。したがって、再出版された錦絵では政府高官は似顔絵ではなくなってしまう。浮世絵において似顔絵で描かれる男性といえば、歌舞伎役者であり、明治に政府高官が似顔絵で描かれた、ということは政府高官が浮世絵購買者層に歌舞伎役者と同じような好奇心の対象であったと考えることができる。また、政府高官を描いた浮世絵師には現在、残る作品が少なくあまり知られていない絵師もいるが、明治錦絵のなかでもっと評価してよい作品群と思われる。

h 発表者：学芸部長 丹治 雄一

テーマ：静岡県石材企業家鈴木伊兵衛と静岡県伊豆地域の近代石材産業について

概要：本報告では、静岡県河津町教育委員会が所蔵する「鈴木家文書」の調査で把握した石材企業家鈴木伊兵衛の事業活動と明治・大正期の調査報告から、神奈川西部地域の石材産地とも一定の「競合」関係があったと想定される静岡県伊豆地域の石材産地の動向を把握することを行った。静岡県伊豆地域には、神奈川県西部地域と同規模の横根沢石・月出石などの石材産地があり、鈴木伊兵衛もこれらの石材を取り扱っていたことが窺われた。今後は、鈴木家文書の分析を深め、伊豆地域の石材産地の状況をさらに検討する中で、神奈川県西部地域産石材との「競合」関係を検証していきたい。

i 発表者：主任学芸員 角田 拓朗

テーマ：神奈川県立図書館所蔵中島亨齋関係資料について

概要：本報告は、これまで報告者が継続して実施してきた、幕末明治の横浜における西洋美術受容の具体像を考究する課題の一端に連なるものである。本報告の前提として令和4年3月に発表した拙稿「明治期輸出美術の構造と特徴—大倉孫兵衛を焦点として—」がある。ここでは、そのタイトル通り、明治期横浜の輸出美術の全体像を把握し、その特徴を記述することに主眼があった。さらにその狙いの背景には、当館近代美術コレクションの中核である五姓田派と横浜のつながりを考察する目的があった。「横浜絵」と称される五姓田派であるが、明治6年末に横浜から東京へ工房を移し、以後、横浜との接点は薄いと考えられていた。また「横浜絵」と称される作品群と五姓田派の距離、参与の度合いなど、先行研究ではほぼ明らかにされてこなかった。その理由は複数あるが、なかでも直接的に言及する文献資料そして実作品が存在しないことが最大の理由だった。そこで先の研究により輸出美術全体像を把握し個別事象について演繹的に論証する方法を採用した。横浜絵と五姓田派の関係は、拙稿「横浜絵と五姓田派—二人のコレクター」（「ただいま やさしき明治」展図録、府中市美術館、令和4年）にて簡単にまとめた。結論として、肉筆絵画の横浜絵にあって、そのロールモデルを提供したのが五姓田派だと推定される。そしてここに報告する中島亨齋（1819-96）は、五姓田派とはまた別の系統として横浜絵を支えた絵師の一人だと結論するに至ったので、その概要を以下に記す。横浜絵という言葉及ぶ文献資料に追うなかで、尾上町に提灯屋を営んだ今村岩五郎の名が認められた。彼には二人の息子がおり、次男が後の日本画家今村紫紅である。その息子たちを指導した絵師として、中島亨齋の名がかねてより知られていた。しかし古根村政義氏による「飯田九一文庫より 中島亨齋資料」（『郷土神奈川』47、神奈川県立図書館、平成21年）により、疑義が提示された。ほとんど知られることのなかった作品や資料から、「享」ではなく「亨」という絵師の存在が浮き彫りになった。このたび、県立図書館が所蔵する中島亨齋資料を全点確認

し、以下の結論を得た。第一に19世紀後半の伝統的な絵画技術であること、第二に主題の多くが輸出美術に応用可能な内容であること、第三に従来指摘されてきた「享斎」の記述にある菊池容齋派に連なる絵師であること。活動期は明治前半になり、肖像画を専門とする五姓田派に対して、陶磁器や漆器に応用可能な花鳥風俗を特異とする容齋派の絵師の活動を確認することができた。またこの享斎に学んだ弟子の一人に、輸出美術の花鳥意匠を得意とした画家として近年注目される、鈴木華邨がいる（「鈴木華邨」展、逸翁美術館、令和3年など）。本調査研究により、横浜絵、輸出美術の連動、その師弟関係について、また新たな確定情報を追記できた。輸出美術であるが故に国内に遺される類例や資料が乏しいことを考えれば、これまでのミッシングリンクを実作品や資料により実証的に埋めることができたという点では、大きな成果といえる。

j 発表者：学芸員 武田 周一郎

テーマ：関東大震災復興期の鎌倉における東勝寺橋の改築と岸敬二郎の動向

概要：本報告では、当館が継続的に取り組む関東大震災に関する調査研究の一環で、鎌倉における震災復興事業の一例として東勝寺橋（鎌倉市小町3丁目）の改築工事について検討した。鎌倉に別邸を構えていた岸敬二郎（芝浦製作所の電気技術者）の書簡を分析したところ、岸が改築工事にあたり尽力した経緯や、地域住民の協力は各人各様であった状況が判明した。鎌倉は別邸暮らしの住民も多く、震災復興時の対応は各人の属性に応じてさまざまであり、そのような傾向は鎌倉に限らず、湘南や箱根を中心に神奈川県内の各地域にも通ずるところがあったと想定される。

k 発表者：非常勤学芸員 三浦 麻緒

テーマ：南関東地域の湯立神楽・湯立神事の分布の傾向について～神奈川・東京を中心に～

概要：神奈川県と東京都の湯立神楽・湯立神事の実施について事例を収集した。実施分布図を作成したうえで、各地の特徴を考察した。

l 発表者：非常勤資料整理員 中村 菜貴

テーマ：八聖殿と蕨画塾にかんする資料調査——戦後の美術教育の事例研究——

概要：蕨画塾の塾長長谷秀雄（彫刻家1900～1986）は、第二次世界大戦中に青年期を過ごしたことから、作品制作や私塾の方針等に現れた戦争の影響について考察した。具体的には、八聖殿（横浜）に納めた《親鸞聖人》をはじめ、戦意高揚や慰安の性格を持つ作品及び印刷物、また塾生の書簡から読み取りを試みた。

(2) 日本学術振興会科学研究費助成事業によるもの

神奈川県立博物館であった昭和53年度から、文部省学術研究機関の指定を受け、科学研究費補助金が交付されるようになった。神奈川県立歴史博物館に機構変更後も継続して指定されている。令和4年度の採択は13件である。

ア 研究種目名：基盤研究 (B)

課題番号：19H01313

研究課題：西遷・北遷東国武士の社会的権力化

研究代表者：国立歴史民俗博物館 准教授 田中 大喜 氏

研究分担者：学芸員 神野 祐太、学芸員 渡邊 浩貴

研究期間：令和元～4年度

研究実績概要：新型コロナウイルス感染症の感染状況が徐々に落ち着いたため、現地調査をおこなうことができた。本年度は最終年度にあたり、広島県三原市の沼田荘での仏像調査を実施した。沼田荘は相模国土肥郷（現、神奈川県湯河原町）周辺を本拠とした土肥氏（小早川氏）が西遷して地頭となっており、神奈川県とは関係の深い土地である。小早川氏に関わった棲真寺阿弥陀如来坐像、米山寺の菩薩面4面、天童面2面、阿弥陀如来立像、東禅寺四天王像の調書作成と写真撮影をおこなった。令和5年3月19日には「中世沼田

荘を解き明かす―現地調査中間報告―と題した講演会が三原市本郷生涯学習センターで開催され講師として調査の概要を報告した。

- イ 研究種目名：基盤研究(B)
課題番号：20H01314
研究課題：オランダ別段風説書の研究
研究代表者：青山学院大学 教授 岩田 みゆき 氏
研究分担者：主任学芸員 嶋村 元宏
研究期間：令和2～4年度
研究実績概要：本研究は、アヘン戦争を契機として、従来の「風説書」とは別にオランダ船が日本へもたらした、詳細で体系的な海外情報である「別段風説書」について、その内容と国内における動向を研究するものである。研究分担に従い、オランダ別段風説書の活用について研究を進めてきた。史料調査を、金沢市立玉川図書館近世史料館、もりおか歴史文化館、東京都立中央図書館、広島県立歴史博物館、福山市歴史資料室、頼山陽史跡資料館、宇和島伊達文化保存会、愛媛県立歴史文化博物館、名古屋市蓬左文庫、長崎歴史文化博物館、佐賀県立図書館、函館市中央図書館で実施した。研究機関最終年度であったことから、一般向け講演会、シンポジウムにおける口頭報告及び学術研究論文2本により研究成果を公表するとともに、研究報告書を取りまとめた。
- ウ 研究種目名：基盤研究(B)
課題番号：22H01007
研究課題：明治・大正・昭和戦前期図画手工教科書データベースの拡充とその活用に向けた調査研究
研究代表者：岡山大学 教授 赤木 里香子 氏
研究分担者：主任学芸員 角田 拓朗
研究期間：令和4～6年度
研究実績概要：データベース拡充のため、追加のデータ収集を開始した。また当該データベースを活用した近代美術教育にかかる諸研究の一環で、東京美術学校卒業生などを中心に実作品等を調査した。また、活用の一環として、当館主催事業である教員向けプログラムなどで、図画教科書を提示し、その内容から今日の活用の可能性などを探る機会などをもった。
- エ 研究種目名：基盤研究(C)
課題番号：18K00951
研究課題：幕末期地方藩士による江戸在勤日記の基礎的研究
研究代表者：非常勤学芸員 根本 佐智子
研究協力者：元当館学芸員 古宮 雅明 氏、学芸員 寺西 明子、藤助日記研究会 神谷 由香 氏
研究期間：平成30～令和4年度
研究実績概要：本年度は最終年度のため、研究成果報告書の刊行を行った。報告書には、神奈川県立歴史博物館所蔵『松平造酒助江戸在勤日記』全冊の全文翻刻、同時期の書簡である鶴岡市郷土資料館所蔵「松平武右衛門文書 造酒助書簡」の全文翻刻、および日記・書簡を研究した論考を掲載した。この研究成果報告書は神奈川県立歴史博物館HPにおいて全文をPDF公開した。またこの研究成果の公開として、令和5年2月18日より4月9日まで特別陳列「松平造酒助江戸在勤日記―武士の絵日記―」展を開催した。
- オ 研究種目名：基盤研究 (C)
課題番号：18K01111
研究課題：岩石・石材を素材とした歴史系および自然系博物館による地域学習プログラムの協働開発
研究代表者：学芸部長 丹治 雄一

研究分担者：神奈川県立生命の星・地球博物館情報資料課長 山下 浩之、同主任学芸員 田口 公則
研究期間：平成30～令和4年度
研究実績概要：本研究は、岩石・石材を素材にして、神奈川県内の各地域における大地の形成（自然史的条件）とそこで展開された人間の営み（歴史的事象）を地域の歴史として一体的に捉え、理解し学ぶことができる地域学習プログラムを、歴史系博物館である神奈川県立歴史博物館と自然史系博物館である神奈川県立生命の星・地球博物館の学芸員の文理融合の研究組織による協働研究で作成し、その実践を行うことで、地域の歴史に対する理解の促進に資することを目的としている。研究期間を再延長した今年度は、着手中の県西地域、県央地域、横浜・川崎地域、三浦半島地域の学習プログラムの実践と改善を行った。今年度は県西地域、横浜・川崎地域、三浦半島地域で現地見学型実践メニューを各1回実施するとともに、県西地域のプログラム充実に資する資料調査を実施することができた。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響により、プログラム改善のために必要となる資料調査や現地調査を計画どおりに進めることができなかったため、研究期間を再々延長し、学習プログラムを完成させることが最終年度の課題である。

カ 研究種目名：基盤研究(C)

課題番号：19K01149

研究課題：歴史的な鳥瞰図に対する博物学的な視点から観た数値標高モデルによる再構築

研究代表者：神奈川県立生命の星・地球博物館 主任学芸員 新井田 秀一

研究分担者：学芸員 武田 周一郎

研究期間：令和元～4年度

研究実績概要：本研究は、鳥瞰図に描かれた地物の位置関係や投影法等について数値標高モデルを用いて解析し、これらの図が持つ主張や意図を理解することを目標とする。本年度は、大正期以降に発行された「箱根名所図絵」を事例として作成過程等を検討し、研究代表者の所属機関で実施した観察会等で成果を公表した。

キ 研究種目名：基盤研究(C)

課題番号：19K01218

研究課題：南関東地方における湯立神楽の基礎的研究

研究代表者：主任学芸員 新井 裕美

研究分担者：非常勤学芸員 三浦 麻緒、横須賀市自然・人文博物館学芸員 瀬川 渉 氏、帝京大学講師 高久 舞 氏

研究協力者：横浜市歴史博物館 拠点計画推進課長補佐 羽毛田 智幸 氏

研究期間：令和元～4年度

研究実績概要：本研究は、神奈川県内及び本県周辺で奉納される湯立神楽を分析対象とする。調査の視点として、祈願内容・演目・所作・神楽場の設え・催行する組織等の項目を立て、鎌倉鶴岡八幡宮に奉仕していた職掌家に依る「職掌系湯立神楽」と職掌家に依らない「非職掌系湯立神楽」の比較研究を行い、「非職掌湯立神楽」の現行を考察する。

ク 研究種目名：基盤研究(C)

課題番号：21K00824

研究課題：開国期・「虚構」による日本観の形成に関する基礎的研究：その方法論を中心に

研究代表者：主任学芸員 嶋村 元宏

研究期間：令和3～5年度

研究実績概要：“外国人による叙述や画像という表象物を、無批判に客観的事実を示す史料として利用することは問題ではないか？”、“必ずしも正確な事実を伝えていない表象物、すなわち「虚像」によって欧米における日本観は形成されているのではないか？”—これが本研究の核心をなす学術的「問い」である。この「問い」に応えるべく、本研究は、文字

史料を中心に、対象とする時代や学術分野を問わず進められてきたこれまでの日本観研究に対し、画像史料を歴史史料として利用する新たな方法を提示することを目的としている。本年度は、ハイネの描いた金沢、浦賀、函館の現地調査を実施し、画像史料との比較分析を中心におこなった。また、研究成果の一部を発表すべく、Association for Asian Studiesが2023年6月に韓国・大邱で開催を予定するAsian Conferenceへエントリーし、審査を経て口頭報告をすることが許可された。

ケ 研究種目名：基盤研究(C)

課題番号：21K00963

研究課題：縄文土器の微視的観察から縄文時代における集団の移動・交流を探る

研究代表者：主任学芸員 千葉 毅

研究期間：令和3～5年度

研究実績概要：本研究は、これまでの縄文土器型式学的研究では焦点があまり当てられて来なかった「微視的な製作痕跡」に着目し、異系統土器型式共存の背景や縄文時代の人間集団の移動・移住、それに伴う集団間の接触や交流の動態の細部を描き出すことを目的としている。本年度は、胎土の色調についての分析について、昨年度に検討した方法で、所属機関が所蔵する資料を対象とし計測を行った。

コ 研究種目名：基盤研究(C)

課題番号：22K00173

研究課題：足柄地方の宗教彫刻に関する基礎的研究

研究代表者：学芸員 神野 祐太

研究期間：令和4～6年度

研究実績概要：2023年度は主に調査対象となる彫刻資料のリストアップ及び実査をおこなった。当館に保管されるこれまでの彫刻調査の調書及び写真を調査し、現在の彫刻史研究の水準に照らして再調査が必要と思われる作品についてリストを作成した。このリストは随時更新している。それらを元に14か所で実査をおこなった。たとえば南足柄市朝日観音堂はこれまで室町時代とされる毘沙門天立像2体が知られる。今回、他像との耳の形状や構造を比較したところ、平安時代の製作に遡る可能性がでてきた。東国に所在する出土塑像では、栃木県某所より出土した塑造の螺髪1点を調査した。発掘現場で掘り出された状態を確認することができた。栃木県では下野薬師寺跡や堂平遺跡から出土した塑造螺髪が知られるくらいであり、貴重な古代の仏像の資料である。

サ 研究種目名：基盤研究(C)

課題番号：22K00869

研究課題：甲州道中における「合宿」形態の解明—相模国小原・寄席宿と村落との関係から—

研究代表者：学芸員 寺西 明子

研究協力者：非常勤学芸員 根本 佐智子

研究期間：令和4年度～7年度

研究実績概要：本年度は当館所蔵坂本家文書の整理、撮影を中心に行い、与瀬村及び与瀬宿の形態の解明につとめた。また、研究の準備段階において撮影していた相模原市立博物館資料データを整理・調査して与瀬村内小原宿の基礎的データを収集した。

シ 研究種目名：基盤研究(C)

課題番号：22K00885

研究課題：神奈川県域における江戸幕府評定所裁許絵図の基礎的研究

研究代表者：非常勤学芸員 根本 佐智子

研究協力者：元当館学芸員 古宮 雅明氏、学芸員 寺西 明子

研究期間：令和4～6年度

研究実績概要：江戸幕府評定所に保管されていた裁許絵図の目録とされる、国立国会図書館所蔵「旧幕

裁許絵図目録」所収の、神奈川県域（相模国・武蔵国三郡）に関わる裁許絵図の現況調査、および画面情報の収集を行う研究。本年は文献調査を行い、各市町村史や資料目録掲載の情報を収集した。また神奈川県立歴史博物館所蔵分1点について資料紹介を発表した。

ス 研究種目名：若手研究

課題番号：19K13451

研究課題：近代東アジアにおける地図製図・印刷技術の展開過程に関する基礎的研究

研究代表者：学芸員 武田 周一郎

研究期間：令和元～4年度

研究実績概要：本研究は、近代の日本・台湾・朝鮮における地図製図・印刷技術の展開過程を明らかにすることを目的とする。本年度は、過年度の成果も踏まえて、特別展「地図最前線」で成果を公表した。

(3) 個人研究活動

ア 研究報告書

(ア) 『神奈川県立博物館研究報告—人文科学—』第49号 令和4年12月25日発行

a 種別：論文

表題：幕末における外国使節への接遇とまなざし—アメリカ・ペリー使節とハリス使節を中心に—

筆者：主任学芸員 嶋村 元宏

要旨：ペリー使節と将軍拝謁前迄のハリス使節を主たる対象に、第一に幕府がそれらの使節に対していかなる接遇をおこなったのか、第二に幕府に限らず当時の人びとがどのようなものとして認識し、それら外国使節に対していかなる「まなざし」をなげかけていたのかということについて、文献史料に加え画像史料を用いて検討した。これにより、「鎖国」から「開国」への移行過程において、対外関係の枠組みにどのような変容がみられたのかを明らかにすることで、開国史研究にあらたな視点を提示することを目的とした。その結果、以下を得た。①江戸幕府が設定した対外的枠組みの中に位置づけられていた琉球は、総理官が接遇の主となることでアメリカとの公的関係が構築されてはいないことを示そうとした。②幕府は久里浜では戦時下の行動として位置づけ「於陣中受取候作法」によりおこなった。③ペリーは使節が大規模であることを誇示するためにおこなった上陸時の行進は、江戸の人々からは朝鮮・琉球使節のそれに重ね合わせられた。④幕府は応接場を、格式を重んじた空間としたものの、一面では出先機関による接待と解釈可能な状況を生み出した。⑤ハリスへの出府許可を機に、「条約締結国」に対して一定の接遇をおこなうべく基準を定めようとしたが、この段階でも朝鮮・琉球とは一線を画していた。

キーワード：外交儀礼、朝鮮・琉球使節、行列、海外情報、通信・通商国

b 種別：研究ノート

表題：海老名・相模国分寺不動明王坐像について

筆者：学芸員 神野 祐太

要旨：海老名市の国分寺に伝来する不動明王坐像について紹介する。本像は、令和2年（2020）に神奈川県立歴史博物館で開催した特別展「相模川流域のみほとけ」に出陳され注目を集めた。作者はその作風や構造から平安時代後期の奈良仏師が想定される。ただ、国分寺の歴史については不明な部分も多く、江戸時代の地誌『新編相模国風土記稿』に本像とみられる記述があるくらいで、伝来についてはよくわからない。伝来については不明な点が多いものの、東国に伝わる平安時代の奈良仏師の作例はすくなく、今後の東国における彫刻史を考える上でも重要な作例と考えられることから、概要を紹介するとともに若干の考察をおこなった。

キーワード：奈良仏師 相州大山 玉眼 弘法大師様

- c 種 別：研究ノート
 表 題：救恤から見る有力農民の役割—橘樹郡長尾村「鈴木藤助日記」研究の試論として—
 筆 者：学芸員 寺西 明子
 要 旨：本稿は武蔵国橘樹郡長尾村「鈴木藤助日記」（神奈川県立歴史博物館蔵）について、救恤に関わる記事から鈴木家が村内及び周辺地域での地位、経済的立場からどのようにふるまったのか考察した。当該資料を日記研究として評価するためには著者である鈴木藤助の村落史における評価が必要不可欠である。長尾村内は谷・耕地と異なる特徴の地域に分かれており双方が互いのバックアップとして機能していたこと、鈴木家は長尾村において経済的に優位な立場にあり村内・周辺地域からの期待を受け、またその自負からも救恤の出資や関連する情報の積極的な収集を行っていたことを整理した。
 キーワード：日記研究 有力農民 救恤
- d 種 別：資料紹介
 表 題：横浜市公田ジョウロ塚遺跡採集縄文時代土製頭部片の圧痕について
 筆 者：主任学芸員 千葉 毅、熊本大学文学部 小畑 弘己 氏
 要 旨：当館所蔵の縄文時代土製頭部片に見られたツルマメ状の空隙（潜在圧痕）について、詳細に再検討したところ、積極的にツルマメ圧痕とは同定できないことを確認した。
 キーワード：種実圧痕 潜在圧痕 縄文時代 土偶 顔面把手 X線CT撮影
- e 種 別：資料紹介
 表 題：本光寺文書所収「御印判目録」について
 筆 者：学芸員 梯 弘人
 要 旨：本光寺文書に所収される「御印判目録」は本光寺伝来文書群のうち北条氏当主による同寺の権利保護を認めた文書の目録であったと考えられる。その文書選定の状況から、後年種徳寺において作成されたものではなく、本光寺関係者が具体的な訴訟に備えて、天正二年に作成したものと考えた。
 キーワード：本光寺文書 種徳寺 戦国大名北条氏
- f 種 別：資料紹介
 表 題：興悦筆澆墨山水図
 筆 者：学芸員 橋本 遼太
 要 旨：室町時代に関東地域で活動した画僧の祥啓を継ぐ絵師と想定される興悦が描く澆墨山水図を紹介する。本図は、興悦が祥啓に倣って描いたと思われる神奈川県立歴史博物館本や大和文華館本のような夏珪様の山水図とは異なり、輪郭線を用いずに墨を面的に使用して山水景観を描く。興悦が澆墨技法に興味を示しその技法を習得しようとしていた証左となる作品といえ、興悦の澆墨山水としては唯一の存在であった東京国立博物館本に、さらに一幅を追加する作例である。
 キーワード：関東水墨画 興悦 祥啓 澆墨 玉潤様
- g 種 別：資料紹介
 表 題：神奈川県立歴史博物館所蔵 七沢村と煤ヶ谷村田畑境界并山論裁許絵図
 筆 者：非常勤学芸員 根本 佐智子
 要 旨：神奈川県立歴史博物館所蔵「七沢村と煤ヶ谷村田畑境界并山論裁許絵図」（久崎家文書）の紹介。この資料が素朴で簡素な形状をしているのは慶安二年検使巡見の際に村で作成された裁許絵図であるためと考えた。宝暦期の争論においては、絵図の正確性が乏しいことを指摘されながらも、基本的に絵図に描かれた朱の裁許線に従う姿勢が見られた。また、この絵図は「旧幕裁許絵図目録」にも掲載され、幕府も重要または必要と認識していたものと考えられる。
 キーワード：裁許絵図 境界争論 江戸時代 慶安二年 旧幕裁許絵図目録

イ 個人研究活動

〈凡例〉(刊行年などは西暦で統一)

氏名(職名・専門分野等)

- (ア) 著作
 - a 単著・共著・学術論文
 - b 書評・余録
 - c 資(史)料紹介
- (イ) 学術口頭報告
- (ウ) 図録執筆・解説書執筆
- (エ) 新聞・雑誌等への寄稿
- (オ) 各種調査委員会等
- (カ) 講師等
 - a 外部依頼講座講師等
 - b 当館主催講座等講師
 - c 当館出張講座講師
- (キ) ここ1年間の課題・研究テーマ

望月 一樹 (館長・歴史)

- (イ) 「池上幸豊の砂糖国産化事業について―田沼寛治との関係を中心に―」(調査研究成果報告会紙上報告、神奈川県立歴史博物館、5月)
- (オ) 神奈川県博物館協会会長、神奈川県文化財協会常任理事、日本博物館協会参与、棚橋賞・博物館活動奨励賞選考委員、あつぎ郷土博物館協議会委員、シルク博物館運営委員会委員、江戸東京博物館運営委員会委員、川崎市文化財保存活用地域計画策定協議会委員、川崎市川崎区民間活用事業者選定評価委員会委員
- (カ) a なかやはらの魅力発信講座「中原街道の歴史」(中原区役所、8月29日)
宮前市民館自主学級「宮前区内の近世の村々の生活と景観」(宮前市民館、9月25日)
歴史講座「古代神奈川の郡の役所 PART I・II」(玉縄すこやかセンター、10月21日、28日)
かながわガイド協議会スキルアップ研修「かながわの道 その歴史と役割」(藤沢市民会館、2月15日)
- b ボランティア向け館長講話「「鎌倉殿の13人」になれなかった御家人―稲毛三郎重成について―」(4月22日、23日、24日)
「館長トーク① 多摩川下流域の展望」(6月23日)
「館長トーク② 多摩川下流域の治水」(11月24日)
「館長トーク③ 多摩川下流域の利水」(1月12日)
「館長トーク④ 多摩川下流域の交通」(2月9日)
- (キ) 初代川崎市長である石井泰助について、戦前に発行された雑誌『川崎評論』に連載された伝記をもとに、その内容についてより詳細な事跡をあきらかにするため、その他の資料を精査するなどの調査、検討を行った。また引き続き、藁科松伯や松村月溪ら江戸の文人の手紙の読解を進めた。

丹治 雄一 (学芸部長・歴史・近代)

- (イ) 静岡県の石材企業家鈴木伊兵衛と静岡県伊豆地域の近代石材産業について(調査研究成果報告会紙上報告、神奈川県立歴史博物館、5月)
- (ウ) 資料選択・解説「清瀬町工業誘致条例」他9件(清瀬市編『清瀬市史』6 資料編 現代、清瀬市、3月)
- (エ) 「横浜正金銀行本店と妻木頼黄」(『赤煉瓦倶楽部半田会報』第39号、pp.3-4、9月)
「横浜正金銀行本店から神奈川県立歴史博物館へ」(『赤煉瓦倶楽部半田会報』第40号、pp.5-6、1月)
- (オ) 茅ヶ崎市博物館協議会会長、首都圏形成史研究会常任委員
- (カ) a 神奈川県立生命の星・地球博物館友の会地学グループ講座・観察会「岩石・石材から見た横浜の近代建築と近代化遺産」(当館および当館周辺、6月11日)

箱根ジオパークガイド講座「箱根ジオパークエリアで活躍した近代の石材企業家・土屋大次郎の事業活動について」（オンライン開催〔後日配信予定あり〕、1月20日）

箱根ジオパーク一般講座「近代における箱根火山の石の石材利用—小松石・湯本白石・白丁場石—」（南足柄市、2月12日）

- b 旧横浜正金銀行本店本館建物見学会 I (6月4日) II (9月23日) III (12月14日) IV (3月10日)

現地見学会「真鶴の地形・地質と石材関連遺産を巡る」（5月21日）

現地見学会「横須賀の地形・地質と石材関連遺産を巡る～観音崎・浦賀エリア～」(10月26日)

- (キ) 科学研究費助成事業にかかる近代石材産業史研究として、三浦半島地域に現存する近代化遺産での石材の使用状況を調査し、その成果の一部を現地見学型の講座に反映させるとともに、当館建物である旧横浜正金銀行本店本館の建築関係資料の調査にも継続的に取り組んだ。

桑山 童奈（企画普及課長・美術〔絵画〕）

- (イ) 明治錦絵にみる政府高官の肖像（調査研究成果報告会紙上報告、神奈川県立歴史博物館、5月）

- (エ) 「第二四回 国際浮世絵学会春季大会 報告」（『浮世絵芸術』No.184、pp53-54、7月）。

「特集担当 イチオシ果物 鶴見の梨」（『美術の窓』No. 475、pp65、3月）

- (オ) 国際浮世絵学会常任理事・企画委員会副委員長、藤沢市藤澤浮世絵館運営委員、公益財団法人氏家浮世絵コレクション評議員

- (カ)a 「東海道ほどがや宿☆魅力発見！浮世絵が語る横浜3宿」（横浜市岩間市民プラザ、2月25日）

- b 高校生向け連続講座「浮世絵と親しむ」（神奈川県立歴史博物館、8月18日、19日）

- c 「江戸時代の花 浮世絵の話」（鎌倉市立今泉小学校、6月22日）

「江戸時代の花 浮世絵の話」（海老名市立柏ヶ谷小学校、9月22日）

「江戸時代の花 浮世絵の話」（川崎市立南菅小学校、11月1日）

「江戸時代の花 浮世絵の話」（横浜市立東高等学校、11月18日）

- (キ) 錦絵に描かれた明治政府高官の肖像に関する研究。

(古代)

千葉 毅（主任学芸員・考古）

- (ア)c 「横浜市古田ジョウロ塚遺跡採集縄文時代土製頭部片の圧痕について」（共著：千葉 毅・小畑 弘己、『神奈川県立博物館研究報告—人文科学—』第49号、pp. 43-45、12月）

- (イ) 「三浦市間口洞窟遺跡の脊椎動物遺体」（共著：佐藤孝雄・宇根宏紀・艾凱玲・千葉毅、ポスター発表、日本動物考古学会第9回大会、6月25日、日本動物考古学会）

「千葉県中峠遺跡の文化財科学的的研究—下総考古学研究会の活動—」（共著：菅頭明日香・植月学・建石徹・大内千年・千葉毅・小澤政彦・大熊佐智子・金子悠人・合田恵美子・小林謙一・三門準・大村裕、ポスター発表、日本文化財科学会第39回大会、9月10日、日本文化財科学会）

「縄文土器の色調研究のための基礎整理」（調査研究成果報告会紙上報告、神奈川県立歴史博物館、5月）

- (ウ) 特別展図録『洞窟遺跡を掘る—海蝕洞窟の考古学—』（編著・ブックデザイン・DTP編集、pp. 1-128、4月）

- (エ) 「海蝕洞窟の考古学① 弥生人も海で漁や採集」（『毎日新聞 神奈川県版』、5月25日）

「海蝕洞窟の考古学② 洞窟遺跡調査と赤星直忠」（『毎日新聞 神奈川県版』、6月1日）

「海蝕洞窟の考古学③ 無文字の時代 何占う？」（『毎日新聞 神奈川県版』、6月8日）

「海蝕洞窟の考古学④ 貝輪素材求め御蔵島へ」（『毎日新聞 神奈川県版』、6月15日）

- (オ) 三田史学会委員、神奈川県考古学会役員

- (カ)a 神奈川県文化財協会第2回見学会特別展「洞窟遺跡を掘る—海蝕洞窟の考古学」（神奈川県立歴史博物館、6月15日、16日）

- b オンライン現地ツアー「三浦半島の洞窟遺跡をめぐる（大浦山洞窟遺跡編）」（釘持輝久・川口徳治朗・千葉毅、神奈川県公式YouTubeチャンネル [かなチャンTV]、5月13日公開）

オンライントーク「三浦半島の海蝕洞窟遺跡 最新の発掘速報—白石洞窟遺跡—」（杉山浩平・千葉毅、神奈川県公式YouTubeチャンネル [かなチャンTV]、5月20日公開）

オンライントーク「間口洞窟遺跡の発掘調査」(川口徳治朗・千葉毅、神奈川県公式YouTubeチャンネル [かなチャンTV]、6月1日公開)

オンラインギャラリートーク「弥生時代の洞窟遺跡と骨角器」(高橋健・千葉毅、神奈川県公式YouTubeチャンネル [かなチャンTV]、6月3日公開)

オンライントーク「幻の貝、オオツタノハの謎と魅力を語る！」(忍澤成祝・千葉毅、神奈川県公式YouTubeチャンネル [かなチャンTV]、6月10日公開)

オンライントーク「間口洞窟遺跡の発掘調査(後半)」(釘持輝久・川口徳治朗・千葉毅、神奈川県公式YouTubeチャンネル [かなチャンTV]、12月13日公開)

オンライン現地ツアー「三浦半島の洞窟遺跡をめぐる(雨崎洞窟遺跡編)」(釘持輝久・川口徳治朗・千葉毅、神奈川県公式YouTubeチャンネル [かなチャンTV]、12月21日公開)

オンライン現地ツアー「三浦半島の洞窟遺跡をめぐる(毘沙門洞窟遺跡編)」(釘持輝久・川口徳治朗・千葉毅、神奈川県公式YouTubeチャンネル [かなチャンTV]、12月21日公開)

- (キ) 当館所蔵の考古資料および県内の学史的な未報告考古資料に関わる情報の収集、整理を継続しており、特別展『洞窟遺跡を掘る—海蝕洞窟の考古学—』では、その成果の一部を紹介した。また、博物館が蓄積してきた多様な情報のオンライン公開のための整理、検討を進めた。

(中世)

渡邊 浩貴(学芸員・歴史)

- (ア) a 「二つの中世陵王面—鎌倉鶴岡八幡宮と六浦瀬戸神社(下)—」(『民具マンスリー』55—(1)、pp. 13-22、神奈川大学常民文化研究所、4月)
「鎌倉御家人の造寺活動と地域基盤」(中世瓦研究会編『永福寺式軒瓦の成立と展開(予稿集)』、共著、pp. 1-8、中世瓦研究会、11月)
「東国武士の地域連携と鎌倉幕府—源義朝の政治的・文化的遺産をめぐる—」(公益財団法人かながわ考古学財団編『令和四年度公開講座 時代の変換点に生きた相模の人々のくらし—古代から中世へ—』、共著、pp. 46-53、かながわ考古学財団、12月)
「狐の秘法と中世開発—水資源開発の宗教的対応に関する予察—」(伏見稲荷大社社務所編『朱』第66号、pp. 222-232、伏見稲荷大社、3月)
「三浦佐原一族の本拠と造寺活動—満願寺出土中世瓦群との関連から—」(神奈川県立歴史博物館編『総合研究 岩戸満願寺遺跡の研究—三浦半島における鎌倉時代寺院の瓦—』、共著、pp. 65-79、神奈川県立歴史博物館、3月)
- b 「永福寺式軒瓦と鎌倉幕府・鎌倉御家人—特別展「源頼朝が愛した幻の大寺院 永福寺と鎌倉御家人—荘厳される鎌倉幕府とそのひろがり—」によせて—」(『神奈川県立歴史博物館だより』通巻221号、pp. 2-5、神奈川県立歴史博物館、8月)
- (イ) 「宝治合戦後の三浦一族—中世瓦にみる武家本拠の展開—」(調査研究成果報告会紙上報告、神奈川県立歴史博物館、5月)
「戦国大名北条氏の水資源開発を事例とした博物館展示普及事業」(令和四年度河川基金研究成果発表会、TKP ガーデンシティ PREMIUM 神保町、8月30日)
「鎌倉御家人の造寺活動と地域基盤」(中世瓦研究会シンポジウム「永福寺式軒瓦の成立と展開」個別報告、神奈川県立歴史博物館、11月12日)
「東国武士の地域連携と鎌倉幕府—源義朝の政治的・文化的遺産をめぐる—」(公益財団法人かながわ考古学財団令和四年度公開講座「時代の変換点に生きた相模の人々のくらし—古代から中世へ—」、伊勢原市立中央公民館、12月10日)
「鎌倉御家人の言説形成と『吾妻鏡』の編集方針—藪本勝治著『『吾妻鏡』の合戦叙述と〈歴史構築〉』(和泉書院、2022年)読書ノート—」(鎌倉御家人研究会合同書評会、神奈川県立歴史博物館、2月19日)
「源義朝の地域武力編成と院権力」(鎌倉御家人研究会3月例会報告、於神奈川県立歴史博物館、3月19日)
- (ウ) 特別展図録『源頼朝が愛した幻の大寺院永福寺と鎌倉御家人 = YOFUKU-JI Temple, a vanished large-scale temple Minamoto no Yoritomo loved and Kamakura gokenin, vassals of the Kamakura shogunate : 荘厳される鎌倉幕府とそのひろがり』(神奈川県立歴史博物館企画・編集、小き子社、

ISBN978-4-909782-16-8、10月、執筆・編集(執筆内訳:総論「権力を“荘厳”する—永福寺と鎌倉幕府・鎌倉御家人—」/コラム「八幡義生と国寶史蹟研究会」/コラム「相模国糟屋氏と比企氏・北条氏—糟屋氏の動向と考古学研究—」/各論「中世鎌倉音楽史の射程/遺跡解説・資料解説ほか」)
報告書『総合研究 岩戸満願寺遺跡の研究—三浦半島における鎌倉時代寺院の瓦—』(神奈川県立歴史博物館、3月、池谷初恵・押木弘己・小林康幸・高橋喬・中三川昇・松吉里永子との共同執筆)

- (エ) 「特別展 永福寺と鎌倉御家人① 幕府の文化レベル誇示 武力でない「戦争」の始まり」(『毎日新聞神奈川版』、10月26日)
「特別展 永福寺と鎌倉御家人② 瓦が示す富と権力 幕府想起のシンボルに」(『毎日新聞神奈川版』、11月2日)
「特別展 永福寺と鎌倉御家人③ 音楽文化 東の中心地 京都の楽人 発展担う」(『毎日新聞神奈川版』、11月9日)
「特別展 永福寺と鎌倉御家人④ 史跡保存 つなぐ思い 研究者や市民「価値」証明」(『毎日新聞神奈川版』、11月16日)
神奈川県国際文化観光局発行『神奈川 鎌倉殿×13人の御家人たち「ゆかりの地」めぐり 第2弾」(リーフレット、7月発行、神奈川県愛川町郷土資料館:岩田慎平氏、神奈川県藤沢市生涯学習部郷土歴史課:宇都洋平氏とともに参加)にて、[人物紹介:初期の鎌倉幕府を支えた13人の御家人]北条義時・源頼朝・北条政子以下18名の取材協力/[コラム:鎌倉時代 歴史こぼれ話](執筆)[歴史年表](取材協力)など
- (カ) 地方史研究協議会常任委員、国立歴史民俗博物館共同研究員、立川市史編さん室古代・中世史部会主任調査員、「令和4年度大河ドラマを活用した周遊観光促進事業業務委託」神奈川県国際文化観光局コンペ・プロポーザル審査委員
- (カ) a 2022年度ICP「鎌倉をめぐる歴史と文化」講座「永福寺とは何か—永福寺と源氏三代—」(若宮大路ビル、5月22日)
「永福寺の荘厳と鎌倉幕府・鎌倉御家人」(公益財団法人いきいき埼玉 埼玉未来大学主催、埼玉未来大学春日部学園・伊奈学園、6月14日、17日)
2022年度ICP「鎌倉をめぐる歴史と文化」見学会「特別展 永福寺と鎌倉御家人」(神奈川県立歴史博物館、10月23日)
茨城大学・集中講義(日本古代中世史I)「日本古代・中世の豪族・領主と地域社会」講座「中世武家本拠と地域の開発・交流・荘厳—フィールドワークの現場から—」(茨城大学、12月11日)
NHK横浜放送局・ラジオ放送番組出演:はま☆キラ!『鎌倉殿の13人、、、って、誰?』(第9回「比企能員」8月26日放送、第10回「足立遠元」9月30日放送)に出演
大河ドラマセミナー講演会・トークショー「永福寺の荘厳と鎌倉幕府・鎌倉御家人」(NHK横浜放送局・大和市共催、大和市文化創造拠点シリウス、8月27日)
神奈川県文化財協会第6回見学会「源頼朝が愛した幻の大寺院 永福寺と鎌倉御家人—荘厳される鎌倉幕府とそのひろがり—」(神奈川県立歴史博物館、1月16日、17日)
- b 講演会「鼎談!黎明期の鎌倉を語りつくす」(神奈川県立歴史博物館、10月16日)
体験講座その1「永福寺の復元研究とVR体験」(神奈川県立歴史博物館、10月22日)
現地見学会「永福寺とゆかりの地を訪ねる」(永福寺跡・勝長寿院跡ほか、11月9日)
県博セミナー「鎌倉幕府の音楽と御家人本拠の荘厳」(神奈川県立歴史博物館、11月20日)
展示解説 特別展「永福寺と鎌倉御家人」(神奈川県立歴史博物館、10月15日、29日、11月19日、26日、12月3日)
バスツアー「永福寺と鎌倉御家人ゆかりの地 バスツアー」(旅コレクションとの共催、於鶴岡八幡宮、永福寺跡ほか、12月2日)
ミュージアムトーク「今月の逸品」(「八幡義生の中世鎌倉コレクション」、1月)
- c 「中世武士の鎌倉」(フェリス女学院中学校、1月24日、25日)
- (キ) a 「東国武士の本拠と地域開発の景観復元的研究」を個人の研究テーマとし、荘園・村落での現地調査を行いながら、中世景観の復元作業を実施した。
b 上記に加えて「中世都市鎌倉の音楽受容と地域的展開」の研究も行い、都市鎌倉や武士本拠での文化受容の実相を音楽芸能の視座から研究を行っている。

- c 今年度から鎌倉幕府草創以前の東国文化や政治状況に関する研究を開始し、主に源義朝や彼に関わる京武者、地域勢力たちの事跡を追っている。

梯 弘人(学芸員・歴史)

- (ア)a 「小田原北条氏と円覚寺一塔頭への外護と本寺への関与―」（『小田原地方史研究』第31号、pp. 2-14、7月）
「戦国大名の儀礼における喫茶への意識―毛利氏に対する饗応儀礼をとおして―」（橋本素子・三笠景子編著『茶の湯の歴史を問い直す』筑摩書房、pp. 104-125、11月）
- b 神奈川県立歴史博物館コレクション展の紹介―「帰源院文書からみた戦国時代―小田原北条氏と鎌倉―」について―」（『日本史学集録』第43号、pp. 59-63、7月）
- c 「本光寺文書所収「御印判目録」について」（『神奈川県立博物館研究報告―人文科学―』、第49号、pp. 47-54、12月）
- (イ) 「小田原北条氏と円覚寺」（調査研究成果報告会紙上報告、神奈川県立歴史博物館、5月）
「北条家朱印状の奉者の主体性～江梨鈴木家文書をとおして～」(小田原地方史研究会報告、小田原市民交流センター、2月19日)
- (ウ) 「小田原合戦」（渡邊大門編『徳川家康合戦録』星海社新書、pp173-190、星海社、11月）
- (エ) 「常設展からのメッセージ『北条氏の築城技術の粋を集めた城』」（『ボランティアニュース』91号、pp. 1-2、神奈川県立歴史博物館ボランティア会、3月）
- (カ)a 「戦国時代の鎌倉と小田原北条氏―円覚寺との関わりを中心に―」（国寶史蹟研究会主催、神奈川県立歴史博物館、4月2日）
「コレクション展「戦国時代の鎌倉と小田原北条氏」について」（神奈川県高等学校教科研究会社会科部会主催、神奈川県立希望ヶ丘高校、5月18日）
「博物館と観光」（東洋大学須賀ゼミ主催、神奈川県立歴史博物館、6月12日）
「「帰源院文書から見た戦国時代」展について」（鎌倉漱石の会主催、円覚寺帰源院、10月9日）
- b 展示解説 コレクション展「帰源院文書からみた戦国時代―小田原北条氏と鎌倉―」（4月3日）
ミュージアムトーク「今月の逸品」（「北条氏規と「茶の湯」文化」、7月）
教員のための博物館講座「古文書の書き方ルールに触れてみる」（8月17日）
博物館入門講座「博物館入門講座」（10月1日）
- c 「博物館学芸員の仕事」（湘南白百合学園中学校、4月22日）
「鎧兜の移り変わりから見る歴史」（座間市立相模野小学校、11月22日）
- (キ) 館蔵資料の江梨鈴木家文書についての調査を進めた。武家社会における茶の湯文化受容について考察を行った。

神野 祐太(学芸員・美術〔彫刻〕)

- (ア)a 研究ノート「海老名・相模国分寺不動明王坐像について」（『神奈川県立博物館研究報告―人文科学―』第49号、pp. 19-28、12月）
- b 「東海山長福寺の院達作南明東湖寿像の調査をおこなって」（『小松史談』第149号、pp. 122-133、1月）
コラム「神奈川の古面と永福寺」（「神奈川県立歴史博物館編『源頼朝が愛した幻の大寺院 永福寺と鎌倉御家人―荘厳される鎌倉幕府とそのひろがり―』」、pp. 125-126、小さ子社、10月）
- (イ) 「松田町延命寺の諸像について」（調査研究成果報告会、神奈川県立歴史博物館、5月）
- (ウ) 展示解説パネル監修「いせはら文化財展覧会―大山能狂言の「面」・「装束」の世界―」（伊勢原市立中央公民館 展示ホール、9月14日～9月25日）
展示解説 4件（「いせはら文化財展覧会―大山能狂言の「面」・「装束」の世界―」（伊勢原市立中央公民館 展示ホール、9月14日～9月25日）
資料解説7件（「神奈川県立歴史博物館編 特別展図録『永福寺と鎌倉御家人―荘厳される鎌倉幕府とそのひろがり―』」、小さ子社、10月）
- (カ)a 「神奈川県の仏教美術彫刻編」（社会福祉法人鎌倉市社会福祉協議会主催、鎌倉市玉縄すこやかセンター、6月17日）
「永福寺と運慶工房」（NPO 法人鎌倉地域振興協会主催、若宮大路ビル、6月26日）

「妻田薬師堂に伝えられた仏像」（令和4年度「秋の文化財一般公開」従事者説明会、厚木市役所本庁舎3階第5会議室、9月9日）

「三原の仏像と仮面―土肥氏関係寺院を中心に―」（国立歴史民俗博物館、3月14日）

「三原の仏像と仮面―土肥氏関係寺院を中心に―」「中世沼田荘を解き明かす―現地調査中間報告―」（三原市本郷生涯学習センター、3月19日）

- b ミュージアムトーク「今月の逸品」（「銅造観音菩薩立像」、9月）
- c 「鎌倉大仏になってみよう」（藤沢市立大鋸小学校、5月31日）
「鎌倉大仏になってみよう」（横浜市立桂台小学校、6月23日）
「鎌倉大仏になってみよう」（海老名市立有鹿小学校、7月4日）
「鎌倉大仏になってみよう」（横須賀市立野比東小学校、7月7日）
「鎌倉大仏になってみよう」（川崎市下沼部小学校、8月30日）
「鎌倉大仏になってみよう」（横浜市立駒岡小学校、9月13日）
- (キ) 足柄地方の仏像を中心に調査撮影を実施した。鎌倉幕府の御家人が関与した広島県・愛媛県・高知県等の仏像・神像・肖像彫刻の調査もおこない、鎌倉との関連についても研究を進めている。

橋本 遼太（学芸員・美術〔絵画〕）

- (ア)a 「鎌倉と小田原と雪村」（『雪村』4、pp.11-23、雪村顕彰会、7月）
- b 「啓書記が担う歴史に向き合うこと―特別展「あこがれの祥啓」を準備しながら考える」（『神奈川県立歴史博物館だより』通巻222号、pp.2-5、神奈川県立歴史博物館、2月）
- c 「興悦筆澁墨山水図」（『神奈川県立博物館研究報告―人文科学―』第49号、pp.55-58、神奈川県立歴史博物館、12月）
- (イ) 北条早雲像をはじめとする北条五代画像の転写と伝来について―神奈川県立歴史博物館所蔵狭山藩北条家伝来の下絵類の描写をめぐって―（調査研究報告会紙上報告、神奈川県立歴史博物館、5月）
- (ウ) 資料解説5件（「神奈川県立歴史博物館編 特別展図録『源頼朝が愛した幻の大寺院 永福寺と鎌倉御家人―荘厳される鎌倉幕府とそのひろがり―』」、小さ子社、10月）
- (エ) 公益財団法人アルカンシエール美術財団依頼絵画調査（5月）
- (カ)a 社会福祉法人鎌倉市社会福祉協議会「歴史講座 神奈川の仏教美術」（玉縄すこやかセンター、6月24日）
ICP 鎌倉地域振興協会「鎌倉をめぐる歴史と文化 類焼阿弥陀絵巻と当麻曼茶羅縁起」（若宮大路ビル、7月24日）
大井町教育委員会「大井町郷土歴史講座 十王図にみる日本中世の死生観」（大井町役場、9月21日）
- b ミュージアムトーク「今月の逸品」（「長吉筆 布袋図」、8月）
博物館入門講座（「学芸員の目と技 作品解説に挑戦!」、10月1日）
- c 「中世の美術（室町絵画の魅力）」（海老名市立柏ヶ谷小学校、7月15日）
- (キ) 鎌倉時代の絵巻物「類焼阿弥陀縁起絵巻」や「当麻曼茶羅縁起絵巻」、および室町時代の関東水墨画の諸作例について、作品調査に基づき、作品の基本情報の把握に務めた。年度当初は特別展「洞窟遺跡を掘る―海蝕洞窟の考古学―」の副担当業務に従事したほか、年度の半ばからは画僧賢江祥啓についての特別展の準備を本格化させた。

鈴木 愛乃（学芸員・美術〔工芸〕）

- (イ) 「紀州徳川家ゆかりの菓子木型について」（調査研究成果報告会、神奈川県立史博物館、5月）
「近代横浜における輸出漆器について 横浜芝山漆器を中心に」（工芸史研究会、オンライン、9月）
- (ウ) 資料解説「銅骨蔵器」他2件（「神奈川県立歴史博物館編 特別展図録『源頼朝が愛した幻の大寺院永福寺と鎌倉御家人―荘厳される鎌倉幕府とそのひろがり―』」、小さ子社、10月）
- (カ)b ミュージアムトーク「今月の逸品」（「山水花鳥人物図カップ&ソーサー」、11月）
- (キ) 館所蔵・保管資料（中世工芸および近代工芸）に関する調査研究、整理作業を行った。
近代の横浜における輸出工芸について調査研究を行った。

(近世)

寺西 明子 (学芸員・歴史)

- (ア) a 「鈴木藤助日記概説 一部資料の修復報告を兼ねて」 (『神奈川県立歴史博物館だより』通巻 220号、pp. 6-7、神奈川県立歴史博物館、5月)
「江戸藩邸と国元をつなぐ一造酒助の利用した輸送手段―」 (『2018年度～2022年度 科学研究費助成事業 基盤 (C) 研究成果報告書 課題番号 18K00951 幕末期地方藩士による江戸在勤日記の基礎的研究』、pp. 251-258、研究代表者 根本佐智子 (神奈川県立歴史博物館)、6月)
「救恤から見る有力農民の役割―橋樹郡長尾村「鈴木藤助日記」研究の試論として―」 (『神奈川県立歴史博物館研究報告―人文科学―』第 49号、pp. 29-42、12月)
- b コラム「近世における鎌倉巡りと永福寺」 (『神奈川県立歴史博物館編 特別展図録『源頼朝が愛した幻の大寺院 永福寺と鎌倉御家人』』神奈川県立歴史博物館、p. 32、10月)
- (イ) 「『鈴木藤助日記』に見る藤助と留五郎」 (調査研究成果報告会、神奈川県立歴史博物館、5月)
- (ウ) 資料解説「相州鎌倉之図」、永福寺紀行文史料集 pp. 182-188 (特別展図録『源頼朝が愛した幻の大寺院 永福寺と鎌倉御家人』、神奈川県立歴史博物館、10月)
- (カ) a 健康都市大学「古文書から大和の歴史を訪ねる」、①「近世の道と大和市域―坂東三十三観音、大山巡礼の道―」、②「紀行文からみる大和市―渡辺華山「游相日記」をよむ―」③「村に残る文書をよむ―神奈川県立歴史博物館所蔵下草柳村文書を中心に―」 (やまとみらい主催 (文化創造拠点等 指定管理者) / 大和市生涯学習センター、大和市文化創造拠点シリウス、10月24日、11月21日、28日)
神奈川県文化財協会第9回見学会「特別陳列「松平造酒助江戸在勤日記―武士の絵日記―」」 (神奈川県立歴史博物館、3月2日)
- b ミュージアムトーク「今月の逸品」 (『多摩川の川狩―橋樹郡長尾村鈴木家書資料―』、12月)
連続古文書講座「松平造酒助江戸在勤日記を読む」①「造酒助江戸にやってくる」 (2月26日)
特別陳列「松平造酒助江戸在勤日記―武士の絵日記―」展示解説動画 (根本佐智子・岡田和子と共同制作)「特別陳列動画」2月1日公開。第二弾「みきのすけ西瓜を割る」2月16日公開。第三弾「みきのすけの通勤経路を見る」2月16日公開。第四弾「みきのすけと西洋銃」3月1日公開。第五弾「みきのすけと輸送経路」3月1日公開。第六弾「学芸員による展示解説」3月10日公開。第七弾「みきのすけのお宅拝見」3月17日公開。第八弾「みきのすけという男」4月5日公開。
- c 「旅のよそおいとかながわの名所」 (横浜市立上末吉小学校、12月5日)
「旅のよそおいとかながわの名所」 (神奈川県立あおば支援学校、3月3日)
- (キ) 甲州道中と瀬宿坂本家文書、鈴木家資料「鈴木藤助日記」の調査研究を継続するほか、久崎家文書資料整理、新規受入文書群の整理を行った。

根本 佐智子 (非常勤学芸員・歴史)

- (ア) a 『2018年～2022年度 科学研究費助成事業 基盤 (C) 研究成果報告書 JP18K00951 幕末期地方藩士による江戸在勤日記の基礎的研究』 (pp. 1-229, 232-244, 260-284、6月)
「国元の家族へ 特別陳列松平造酒助江戸在勤日記―武士の絵日記―展によせて」 (『神奈川県立歴史博物館だより』通巻 222号、pp. 6-7)
- b 「神楽を承けて、伝える―神楽師・田口秀澄の経験」を読んで (『オープンフォーラム』7号別冊、p. 24、オープンフォーラム編集委員会、3月)
- c 「神奈川県立歴史博物館所蔵 七沢村と煤ヶ谷村田畑境并山論裁許絵図」 (『神奈川県立歴史博物館研究報告―人文科学―』第 49号、pp. 59-66、12月)
- (イ) 幕末期地方藩士による江戸在勤日記の研究―造酒助と西洋鉄砲― (調査研究成果報告会、神奈川県立歴史博物館、5月)
「松平造酒助江戸在勤日記について」 (幕末維新史研究会、横浜開港資料館 9月17日)
- (エ) 「常設展からのメッセージ「所領分布図 (近世後期)」」 (『ボランティアニュース』89号、pp. 2-4、神奈川県立歴史博物館ボランティア会、7月)
- (カ) a 神奈川県文化財協会第9回見学会「特別陳列「松平造酒助江戸在勤日記―武士の絵日記―」」 (神奈川県立歴史博物館、3月1日)

- b ミュージアムトーク「今月の逸品」（「上小田中村文書 稲毛川崎二箇領用水組井筋村高反別調帳」、5月）
特別陳列「松平造酒助江戸在勤日記―武士の絵日記―」展示解説（2月18日、3月4日、26日、4月2日）
連続古文書講座「松平造酒助江戸在勤日記を読む」「第2回 造酒助の江戸在勤」（3月5日）、
「第3回 造酒助江戸を満喫」（3月12日）
特別陳列「松平造酒助江戸在勤日記―武士の絵日記―」展示解説動画（岡田和子・寺西明子と共同制作）「特別陳列動画」2月1日公開。第二弾「みきのすけ西瓜を割る」2月16日公開。第三弾「みきのすけの通勤経路を見る」2月16日公開。第四弾「みきのすけと西洋銃」3月1日公開。第五弾「みきのすけと輸送経路」3月1日公開。第六弾「学芸員による展示解説」3月10日公開。第七弾「みきのすけのお宅拝見」3月17日公開。第八弾「みきのすけという男」4月5日公開。
- c 「絵図で見る江戸時代」（横浜市立初音ヶ丘小学校、11月24日）
- (キ) 『松平造酒助江戸在勤日記』『松平武右衛門文書』の調査研究を進め、その成果を特別陳列で発表した。また神奈川県内における裁許絵図の研究に着手した。今年度ご寄贈いただいた矢倉沢村田代家文書の調査研究も進めている。

山口 希（非常勤学芸員・美術〔絵画〕）

- (ア)a 「杉浦非水と國學院大學構内兄弟姉妹社発行『兄弟姉妹』—明治後期の児童雑誌にみるデザインの特徴を中心に—」（『國學院雑誌』第123巻第5号、pp.43-63、國學院大學文学部資料室、5月）
- (イ) 「三越時代の杉浦非水—『みつこしタイムス』にみるやまと絵の意匠—」（第75回美術史学会全国大会、5月22日）
「三越時代の非水—『みつこしタイムス』にみる琳派の意匠—」（調査研究成果報告会、神奈川県立歴史博物館、5月）
- (カ)b ミュージアムトーク「今月の逸品」（「風俗三十二相」、9月）
- (キ) 明治時代に出版された錦絵を中心に、常設展とトピック展のための資料情報の整理と研究を行った。また、以前より継続している杉浦非水の雑誌表紙に関する調査研究に取り組んだ。

(近代)

嶋村 元宏（主任学芸員・歴史）

- (ア)a 「幕末における外国使節への接遇とまなざし—アメリカ・ペリー使節とハリス使節を中心に—」（『神奈川県立博物館研究報告—人文科学—』第49号、pp.1-18、12月）
「別段風説書の中の戦争と平和」（『青山史学』第41号、117-127、3月）
『令和2年度～令和4年度 科学研究費補助金基盤研究（B）（一般）研究成果報告書『オランダ別段風説書』の研究』（研究代表者 青山学院大学教授 岩田みゆき 分担執筆、3月）
- (イ) オランダ別段風説書研究の現状と課題（調査研究報告会、神奈川県立歴史博物館、5月）
「別段風説書の中の戦争と平和」青山学院大学総合研究所シンポジウム『「オランダ別段風説書」にみるグローバリゼーション』（青山学院大学、9月24日）
- (オ) 明治維新史学会会誌編集委員、独立行政法人日本学術振興会 科学研究費委員会専門委員（令和元年12月1日～令和2年11月30日）※本委員の就任については、委嘱先が氏名を公表するまでは、守秘義務が課されていることから、令和2年度の年報に掲載できなかった。
- (カ)b ミュージアムトーク「今月の逸品」（「横浜居留地模型」、4月）
講演会『世界を伝えた『オランダ別段風説書』』（6月12日）
講演会『描かれた日本開国を語る』（12月17日）
- c 「日本の開国と異文化交流」（横浜市立上末吉小学校、11月15日）
- (キ) 「19世紀中葉における国際秩序の変容」をメインテーマに研究を継続するとともに、昨年度より3カ年間を研究期間として新たに採択されたJSPS 科研費 JP21K00824「開国期・「虚像」による日本観の形成に関する基礎的研究」を進めるとともに、研究分担者として参加しているJSPS 科研費 JP20H01314「オランダ別段風説書の研究」（研究代表者：青山学院大学教授 岩田みゆき氏、令

和2～4年度)については、学術論文、シンポジウムでの発表及び研究成果報告書により成果のとりまとめをおこなった。

山下 春菜 (非常勤学芸員・歴史)

- (ア)a 「未文化財 どのように商店街は変化してきたのか」(会田康範・下山忍・島村圭一編『文化財が語る日本の歴史』、分担執筆、pp. 193-206、雄山閣、5月)
- b 「あつぎ郷土博物館 「基本展示」・「融合展示」を見学して(『地方史研究』420号、pp. 50-56、地方史研究協議会、12月)
- (イ) 「佐賀における大同団結運動と地域社会」(全国自由民権研究顕彰連絡協議会2022年度第3回大会、10月30日)
- (オ) 清瀬市史編さん委員(近代部会)、さいたま市史編さん委員(現代部会)
- (キ) 主に館蔵近代資料の整理を行った。また以前より研究課題としている土族の動向について九州を事例とした研究を継続して行った。

角田 拓朗 (主任学芸員・美術〔絵画〕)

- (ア)a 「大倉孫兵衛旧蔵錦絵画帖」の史的位罫(特輯 大倉孫兵衛旧蔵錦絵画帖 『國華』1521、pp. 19-40、國華社、7月)
「横浜絵一名称・構造一」(『近代画説』31、pp. 89-106、明治美術学会、12月)
- b 「青木茂先生と神奈川県博 青木文庫受贈記念 トピック展示「美術図書を観る」に寄せて」(『神奈川県立歴史博物館だより』通巻221号、8月)
- c 「図版一 作者不詳 月下の扇流し 図版二 二代歌川国明 端午の節句 図版三 作者不詳 菊に尾長鳥」 「図版四 作者不詳 モリムラ・ブラザーズ グリーティングカード、ショップカード、ラベル「大日本香入紙」 「図版五 月岡芳年 「各大区纏鑑」のうち「第五大区三番組」「第五大区六番組」 「図版六 豊原国周 義経千本桜」 「図版七 三代歌川広重 横浜海岸鉄道蒸気車図」 「図版八 安達吟光 「大日本史略図会」のうち「五十一小督局」「五十二鞆絵御前」「四十九那須余一宗隆」「五十熊谷直実」(特輯 大倉孫兵衛旧蔵錦絵画帖 『國華』1521、pp. 41-43、43-45、46-48、48-50、51-53、54-56、國華社、7月)
- (イ) 神奈川県立図書館所蔵中島亨斎関係資料について(調査研究報告会紙上報告、神奈川県立歴史博物館、5月)
- (ウ) 「横浜絵と五姓田派一二人のコレクター」(『ただいまやさしき明治』、pp. 68-69、府中市美術館、5月)
「明治初期洋画の流転一團伊能旧蔵コレクションの再発見報告も兼ねて」「コラム 五姓田派」「コラム 明治の「洋画」」(「記録する眼 豊穰の時代 明治の画家 亀井至一、竹二郎をめぐる人々」展図録、pp. 174-177、126-127、132-133、府中市美術館、11月)
- (エ) 「清方美人の工夫 《京鹿子娘道成寺》を踊ってみる(鏑木清方 市井に生きたまなざし清方 名作50選)」(『別冊太陽』298、pp. 104-111、平凡社、4月)
- (オ) 明治美術学会監事・編集委員、松戸市美術品等選定委員会委員、馬車道日曜画家展審査委員
- (カ)a 文化庁第12回企画展示セミナー講師「常設展示の活性化」(黒田記念館、6月7日)
鎌倉市鏑木清方記念美術館 美術講演会「大正デモクラシーのなかの清方」(鎌倉市鏑木清方記念美術館、11月15日)
シンポジウム報告「明治の洋画」、及び総合討議司会(郡山市立美術館「記録する眼 豊穰の時代」展開催記念&開館30周年記念シンポジウム「展覧会ができるまで～亀井兄弟の足跡を辿って～」、郡山市立美術館、12月3日)
- b ミュージウムトーク「今月の逸品」(「青木文庫」、4月)
- (キ) 故青木茂氏の蔵書群の寄贈にかかる調査等を実施した。関連して令和4年度の常設展テーマ4の一部でトピック展示「美術図書」を実施した。昨年度末までに完了した科学研究費の成果の一部の公開として、学術誌等に論文を発表した。郡山市立美術館企画展に協力し、明治の洋画や版画についての調査研究とその成果公開の機会を得た。近代日本美術を専門とする明治美術学会の事業と連動させながら、同展シンポジウムなどを開催し、当館の既存コレクションの軸となる横浜

絵についての論考を発表した。令和4年度から継続して、令和5年度開催予定の愛知県美術館企画展に協力している。

(現代)

武田 周一郎 (学芸員・歴史)

- (ア)b 「” Homo sapiens ” —地図を作り、地図を使う人—」 (『神奈川県立歴史博物館だより』通巻220号、pp.2-5、神奈川県立歴史博物館、5月)
「書評 平井松午・島津美子編『〈稿本・大名家本〉伊能図研究図録』」 (『歴史地理学』64巻4号、pp.28-32、歴史地理学会、11月)
- (イ) 関東大震災復興期の鎌倉における東勝照寺橋の改築と敬二郎の動向 (調査研究成果報告会紙上報告、神奈川県立歴史博物館、5月)
- (ウ) 『特別展 地図最前線—紙の地図からデジタルマップへ—』 (神奈川県立歴史博物館、7月)
- (エ) 「特別展 地図最前線—紙の地図からデジタルマップへ—① 銅版で細部も微細に」 (『毎日新聞 神奈川版』、7月27日)
「特別展 地図最前線—紙の地図からデジタルマップへ—② 発電施設検討に500枚」 (『毎日新聞 神奈川版』、7月30日)
「特別展 地図最前線—紙の地図からデジタルマップへ—③ 地域の最新の姿描く」 (『毎日新聞 神奈川版』、8月24日)
「特別展 地図最前線—紙の地図からデジタルマップへ—④ 博物館は最新の集合体」 (『毎日新聞 神奈川版』、9月14日)
- (オ) 首都圏形成史研究会常任委員、歴史地理学会編集委員、同評議員
- (カ)a 神奈川県文化財協会第3回見学会 特別展「地図最前線—紙の地図からデジタルマップへ—」 (神奈川県立歴史博物館、8月24日、25日)
 - b 連続講座「地図を使った人たち」 「” Homo sapiens ” 略史」 (7月24日)
展示解説 特別展「地図最前線」 (7月23日、8月7日、28日、9月18日)
博物館入門講座 (「学芸員の目と技 神奈川県鳥瞰図を読む」、10月8日)
- (キ) 主に館蔵現代資料を対象として調査を進め、特別展「地図最前線—紙の地図からデジタルマップへ—」を担当した。また、科研費の研究課題として特に地図の印刷技術に関する調査に取り組んだ。

(民俗)

新井 裕美 (主任学芸員・民俗)

- (ア)c 「常設展からのメッセージ」 (『ボランティアニュース』90号、pp.1-5、神奈川県立歴史博物館ボランティア会、11月)
- (イ) 「大磯町大磯 脇家の祝儀帳からみる贈答習俗」 (調査研究成果報告会 神奈川県立歴史博物館、5月)
- (カ)a 「神奈川県の正月行事」 (はだの歴史博物館、1月14日)
 - b ミュージアムトーク「今月の逸品」 (「かながわの上巳の節供」、3月)
- (キ) 多摩川流域の雨乞い習俗や祭礼について文献等から事例を収集した。それらを展示につなげるために企画案を作成し、その内容を精査した。また、南関東地方における湯立神楽について、報告書やフィールドワークから事例を収集し、分析を行った。

三浦 麻緒 (非常勤学芸員・民俗)

- (ア)b 「コロナ禍の里神楽・神奈川県下の2021年を読んで」 (『オープンフォーラム』7号別冊、p.91、オープンフォーラム編集委員会、3月)
- (イ) 「神奈川県と隣接地域の湯立神楽分布の傾向について」 (調査研究成果報告会紙上報告、神奈川県立歴史博物館、5月)
- (カ)b ミュージアムトーク「今月の逸品」 (「稲荷講」、2月)
- (キ) 館所蔵の民俗資料の整理。科学研究費の研究分担者として神奈川県と隣接地域の湯立神楽についての事例を収集・整理した。

(その他)

中村 菜貴 (非常勤資料整理員・美術・近現代)

(ア)c 「研究資料『創造美育協会』の活動記録にみる戦後日本の美術教育—島崎清海資料群について
(一)」 (『美術研究』439号、pp. 19-69、東京文化財研究所、3月)

(キ) 戦後日本の美術教育に関する資料調査、及び寄贈の仲介をした。また、「久保貞次郎の会」主催の
展覧会「クボテーって誰?—稀代のパトロン久保貞次郎と芸術家たち」(ストライプハウスギャ
ラリー、10月15日~29日)に協力した。

4 資料収集・修理・保管・利用

〈凡例〉

ア 購入、 イ 原始取得・寄贈・寄託・借用・管理換、 ウ 修理、 エ 貸出、 オ 特別利用、
カ その他

(1) 考古資料

イ 原始取得・寄贈・寄託・借用・管理換
(借用)

No.	資料名	当初借用年月日	返却年月日	数量
1	壺（神奈川県立横須賀高等学校裏山遺跡）他	平成7年2月10日	-	1件3点
2	灰釉陶器碗（上浜田遺跡）他	平成30年4月12日	-	108件237点
合計				109件240点

ウ 修理

No.	資料名	(備考)	数量
1	広口壺	弥生時代 横須賀市蛭畑遺跡出土	1件1点
合計			1件1点

エ 貸出

No.	資料名	申請者・目的	利用方法	利用期間	数量
1	小林幸雄氏コレクション	横浜市鶴見区役所・横浜市末吉地区センター1Fロビー 地域の文化財に対する啓発	展示	令和4年4月1日 ～令和5年3月31日	1件72点
2	県指定文化財 三浦市間口洞窟遺跡出土資料 (当館発掘資料) 19点	大阪府立弥生文化博物館 特別展「南関東の弥生文化 東からの視点」に展示するため	展示	令和4年7月16日 ～9月19日	3件27点
	県指定文化財 三浦市間口洞窟遺跡出土資料 (赤星直忠コレクション) 3点				
	三浦市毘沙門C洞窟遺跡出土資料 (赤星直忠コレクション) 5点				
3	有孔鏝付土器（復元製作品）	あつぎ郷土博物館 特別展「有孔鏝付土器と人体装飾文の世界」に展示するため	展示	令和4年7月23日 ～9月19日	1件1点
4	三浦市間口洞窟遺跡出土動物遺体（魚骨）	慶応義塾大学文学部民族学考古学研究室 遺跡出土動物遺体の非破壊による調査分析するため	現生標本との照合同定等	令和4年9月29日 ～11月30日	一括
5	横浜市内採集縄文土器片・弥生土器片（黒川悦郎コレクション）	大正大学文学部歴史学科 博物館実習で使用するため	洗浄注記接合	令和4年10月15日 ～令和5年1月21日	一括
6	土製頭部	相模原市立博物館 かながわの遺跡展「縄文人の環境適応」に展示するため	展示	令和5年2月7日 ～3月5日	3件3点
	翡翠性大珠（複製品）				
	土版（複製品）				
合計					8件103点他

オ 特別利用

No.	資料名	申請者・目的	利用方法	利用期間	数量
1	横浜市梶山遺跡出土 重圏文鏡	個人・研究のため	熟覧 撮影 実測	令和4年5月28日	1件1点
2	三浦市間口洞窟遺跡出土 土器片	個人・研究のため	熟覧 撮影	令和4年5月13日	一括
3	三浦市間口洞窟遺跡出土 貝類遺体	個人・研究のため	熟覧 撮影 メモ サンプリング	令和4年5月18、19日	一括
4	三浦市間口洞窟遺跡出土 貝類遺体	個人・研究のため	熟覧 撮影 メモ サンプリング	令和4年5月18、19日	一括
5	三浦市間口洞窟遺跡出土 貝類遺体	個人・研究のため	熟覧 撮影 メモ	令和4年5月19日	一括
6	三浦市間口洞窟遺跡出土動物遺体	個人・研究のため	熟覧 撮影 メモ	令和4年6月3日	一括
7	三浦市間口洞窟遺跡出土 小札	個人・研究のため	熟覧 実測 写真 撮影	令和4年8月11日	1件10点
8	三浦市間口洞窟遺跡出土 鹿角片	個人・研究のため	熟覧 撮影 計測 メモ	令和4年9月23日	一括
9	三浦市間口洞窟遺跡出土 小札 (県指定文化財)	個人・研究のため	熟覧 撮影 計測 メモ	令和4年9月24日	1件10点
10	横浜市十王堂免遺跡採集資料	講義資料のため	熟覧 スケッチ 撮影	令和4年11月1日	一括
11	毘沙門C洞窟遺跡出土 尖頭器 (アワビオコシ)	個人・研究のため	撮影	令和4年12月24日	1件1点
	毘沙門C洞穴遺跡出土 尖頭器				1件5点
	間口洞窟遺跡出土 角器				1件1点
	間口洞窟遺跡出土 鹿角断片				1件1点

	間口洞窟遺跡出土 加工痕のある鹿角片			1件1点
	間口洞窟遺跡出土 鈷形角器			1件1点
	間口洞窟遺跡出土 鹿角断片			1件1点
	間口洞窟遺跡出土 尖頭器角器			1件1点
合計				11件33点他

(2) 歴史資料

ア 購入

No.	資料名	概要	規格・寸法	数量
1	本間有佐軍忠状	建武5年(1335)	縦31.0cm×横49.0cm	1件1点
合計				1件1点

イ 取得・寄贈・寄託・借用・管理換

(寄贈)

No.	資料名	寄贈主	寄贈年月日	数量
1	八幡義生氏旧蔵資料	個人(神奈川県在住)	令和4年4月13日	1件824点
2	刀片(三増合戦場出土)	個人(東京都在住)	令和4年4月17日	1件1点
3	宮地正彰関係資料	個人(神奈川県在住)	令和4年6月26日	1件73点
4	守正写〔御固図写〕	個人(神奈川県在住)	令和4年9月7日	1件1点
5	〔ペリー等肖像〕	個人(神奈川県在住)	令和4年9月7日	1件1点
6	澁谷政雄家資料	個人(神奈川県在住)	令和5年3月24日	1件22点
7	田代克己家資料	個人(神奈川県在住)	令和5年3月24日	1件980点
合計				7件1,902点

(寄託)

No.	資料名	当初寄託年月日	数量
1	帝政ロシア製32ポンド砲(旧居留地90番出土の大砲)	平成16年2月1日	1件1点
2	長谷川氏所蔵文書	平成23年2月17日	1件22点
3	岩松家文書	平成25年2月1日	210件350点
4	稲葉正則書状 他	平成30年7月1日	2件2点
5	瀬戸 灰釉劃花木葉文梅瓶 他	令和元年10月16日	3件4点
合計			217件379点

(借用)

No.	資料名	当初借用年月日	返却年月日	数量
1	烏帽子形兜	昭和43年10月22日	-	1件1点
2	古瀬戸瓶子	昭和45年9月1日	-	1件1点
3	刀片(三増合戦場出土)	昭和47年6月10日	令和4年4月17日寄贈	1件1点
4	関山家文書	昭和47年9月8日	-	1件24点
5	久崎家文書 他	昭和47年9月13日	-	11件197点
6	瀬戸四耳壺 他	昭和48年7月1日	-	3件3点
7	渥美灰釉壺 他	昭和48年10月1日	-	1件6点
8	本多家文書	昭和49年3月1日	-	1件953点
9	嘆願書	昭和52年3月23日	-	1件1点
10	生麦村新地実測図(神奈川県令中島信行宛) 他	昭和52年12月1日	-	1件5点

11	舊荻野山中建物之繪図 他	昭和53年12月1日	-	1件19点
12	寺井家文書 他	昭和55年2月15日	-	11件16点
13	散弾銃	昭和55年4月1日	-	1件1点
14	羽柴秀吉知行充行状 天正十一年六月五日付	昭和58年5月20日	-	1件1点
15	平本家文書	昭和58年10月14日	-	1件1,309点
16	黒船来航絵巻	平成4年5月15日	-	1件1点
17	日月鳳凰螺鈿鞍	平成4年11月1日	-	1件1点
18	旧小田原城天守閣模型	平成5年12月15日	-	1件1点
19	辰御年貢可納割付之事 他	平成6年7月20日	-	2件2点
20	享保十四年九月酉之内検見引牒 他	平成6年10月7日	-	22件23点
21	中国青磁碗 線描き蓮弁文 他	平成18年6月1日	-	1件50点
22	旧横浜正金銀行本店本館改修工事関係資料	平成20年9月1日	-	1件7点
23	旧横浜正金銀行本店本館彩色立面図 他	平成22年10月15日	-	1件119点
24	銅造 明治天皇立像 他	平成23年12月15日	-	1件3点
合計				68件 2,745点

ウ 修理

No.	資料名	(備考)	数量
1	鈴木藤助日記	江戸時代	1件9点
合計			1件9点

エ 貸出

No.	資料名	申請者・目的	利用方法	利用期間	数量
1	源頼朝袖判下文	鎌倉国宝館 北条氏展 vol. 3-1 「北条義時とその時代—義時と頼朝・頼家—」に展示するため	展示	令和4年7月2日 ～8月21日	2件2点
	源頼家袖判下文				
2	北条義時追討宣旨案（官宣旨案）複製	鎌倉歴史文化交流館 企画展「北条氏展 Vol. 3 北条義時とその時代」に展示するため	展示	令和4年7月2日 ～10月8日	1件1点
3	黒船絵巻	東京ステーションギャラリー 展覧会「鉄道と美術の150年」に展示するため	展示	令和4年10月8日 ～令和5年1月9日	2件2点
	亜墨利加船渡来横浜之真景				
4	鉄黒漆塗四十八間筋兜鉢	行田市郷土博物館 企画展「天正十八年～関東の戦国から近世～」に展示するため	展示	令和4年10月8日 ～11月23日	12件12点
	三鱗紋陣羽織				
	三鱗紋旗指物				
	(天正11年)7月5日付北条氏政あて徳川家康書状写				
	(天正17年)12月8日付桜井武兵衛あて北条家朱印状				
	(天正18年)6月7日付北条氏規あて徳川家康書状				

	(天正18年)5月14日付北政所あて豊臣秀吉書状				
	(天正18年)7月17日付桜井武兵衛あて北条氏直朱印状				
	(天正19年)2月7日付徳川家康あて豊臣秀吉朱印状				
	天正19年8月9日付北条美濃守あて豊臣秀吉朱印状				
	小田原陣仕寄陣取図(複製)				
	(天正12年カ)3月8日付聖天院あて成田氏長書状				
5	北条家過所船旗複製	鎌倉歴史文化交流館 企画展「北条氏展 Vol. 4 北条義時とその子どもたち」	展示	令和4年10月24日 ~12月28日	1件1点
合計					18件18点

オ 特別利用

No.	資料名	申請者・目的	利用方法	利用期間	数量
1	小田原城下絵図(天保15年写)	個人研究調査	閲覧 撮影 掲載	令和4年4月22日、8月31日	1件1点
2	平本家文書(借用資料)	個人研究調査	閲覧 撮影 翻刻	令和4年6月16日	1件31点
3	松平造酒助江戸在勤日記	個人研究調査	閲覧 撮影 掲載	令和4年7月19日	1件50点
4	雑誌オートバイ	個人研究調査	閲覧 撮影	令和4年7月17日	1件6点
5	桜井家文書	個人研究調査	熟覧	令和4年8月6日	1件10点
	金子家文書				1件5点
	曾我師助書下				1件1点
	土屋宗直軍忠状				1件1点
	左衛門尉頼季請文				1件1点
6	大道寺盛昌書状(江梨鈴木家文書)	個人研究調査	閲覧 撮影	令和4年9月4日	1件1点
	北条家朱印状(江梨鈴木家文書)				1件1点
	某書状(江梨鈴木家文書)				1件1点
7	桜井家文書	個人研究調査	閲覧	令和4年11月11日	1件10点
	六波羅施行状				1件1点
	曾我師助書下				1件1点
	土屋宗直軍忠状				1件1点
	左衛門尉頼季請文				1件1点
8	松平造酒助江戸在勤日記	講演会のため	掲載	令和4年11月5日	1件50点

9	横浜正金銀行券	個人研究調査	熟覧 撮影	令和4年12月20日	1件182点
10	松平造酒助江戸在勤日記 第21冊他	講演録に転載	掲載	令和5年2月7日、3月 1日	1件1点他
11	タイ国銀行券	個人研究調査	閲覧 撮影	令和5年3月2日	1件16点
	ジャカルタ銀行券				1件8点
	フィリピン銀行券				1件20点
	中国連合準備銀行券				1件63点
	中国儲備銀行券				1件4点
12	清英戦記	個人研究調査	閲覧 撮影	令和5年3月16日	1件5点
	諸家上書写				
	浦賀台場図				
	海防不行届之件				
	下田之図				
合計					26件472点 他

(3) 美術資料

イ 原始取得・寄贈・寄託・借用・管理換

(寄贈)

No.	資料名	寄贈主	寄贈年月日	数量
1	琴高仙人、芦に鷺、松に小禽	個人（神奈川県在住）	令和4年6月8日	1件3点
2	眞葛窯跡採集陶片	個人（神奈川県在住）	令和4年7月18日	1件539点
3	梶山良助関係資料 銹絵染付花卉文茶碗 三浦乾也	個人（神奈川県在住）	令和4年9月22日	1件1点
4	梶山良助関係資料 色絵金彩花卉文盃 三浦乾也	個人（神奈川県在住）	令和4年9月22日	1件1点
5	梶山良助関係資料 色絵金彩花卉文盃 三浦乾也	個人（神奈川県在住）	令和4年9月22日	1件1点
6	梶山良助関係資料 染付雲堂文盃 三浦乾也	個人（神奈川県在住）	令和4年9月22日	1件1点
7	梶山良助関係資料 染付花鳥文盃 三浦乾也	個人（神奈川県在住）	令和4年9月22日	1件1点
8	梶山良助関係資料 灰釉盃 三浦乾也	個人（神奈川県在住）	令和4年9月22日	1件1点
9	梶山良助関係資料 関羽図 三浦乾也	個人（神奈川県在住）	令和4年9月22日	1件1点
10	書状類 ①明治3年4月謹慎御免写し ②明治3年10月18日附かず宛 書簡 ③明治3年駕籠及び人足雇証文	橘亮介	令和5年3月29日	1件4点

	④明治4年1月附家族東京へ引き移り願書 橋忠助氏旧蔵美術資料群			
11	日記断簡 橋忠助氏旧蔵美術資料群	橋亮介	令和5年3月29日	1件2点
12	外国旅行規則写し 橋忠助氏旧蔵美術資料群	橋亮介	令和5年3月29日	1件1点
13	ウィーン渡航並同地滞在手帳 橋忠助氏旧蔵美術資料群	橋亮介	令和5年3月29日	1件1点
14	岩橋教章宛賛歌 橋忠助氏旧蔵美術資料群	橋亮介	令和5年3月29日	1件1点
15	『正智遺稿』口絵試刷 橋忠助氏旧蔵美術資料群	橋亮介	令和5年3月29日	1件2点
16	写図出来見積及製図掛人名 橋忠助氏旧蔵美術資料群	橋亮介	令和5年3月29日	1件1点
17	地図作製用ペン先調整 橋忠助氏旧蔵美術資料群	橋亮介	令和5年3月29日	1件2点
18	地図描法下書 橋忠助氏旧蔵美術資料群	橋亮介	令和5年3月29日	1件1点
19	渡辺幽香 《山内市郎治像》	個人（兵庫県在住）	令和5年3月29日	1件1点
20	青木文庫（図書89点 定期刊行物206点）	個人（千葉県在住）	令和5年3月29日	1件1,104点
合計				20件1,669点

(寄託)

No.	資料名	当初寄託年月日	数量
1	重要文化財 木造他阿真教坐像	平成17年5月24日	1件1点
2	束帯天神像 他	平成21年4月24日	1件12点
3	巖中周=賛 渡唐天神像 他	平成21年8月1日	46件78点
4	眞葛焼（高浮彫南天二鶉花瓶 他）	平成22年3月1日	27件36点
5	潘閻図 右都御史筆	平成25年7月2日	1件1点
6	齋藤俊吉氏旧蔵作品群	平成27年6月18日	1件63点
7	仁阿弥道八作焼締急須 銘阿治王 他	平成27年6月26日	1件9点
8	一遍他阿真教像 他	平成28年3月25日	2件2点
9	渡辺幽香 山崎勢威子肖像	平成31年3月1日	1件1点
10	絵瀬戸草文輪花皿 他	平成28年6月24日	26件68点
11	近代絵画作品群	平成29年3月1日	37件37点
12	下村観山筆 鬪鶏 他	平成29年5月1日	11件14点
13	本多錦吉郎 鍾馗図	平成30年4月1日	1件1点
14	大倉孫兵衛旧蔵 錦絵画帖 他	平成30年4月1日	2件598点
15	二河白道図 他	平成31年3月8日	4件4点
16	初代五姓田芳柳 婦人像 他	平成31年4月1日	16件16点
17	伝周文筆 山水図 他	平成31年4月1日	22件23点
18	新生紙パルプ商事株式会社寄託作品	平成31年5月31日	49件55点
19	鐔 奈良利寿作	令和元年11月15日	1件1点
20	蝶耳人物花鳥図香炉 他	令和元年11月15日	5件6点
21	極彩色鳳凰花瓶	令和元年11月15日	1件2点

22	短刀 (ワーグマン使用)	令和3年3月1日	1件1点
23	井上良斎関係資料	令和3年11月1日	400件462点
24	曾我物語富士巻狩図巻	令和4年1月4日	2件2点
合計			659件 1,493点

(借用)

No.	資料名	当初借用年月日	返却年月日	数量
1	県指定重要文化財 紙本墨画淡彩 十六羅漢図 他	昭和44年3月1日	-	2件17点
2	県指定重要文化財 絹本着色 熊野権現影向図	昭和44年3月1日	-	1件1点
3	県指定重要文化財 絹本着色 両界曼荼羅図 他	昭和44年7月1日	-	1件37点
4	常滑印花文壺 他	昭和48年3月1日	-	11件12点
5	東海道図屏風	昭和49年7月1日	-	1件2点
6	絹本着色 七星如意輪曼荼羅図 他	昭和50年6月1日	-	1件24点
7	横浜浮世絵	昭和52年1月10日	-	1件473点
8	張交屏風	昭和52年7月15日	-	1件2点
9	県指定重要文化財 木造薬師如来坐像	昭和56年2月25日	-	1件1点
10	大小曆コレクション	昭和59年4月1日	-	1件40点
11	鴉図 (以天宗清) 他	昭和63年7月7日	-	2件2点
12	江島金沢八景図屏風 他	平成4年12月1日	-	1件4点
13	本牧風景 他	平成5年6月15日	-	2件2点
14	鶴岡八幡宮境内出土品の内 板草履の芯 他	平成7年3月1日	-	8件19点
15	仁清意鶏形香合 初代宮川香山 他	平成12年3月1日	-	3件3点
16	俵藤太絵巻 他	平成12年5月1日	-	2件6点
17	喜多川歌麿 好色十二候 他	平成12年12月20日	-	1件12点
18	箱根権現縁起絵巻 付 納入箱	平成13年8月1日	-	1件2点
19	賀茂真淵筆 伊勢物語古意 他	平成28年9月20日	-	12件20点
20	森村組 輸出台帳	令和3年2月25日	-	18件18点
合計				71件697点

ウ 修理

No.	資料名	(備考)	数量
1	脇差	赤羽刀No.2006、官報No.2133、銘「相州住綱廣」、江戸時代	1件1点
2	脇差	赤羽刀No.1711、官報No.1401、銘「相州住隆広」、江戸時代	1件1点
3	国府台風景図屏風	六曲一双のうち一隻、二世五姓田芳柳	1件1点
4	和服姿の米婦人	矢内舎柳村	1件1点
合計			4件4点

エ 貸出

No.	資料名	申請者・目的	利用方法	利用期間	数量
-----	-----	--------	------	------	----

1	鉄二十四間四方白星兜	鎌倉国宝館 企画展「北条氏展 vol.2 鎌倉武士の時代—武士の姿への憧憬—」に展示するため	展示	令和4年4月9日 ～6月12日	4件4点
	鉄二十四間四方白星兜鉢				
	男衾三郎絵詞 (模本)				
	曾我物語絵巻 (第4巻)				
2	三浦義明坐像 (複製)	鎌倉歴史文化交流館 企画展「北条氏展 vol.2 鎌倉武士の時代」に展示するため	展示	令和4年4月9日 ～6月11日	1件1点
3	銅造観音菩薩立像	根津美術館 企画展示「阿彌陀如来—浄土の憧れ—」	展示	令和4年5月26日 ～7月3日	2件2点
	熊野権現影向図 相模原市・正念寺蔵				
4	諸国名橋奇覧 足利行道山くものかけはし (葛飾北斎)	九州国立博物館 特別展「北斎」に展示するため	展示	令和4年4月16日 ～6月12日	3件3点
	日本堤田中見之図 (葛飾北斎)				
	羽根田弁天之図 (葛飾北斎)				
5	奈良絵本 平家物語 (24冊のうち第十七冊)	渋谷区立松濤美術館 「装いの力—異性装の日本史」に展示するため	展示	令和4年9月3日 ～10月30日	3件3点
	堀川夜討絵巻 下巻				
	美人三番叟 (鈴木春信)				
6	前島宗祐筆 四季耕作図屏風	山口県立美術館 根津美術館 特別展「将軍家の襖絵」に展示するため	展示	山口県立美術館 令和4年9月16日 ～10月16日 根津美術館 11月3日～12月4日	1件1点
7	横浜交易西洋人荷物運送之図 (五雲亭貞秀)	太田記念美術館 企画展「はこぶ浮世絵—クルマ・船・鉄道」に展示するため	展示	令和4年10月1日 ～10月26日	6件6点
	高縄鉄道之図 (月岡芳年)				
	六郷川蒸気車往返之全図 (三代歌川広重)				
	横浜新地蒸気車鉄道之真景 (三代歌川広重)				
	蒸気車出発時刻賃金附 (三代歌川広重)				
	横浜往返鉄道蒸気車ヨリ海上之図 (三代歌川広重)				
8	神奈川野毛横浜 横浜風景一覧 (二代歌川広重)	シルク博物館 特別展「横浜・生糸ものがたり III 「横浜から世界へ—海を渡った生糸—」」に展示するため	展示	令和4年10月1日 ～11月13日	3件3点
	横浜本町港崎町振分双六 (五雲亭貞秀)				
	横浜海岸之風景 (五雲亭貞秀)				
9	横浜海岸鉄道蒸気車図 (三代歌川広重)	東京ステーションギャラリー 展覧会「鉄道と美術の150年」に展示するため	展示	令和4年10月8日 ～令和5年1月9日	1件1点
10	北条氏政画像 (複製)	行田市郷土博物館 企画展「天正十八年～関東の戦国から近世～」に展示するため	展示	令和4年10月8日 ～11月23日	2件2点
	北条氏直画像 (複製)				
11	県指定文化財 石清水八幡宮図	大分県立歴史博物館 特別展「宇佐神宮」に展示するため	展示	和4年10月14日 ～11月27日	1件1点

12	浮絵東都 日本橋小田原町魚市之図 (北尾政美)	福島県立美術館 千葉市美術館 企画展「没後200年 亜欧堂田善」に展示するため	展示	福島県立美術館 令和4年10月29日 ～12月18日 千葉市美術館 令和5年1月13日 ～2月26日	8件8点
	江之嶋七里ヶ浜 (昇亭北寿)				
	武州千住大橋之景 (昇亭北寿)				
	甲斐国猿橋ノ真写之図 (昇亭北寿)				
	相州七里浜 (柳々居辰斎)				
	近江八景 石山秋月 (柳々居辰斎)				
	両国 (柳々居辰斎)				
	名所江戸百景 月の岬(歌川広重)				
13	旧江戸城写真 (52点) 横山松三郎	郡山市立美術館 企画展「記録する眼 豊穰の時代」に展示するため	展示	令和4年11月3日 ～令和5年1月9日	24件87点
	風景 横山松三郎				
	裸婦 横山松三郎				
	日光風景版画 (鬼平金四郎版) 亀井至一				
	東海道懐古帖 亀井竹二郎 (原画)、徳永柳州 (画工)				
	西洋老婦人像 五姓田芳柳				
	街道 チャールズ・ワーグマン				
	宿場 チャールズ・ワーグマン				
	五姓田一家之図 五姓田義松				
	井田磐南像 五姓田義松				
	島田髻の女 五姓田義松				
	宇津ノ谷峠隧道 五姓田義松				
	銀閣寺 五姓田義松				
	皇居風景 五姓田義松				
	日光東照宮 五姓田義松				
	石版刷り 五姓田義松				
	ワーグマン画作像 五姓田義松				
	五姓田工房内 五姓田義松				
	大日本帝国古今風俗 寸陰漫稿				

	渡辺幽香 『西洋画譜』 高橋由一 近代日本美術家写真アルバム 西田武雄（編） 『明治初期洋画壇回顧』 平木政次 『横山先生之伝』 亀井至一、下国罷之輔 『追弔記念 洋風美術家小伝』 本多錦吉郎				
14	東海道五拾三次之内 沼津 黄昏図（歌川広重） 東海道五拾三次之内 原 朝之富士（歌川広重） 東海道五拾三次之内 吉原 左富士（歌川広重） 東海道五拾三次之内 蒲原 夜之雪（歌川広重） 東海道五拾三次之内 由井 薩埵 嶺（歌川広重） 東海道五拾三次之内 興津 興津川（歌川広重） 東海道五拾三次之内 江尻 三保遠望（歌川広重） 東海道五拾三次之内 府中 安部川（歌川広重） 東海道五拾三次之内 鞠子 名物茶店（歌川広重） 東海道五拾三次之内 岡部 宇津之山（歌川広重） 東海道五拾三次之内 藤枝 人馬継立（歌川広重） 東海道五拾三次之内 嶋田 大井川駿岸（歌川広重） 東海道図屏風 東海道図屏風（狩野永隆）	静岡市美術館 展覧会「東海道の美 駿河への旅」に展示するため	展示	令和5年2月11日 ～3月26日	14件14点
15	横浜商館天主堂ノ図 （三代歌川広重）	宇都宮美術館 企画展「宇都宮美術館開館25周年記念 二つの教会をめぐる石の物語」に展示するため	展示	令和5年2月19日 ～4月16日	1件1点
合計					74件137点

オ 特別利用

No.	資料名	申請者・目的	利用方法	利用期間	数量
1	北野天神縁起絵巻	個人研究調査	熟覧 採寸 撮影	令和4年6月3日	1件1点

2	和服姿の米婦人	個人研究調査	熟覧 撮影	令和4年8月24日	1件1点
3	阿弥陀如来坐像	個人研究調査	撮影	令和4年8月24日	1件1点
4	二世市川門之助の源よりのぶ	個人研究調査	閲覧 撮影	令和4年10月1日	18件18点
	風流江戸八景 吉原 夜雨				
	箱根七湯名所 とうの沢				
	箱根七湯名所 どふが島				
	箱根七湯名所 きが				
	箱根七湯名所 あしのゆ				
	門松の縁先 羽根つき				
	美南見八景 級江夜泊				
	青楼仁和嘉尽二日め名賀哥 里				
	月恋名取				
	矢の根五郎				
	新吉原十景 大門口				
	金太郎小鬼の相撲を見る				
	大黒を夢に見る美人				
	小児の用を達させる母と娘				
	児女実訓 女今川				
茶見世十景 金龍山					
風流三つの駒					
美人図					
5	俵藤太絵巻 (借用資料)	個人研究調査	熟覧 採寸 撮影	令和4年11月25日	1件5点
6	三代歌川広重 下絵画稿集	個人研究調査	熟覧 撮影	令和5年1月25日	1件6点
7	訂正浅井自在画臨本	個人研究調査	熟覧 撮影	令和5年1月25日	1件4点
	萬工画式				1件1点
	工芸細画式				1件1点
	新刻萬物画譜				1件1点
	萬物工業画譜				1件1点
	楳嶺百鳥画譜				1件6点
8	広島県御安着之図	個人研究調査	閲覧 撮影	令和5年2月14日	1件1点
	参謀本部会議之図				1件1点
	大婚廿五年御祝典青山観兵式之図				1件1点
	福島中佐勲章授与之図				1件1点
広島大本営	1件1点				
合計					34件51点

(4) 民俗資料

イ 原始取得・寄贈・寄託・借用・管理換
(寄贈)

No.	資料名	寄贈主	寄贈年月日	数量
1	鉄漿沸かし (お歯黒さし)	個人 (東京都在住)	令和4年4月17日	1件1点
2	有明行灯	個人 (東京都在住)	令和4年4月17日	1件1点
3	紳士服仕立て職人の道具と製品	個人 (神奈川県在住)	令和4年6月8日	1件123点
4	ヤキゴテ	畑野清司	令和5年3月24日	1件1点

5	米櫃	小菅教彦	令和5年3月23日	1件1点
6	柱時計	小菅教彦	令和5年3月23日	1件1点
7	絵馬	七沢観音寺	令和5年3月23日	1件46点
8	込宮家関係資料	込宮一郎	令和5年3月23日	15件174点
合計				22件348点

(寄託)

No.	資料名	当初寄託年月日	数量
1	ダイカイ 他	平成27年5月14日	2件3点
合計			2件3点

(借用)

No.	資料名	当初借用年月日	返却年月日	数量
1	お食初め膳 他	昭和46年10月23日	-	1件3点
2	燭台	昭和47年3月6日	-	1件1点
3	長持 他	昭和47年3月6日	-	1件2点
4	お歯黒さし 他	昭和47年3月8日	令和4年4月17日寄贈	1件2点
5	お歯黒の道具	昭和47年3月11日	-	1件1点
6	天狗の面 他	昭和48年2月27日	-	1件3点
7	帳場格子 他	昭和48年3月2日	-	1件15点
8	結納樽	昭和48年4月1日	-	1件1点
9	お馬板、ツノダル	昭和48年8月20日	-	1件3点
10	鏡台と鏡 他	昭和49年4月26日	-	1件5点
11	獅子頭 他	昭和54年3月1日	-	1件9点
12	婚礼用具	昭和54年3月1日	-	1件2点
13	足踏み脱穀機 他	平成6年4月15日	-	2件2点
14	渡辺紳一郎時計コレクション	平成28年7月1日	-	1件22点
合計				15件71点

エ 貸出

No.	資料名	申請者・目的	利用方法	利用期間	数量
1	三番叟	あつぎ郷土博物館 企画展「相模人形芝居大会 第50回記念展 人形とともに—相模人形芝居の50年—」に展示するため	展示	令和4年7月16日 ～9月19日	26件48点
	団七				
	与勘平				
	文七 (1)				
	文七 (2)				
	ロアキ文七				
	娘 (1)				
	娘 (2)				
	娘 (3)				
	娘 (4)				
	娘 (5)				
	フケ女形				
	婆				
	ケンビシ (2)				
フケ源太					
端敵					

	爺				
	子役				
	リチャ				
	がぶ				
	孔明				
	黒尉				
	白尉				
	鈴				
	烏帽子				
	浄瑠璃本				
合計				26件48点	

オ 特別利用

No.	資料名	申請者・目的	利用方法	利用期間	数量
1	情報資料室の様子	論文掲載	掲載	令和3年12月22日	2件2点
	民俗資料カード				
合計					2件2点

(5) 写真資料

令和4年度写真撮影資料

ア 特別展図録用

地図最前線 ―紙の地図からデジタルマップへ―

源頼朝が愛した幻の大寺院 永福寺と鎌倉御家人―荘厳される鎌倉幕府とそのひろがり―

あこがれの祥啓 ―啓書記の幻影と実像―

関東大震災―原点は100年前―

足柄の仏像

イ 特別陳列用

松平造酒助江戸在勤日記 ―武士の絵日記―

ウ その他

当館所蔵資料、近代日本の視覚開化 明治―呼応し合う西洋と日本のイメージ（愛知県美術館）、文化財保護ポスター 他

(6) 資料の燻蒸等

IPM(総合的病害虫管理 Integrated Pest Management)に基づき、日常的には「予防」の観点から資料保存活動を進めている。年に2回、文化財害虫調査ならびに空中浮遊菌調査を実施し、文化財害虫の生息状況やカビの発生危険度の把握に努めている。展示室等の空気改善に向けて、空気質環境調査を実施し、さらに今年度は東京文化財研究所の調査も受け入れ、助言を得た。本年度は展覧会出品予定資料および新収蔵資料等に対し、7月にエキヒューム燻蒸、10～11月に炭酸ガス燻蒸を行った。

(7) その他の資料

ア 図書

令和4年度図書資料の状況は次のとおりである。全国の博物館・美術館等からの寄贈も多く、当館の貴重な資料として活用されている。

受入種別	受入			除籍数	総数	ライブラリー公開数
	購入	寄贈	合計数			
図 書(冊)	3	967	970	0	23,356	4,850
図 録(冊)	0	754	754	0	18,453	798
逐次刊行物(タイトル)	24	28	—	0	2,595	83

※逐次刊行物はタイトル数で、寄贈は新規のみの数値。誌名変更等による新規書誌作成成分を含む。

イ 写真

展示・調査研究資料として、収蔵資料を中心に撮影したフィルム 124,718 件とデジタルカメラデータ 45,416 件を保存し、データベース化するとともに、写真の特別利用として貸出しを行っている。

特別利用件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	13	18	22	13	13	14	14	24	13	16	21	22	203
点数	18	70	69	34	19	15	44	73	26	42	53	45	508

ウ 情報システム

(ア) システム整備の目的と背景

- a 学習の支援
- b 高度な知的ニーズへの対応
- c 博物館活動の活性化、効率化
- d 研究活動の高度化
 - (a) 各種アプリケーションの利用
 - (b) 博物館が所有する情報の活用
- e 情報公開

博物館の再編整備の方向（「県立博物館整備構想に関する提言」昭和 63 年度）

- (a) 高度情報化社会における自然・文化の情報センター
- (b) 映像資料等、新しい形態の資料の収集・保存と活用の拠点
- (c) 内外の博物館、学習文化施設等とのネットワークの拠点

(イ) システム開発と運用

- a システム基本設計・詳細設計 平成 5 年度
- b システム運用開始 平成 7 年度
- c システム更新 平成 13、18、23、28 年度、令和 4 年度

(ウ) 稼働しているシステム（「デジタルミュージアム」）の内容

a 展示情報システムの内容

ミュージアムライブラリーに設置された 2 台の来館者用端末と Web ページで提供している（No2 絵馬、No5 水墨画、No12 収蔵コレクションは、来館者用端末のみで提供）。一部資料については高精細拡大画像も提供している。

No.	タイトル	内容
1	浮世絵	博物館所蔵の約 7,000 点ある浮世絵の中から、浮世絵の歴史、神奈川を描いた浮世絵、横浜浮世絵、著名な浮世絵師たち、一枚の絵から見る江戸時代の風俗など、テーマごとに選択した 230 点の浮世絵を紹介。
2	絵馬	神奈川県でよく見ることが出来る絵馬や珍しい絵馬など 125 点を紹介。
3	関東大震災	震災時の惨状等を伝える写真資料 70 点を紹介。

4	古地図・絵地図	当館収蔵の古地図の中から 50 点を紹介。館内端末では拡大画像により、細部まで見ることが可能。
5	水墨画	平成 10 年度に開催した水墨画の特別展に出品された作品の中から代表的な作品 85 点を紹介。
6	横浜正金銀行	かつて世界三大為替銀行の一つに数えられた横浜正金銀行の写真資料 221 点を紹介。
7	眞葛焼	かつて世界に名を知られた横浜の焼き物の中から 46 点を紹介。
8	鎌倉彫	館蔵品の鎌倉彫の中から 32 点を紹介。
9	後北条氏関係文書	戦国大名北条氏の多様な文書の世界を人物などととも 118 点を紹介。
10	東海道分間絵図	東海道の情景を描いた道中案内記(1 件 5 冊)を紹介。拡大画像により、細部まで見ることが可能。
11	県有形民俗文化財 職人の道具コレクション	神奈川県指定有形民俗文化財「神奈川の職人の道具コレクション」(17 職種 1,982 点)のうち、大山木地師、小田原物差職人、下駄職人、傘職人の道具など、338 点を紹介。
12	収蔵コレクション	収蔵データベースの一部について、概要を一覧形式で提供する。 考古：206 点、中世文書 96 点、彫刻：14 点、中世絵画 80 点、 浮世絵：288 点、近代歴史資料 260 点、近代絵画 156 点、民俗 306 点
計 2,722 点		

b デジタルアーカイブの内容

収蔵資料管理システムに登録されている当館所蔵資料のデータベースを、当館 HP で検索・閲覧できるように令和 4 年 10 月より公開。令和 5 年 3 月末現在で約 49,300 件の収蔵資料情報を公開している。

c 業務システムの内容

- (a) 収蔵資料管理システム：収蔵品管理機能、画像登録機能、受入管理機能、特別利用管理運用機能、各種帳票ラベル出力機能
- (b) 図書システム：蔵書の登録管理機能、蔵書情報の検索機能

(e) システム構成

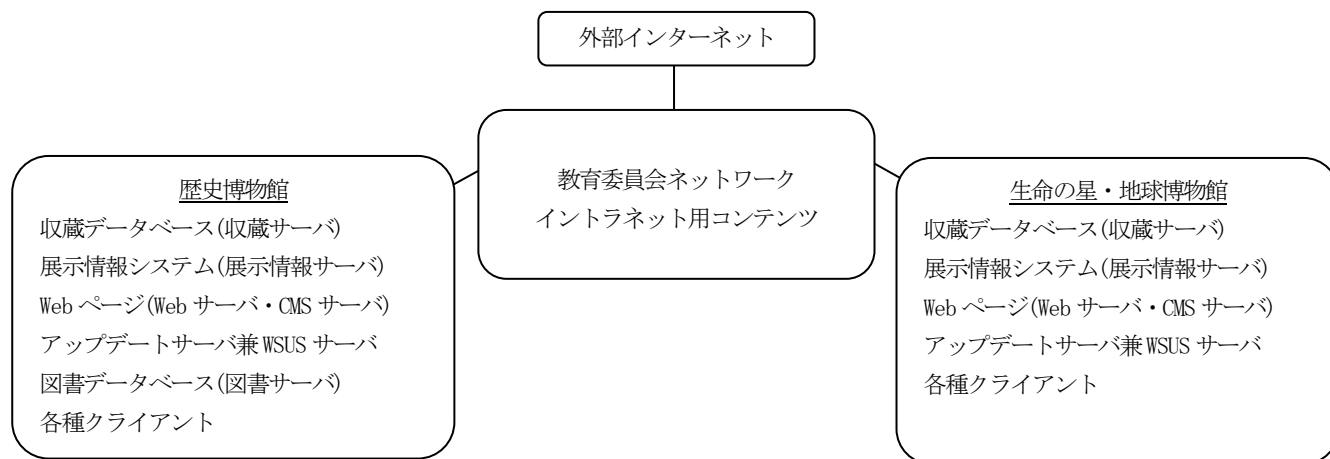
a 概要

館内 LAN 及び広域イーサネットを利用したサーバクライアントシステム

b 設置機器

- (a) サーバ室
ファイルサーバ等
- (b) ミュージアムライブラリー
来館者用パソコン、レファレンス用パソコン
- (c) 保存修復処置室／印刷室
画像入力用パソコン
- (d) 学芸部室・学芸部各資料整理室・管理課室・企画情報部室・図書整理室・写真整理室・写場
各室作業用パソコン

(オ) 歴史博物館システム機器構成図



(カ) ホームページアクセス件数 (再掲)

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
HP	140,444	161,104	156,957	152,121	160,188	144,412	227,297	214,837	177,110	194,532	150,134	161,926	2,041,062

参考 (内数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
デジタル ミュージアム	1,116	1,375	1,260	1,152	1,356	1,068	1,195	1,045	960	974	973	854	13,328
デジタル アーカイブ							19,692	6,662	8,581	6,194	7,039	8,689	56,857

5 展示・教育普及・学習支援

(1) 総合テーマ展示（常設展）

ア 常設展の概要

当館の常設展示は「文化の交流と変容」という基本テーマに基づき、「かながわの文化と歴史」について、五つの時代に分け、それぞれのテーマのもとに、人々の生活や信仰、政治や経済の変化、外来文化の影響などを、さまざまな角度からとらえ、歴史的視点で展開している。

テーマ1 さがみの古代に生きた人びと

- ・大地に生きる狩人
- ・海への進出
- ・米づくり、はじまる
- ・古墳を築く
- ・都とさがみの国

テーマ2 都市鎌倉と中世びと

- ・源頼朝と東国武士団
- ・戦国大名後北条氏
- ・掘り起こされた鎌倉
- ・唐物とその影響
- ・民衆と仏教

テーマ3 近世の街道と庶民文化

- ・宿場と関所
- ・庶民信仰と名所めぐり
- ・村の支配と生活
- ・相武の産物と江戸

テーマ4 横浜開港と近代化

- ・蒸気船が導いた新たな時代
- ・世界へ開かれたみなとYOKOHAMA
- ・文明開化の音
- ・近代化と神奈川
- ・横浜浮世絵に見る神奈川
- ・横浜正金銀行

テーマ5 現代の神奈川と伝統文化

- ・関東大震災を越えて
- ・昭和恐慌と社会変化
- ・戦時体制と敗戦
- ・占領から講和へ
- ・高度経済成長と環境の変化
- ・変貌する町と村
- ・イエと暮らし
- ・くらしの中の祈り
- ・なりわいと儀礼
- ・伝承される技術と芸能

イ 常設展の展示替えと「トピック展示」の実施

常設展の展示資料のうち実物資料については、資料保存の観点から定期的な展示替えを行っており、資料整理休館日を中心に500件以上の展示替えを実施した。また、特定の小テーマによる「トピック展示」を随時行っており令和4年度は下記の通り実施した。

〈テーマ3〉「上小田中村文書 二ヶ領用水関係資料」、「携行する絵図面」、「多摩川の川狩と鮎」、「みきのすけが見た江戸」、「没後160年歌川国芳の魅力」（【第5回 国芳の風景画】、【第6回（最終回） 六玉川】）、「鉄道開業150年 錦絵に描かれた鉄道」、「没後130年 月岡芳年展」（【前期 芳年の描くヒロイン】、【後期 芳年の描く別嬪】、「初代広重が描いた忠臣蔵」、「四十七人の英雄たち」、「『修紫田舎源氏』と浮世絵 物語から飛び出した主人公」

ウ 展示ガイドアプリ「ポケット学芸員」

スマートフォン用の展示ガイドアプリ「ポケット学芸員」を導入し、常設展および特別展で活用している。音声4言語（日本語・英語・中国語・韓国語）、文字5言語（日本語・英語・中国語簡体字・中国語繁体字・韓国語）および画像による解説をしている。

常設展の日本語・英語の音声解説は県内の高校生がナレーションをしている。また、神奈川県立平塚盲学校と連携して、視覚障がいのある方がイメージを喚起しやすい文字解説を作成して、その文字解説を放送部に所属する県内の高校生が読み上げる音声解説を提供している。

(2) 特別展

ア 「洞窟遺跡を掘る—海蝕洞窟の考古学—」

会 期：4月29日（金・祝）～ 6月26日（日）

主 催：神奈川県立歴史博物館

特 別 協 力：赤星直忠博士文化財資料館

後 援：神奈川新聞社、朝日新聞横浜総局、毎日新聞社横浜支局、読売新聞横浜支局、産経新聞社横浜総局、東京新聞横浜支局、日本経済新聞社横浜支局、共同通信社横浜支局、時事通信社横浜総局、NHK 横浜放送局、TVK(テレビ神奈川)、ラジオ日本、FMヨコハマ、J:COM、三浦市教育委員会、横須賀考古学会、神奈川県考古学会、国立研究開発法人産業技術総合研究所地質調査総合センター

展示資料件数：84件

入 場 者 数：7,616名（有料5,099名、無料2,517名）

担 当：主任学芸員 千葉 毅

概 要：神奈川県南東端、東京湾と相模湾を隔てる三浦半島の海辺は、穏やかな砂浜海岸と複雑なリアス式海岸が入り組み、海に面した急峻な崖には、波の浸食により生じた洞窟—海蝕洞窟—が多く見られる。三浦半島の海蝕洞窟には、縄文時代から中世にいたるまで、人々の活動痕跡が残された洞窟が多数存在し、全国でも有数の洞窟遺跡密集地となっている。本展では東京湾と相模湾に挟まれ、東西の文物や情報が行き交った三浦半島の洞窟遺跡の発掘調査を通して明らかになってきた人々の活動や交流、そしてそれを研究する考古学の魅力を紹介した。展覧会の舞台となる三浦半島の海蝕洞窟遺跡は、大正期からの長い研究の歴史がある。なかでも赤星直忠氏は三浦半島の考古学的研究の端緒をなし、数多くの洞窟遺跡を発見、調査した。その後、未だ洞窟遺跡に関する情報が断片的な50年前、当館は赤星氏の成果を深めるべく三浦市間口洞窟遺跡発掘調査を実施した。この発掘調査では、ト骨やト甲、アワビ貝殻製品や釣針、そして人骨など、弥生時代から古墳時代の遺物が多量に出土し、大きな注目を集めた。本展では、これまで未公開であった資料を含め、間口洞窟遺跡から出土した全資料を公開し、あわせて周辺海蝕洞窟遺跡から出土した資料も紹介し、洞窟ごとの特徴や洞窟利用のあり方を考えた。発掘調査や研究の進展により、これらが海岸部と内陸部、さらには伊豆諸島や本州内陸部までにも広がるネットワークを背景にした人々が残した遺跡であることが明らかになりつつある。本展では現在も発掘が続く白石洞窟遺跡（三浦市）の成果を速報した。

- 関 連 行 事：・オンライントーク「間口洞窟遺跡の発掘調査（前半）」5月13日公開
「間口洞窟遺跡の発掘調査（後半）」12月13日公開
「三浦半島の海蝕洞窟遺跡 最新の発掘速報」5月20日公開
「幻の貝、オオツタノハの謎と魅力を語る！」6月10日公開
・オンライン現地ツアー「三浦半島の洞窟遺跡をめぐる（大浦山）」5月13日公開
「三浦半島の洞窟遺跡をめぐる（雨崎）」12月21日公開
「三浦半島の洞窟遺跡をめぐる（毘沙門）」12月21日公開
・オンラインギャラリートーク6月3日公開
・学芸員による展示解説 4月30日、5月14日、28日、6月11日、25日

出 品 目 録：（凡例）No、資料名、所蔵機関

1	三浦半島の地質模型	神奈川県立生命の星・地球博物館	2-5	岩石標本 [スコリア質礫岩]	神奈川県立生命の星・地球博物館
2-1	岩石標本 [火山豆石]	神奈川県立生命の星・地球博物館	2-6	岩石標本 [泥岩]	神奈川県立生命の星・地球博物館
2-2	岩石標本 [軽石質砂岩]	神奈川県立生命の星・地球博物館	2-7	岩石標本 [火山礫凝灰岩]	神奈川県立生命の星・地球博物館
2-3	石標本 [軽石スコリア質礫岩]	神奈川県立生命の星・地球博物館	3	横須賀市 鳥ヶ崎洞窟遺跡出土資料	赤星直忠博士文化財資料館
2-4	岩石標本 [酸性凝灰岩]	神奈川県立生命の星・地球博物館	4	横須賀市 鳥ヶ崎横穴群出土資料	赤星直忠博士文化財資料館 東京大学文学部考古学研究室 東京国立博物館

- 5 横須賀市 住吉神社裏洞窟遺跡出土資料 神奈川県立歴史博物館
- 6 横須賀市 猿島洞窟遺跡出土資料 赤星直忠博士文化財資料館
- 7 『海岸記行』 神奈川県立金沢文庫
- 8 三浦市 間口洞窟遺跡出土資料（神奈川県立歴史博物館所蔵の一部：神奈川県指定重要文化財） 神奈川県立歴史博物館 赤星直忠博士文化財資料館 横須賀市自然・人文博物館 国立歴史民俗博物館 三浦市教育委員会
- 9 三浦市 向ヶ崎B洞窟遺跡出土資料 神奈川県立歴史博物館
- 10 三浦市 大浦山洞窟遺跡出土資料（三浦市教育委員会所蔵の一部：三浦市指定文化財） 横須賀市自然・人文博物館 赤星直忠博士文化財資料館 三浦市教育委員会 国立歴史民俗博物館
- 11 三浦市 毘沙門洞窟遺跡群出土資料 赤星直忠博士文化財資料館 横須賀市自然・人文博物館 東京国立博物館 神奈川県立歴史博物館 三浦市教育委員会 国立歴史民俗博物館
- 12 三浦市 雨崎洞窟遺跡出土資料 赤星直忠博士文化財資料館
- 13 雨崎洞窟遺跡報告書作成メモ 三浦市教育委員会
- 14 三浦市 海外第1洞窟出土資料 三浦市教育委員会 横須賀市自然・人文博物館
- 15 赤星直忠洞窟調査野帳 赤星直忠博士文化財資料館
- 16 赤星直忠洞窟調査関連資料 赤星直忠博士文化財資料館
- 17 横須賀考古学会調査道具 赤星直忠博士文化財資料館
- 18 間口洞窟調査関連資料 神奈川県立歴史博物館
- 19 三浦市 間口洞窟遺跡出土資料（一部神奈川県指定重要文化財） 神奈川県立歴史博物館
- 20 間口洞窟調査機材 神奈川県立歴史博物館
- 21 離頭鉾装着復元品 神奈川県立歴史博物館
- 22 標本（交連骨格）[アカウミガメ] 神奈川県立生命の星・地球博物館
- 23-1 標本（剥製）[イノシシ] 神奈川県立生命の星・地球博物館
- 23-2 標本（剥製）[ニホンジカ] 神奈川県立生命の星・地球博物館
- 23-3 標本（剥製）[タヌキ] 神奈川県立生命の星・地球博物館
- 23-4 標本（剥製）[ノウサギ] 神奈川県立生命の星・地球博物館
- 24-1 標本（剥製）[コアホウドリ] 神奈川県立生命の星・地球博物館
- 24-2 標本（剥製）[ハイロミズナギドリ] 神奈川県立生命の星・地球博物館
- 24-3 標本（剥製）[オオミズナギドリ] 神奈川県立生命の星・地球博物館
- 24-4 標本（剥製）[ウミウ] 神奈川県立生命の星・地球博物館
- 24-5 標本（剥製）[ヒメウ] 神奈川県立生命の星・地球博物館
- 25 文字が刻まれたト骨[甲骨ト辞片] 東京大学東洋文化研究所
- 26 三国志魏書東夷伝倭人条[魏志倭人伝] 宮内庁書陵部
- 27 横浜市 杉田東漸寺貝塚出土 ト骨 横浜市教育委員会
- 28 横須賀市 芦名浜遺跡出土 ト骨 赤星直忠博士文化財資料館
- 29 ト骨再現実験記録映像 北海道大学 近藤浩之教授
- 30 一之宮貫前神社「鹿占神事」関連資料 一之宮貫前神社
- 31 一之宮貫前神社「鹿占神事」（2021年）記録映像 神奈川県立歴史博物館
- 32 武蔵御嶽神社「太占神事」関連資料 武蔵御嶽神社
- 33 千葉県 明鐘崎洞窟遺跡出土 壺（重要文化財） 出光美術館
- 34 千葉県 こうもり穴洞窟遺跡出土資料 千葉大学文学部考古学研究室
- 35 千葉県 大寺山洞窟遺跡出土資料 千葉大学文学部考古学研究室
- 36 歌川豊国（三代）〈勢州鯨取ノ図〉 神奈川県立歴史博物館
- 37 楊州周延〈蛇取御遊覧之図〉 神奈川県立歴史博物館
- 38 歌川広重（二代）・歌川豊国（四代）〈東海道名所之内 江之島〉 神奈川県立歴史博物館
- 39 平瀬徹斎『日本山海名物図会』 神奈川県立歴史博物館
- 40 絵葉書「江ノ島 鮑とり」 個人
- 41 コゾ 個人
- 42 コゾ 神奈川県立歴史博物館
- 43 磯金 神奈川県立歴史博物館
- 44 三浦市 赤坂遺跡出土資料 三浦市教育委員会
- 45 逗子市 池子遺跡出土資料（神奈川県指定重要文化財） 逗子市教育委員会
- 46 三宅島火山地形模型（1:25000） 神奈川県立生命の星・地球博物館
- 47 東京都 ココマ遺跡出土資料 三宅村教育委員会
- 48 現生オオツタノハ 忍澤成視氏
- 49 現生オオツタノハ製の貝輪 忍澤成視氏
- 50 オオツタノハ製貝輪づくりの道具 忍澤成視氏
- 51 現生オオツタノハ採取用復元鹿角製ヘラ 忍澤成視氏
- 52 御蔵島での調査映像 忍澤成視氏
- 53 横須賀市 矢ノ津坂遺跡出土 船形土製品 横須賀市教育委員会
- 54 海老名市 河原口坊中遺跡出土資料 神奈川県教育委員会
- 55 横浜市 E-5 遺跡出土 鉄剣 横浜市教育委員会
- 56 横浜市 三殿台遺跡出土 剣の柄 横浜市歴史博物館
- 57 群馬県 岩津保洞窟遺跡出土資料 武蔵野美術大学民俗資料室
- 58 群馬県 八束脛洞窟遺跡出土資料 群馬県立歴史博物館
- 59 群馬県 新保田中村前遺跡出土資料 群馬県

60	千葉県 東千草山遺跡出土 オオツタノハ貝輪破片 市原市教育委員会	65	横浜市 称名寺貝塚出土人骨 横浜市教育委員会
61	三浦市 大浦山洞窟遺跡出土人骨 東京大学総合研究博物館 国立歴史民俗博物館	66	鎌倉市 材木座町屋遺跡出土人骨 鎌倉市教育委員会
62	三浦市 間口洞窟遺跡出土人骨 東京大学総合研究博物館 神奈川県立歴史博物館	67	鎌倉市 長谷小路周辺遺跡出土人骨 鎌倉市教育委員会
63	三浦市 毘沙門洞窟遺跡出土人骨 横須賀市自然・人文博物館	68	白石洞窟遺跡出土資料 白石洞穴遺跡学術調査団
64	逗子市 池子遺跡出土人骨 逗子市教育委員会	69	白石洞窟遺跡土層剥ぎ取り標本 国立研究開発法人産業技術総合研究所 地質調査総合センター
		70	白石洞窟遺跡調査記録 白石洞穴遺跡学術調査団
		71	白石洞窟遺跡調査機材 白石洞穴遺跡学術調査団

イ 「地図最前線—紙の地図からデジタルマップへ—」

会 期：【前期】7月16日(土) ～ 8月14日(日)

【後期】8月16日(火) ～ 9月25日(日)

主 催：神奈川県立歴史博物館

協 力：宇宙航空研究開発機構、海上保安庁、国土地理院、産業技術総合研究所 地質調査総合センター 地質標本館、東芝未来科学館

後 援：一般財団法人地図情報センター、一般財団法人日本地図センター、馬車道商店街協同組合、歴史地理学会、神奈川新聞社、朝日新聞横浜総局、毎日新聞社横浜支局、読売新聞横浜支局、産経新聞社横浜総局、東京新聞横浜支局、日本経済新聞社横浜支局、共同通信社横浜支局、時事通信社横浜総局、NHK 横浜放送局、TVK(テレビ神奈川)、ラジオ日本、FMヨコハマ、J:COM

助 成：芸術文化振興基金

展示資料件数：240件

入 場 者 数：9,443名(有料6,476名、無料2,967名)

担 当：学芸員 武田 周一郎

概 要：人類は様々な方法で世界の姿を捉え、表現してきた。その営みを記録するのが地図である。日本では、江戸時代に木版刷りの地図が広く流通するようになり、明治時代以降は銅版をはじめとする印刷技術の展開を受けて地図の表現が多様化した。今日ではインターネットを通じて世界に発信されるデジタルマップが人々の生活に不可欠なものになっている。本展では、紙からデジタルへと地図のかたちが変わりかわりゆく現代社会において地図と人の歩みを考えるため、主に近現代の「紙の地図」に焦点を当て、地図を作り、地図を使った人たちの活動を紹介した。地図印刷技術の転換期にあたる19世紀末から20世紀初頭に活躍した岩橋教章・章山親子。今から100年前に神奈川県のパノラマ絵図を描いた吉田初三郎。芝浦製作所の技術者で水力発電開発のために地図を愛用した岸敬二郎。これらの人たちに関する館蔵品に加え、神奈川に留まらず各地の地図資料を展示した。

関 連 行 事：・記念講演会「近代日本における鳥瞰図の系譜」8月20日

・連続講座「地図を使った人たち」7月24日、31日

「地図を作った人たち」9月3日、10日

・子ども(中学生)向け講座「私は地球のどこにいるの?—経度・緯度・高さの話—」7月27日

・子ども(小学生)向け講座「地球観測衛星の役割—地図・防災・環境保全—」8月5日

・大人向けワークショップ「デジタル鳥瞰図を作る」7月30日

・現地見学会「横浜・関内を歩く」9月22日

・学芸員による展示解説 7月23日、8月7日、28日、9月18日

・展示解説動画 8月3日、24日

出 品 目 録：(凡例) No.、資料、作成/発行 時代 所蔵

*資料名の前に付した◆は写真パネルを示す。

0-1	地球観測衛星だいち 模型 宇宙航空研究開発機構	0-3	神奈川県鳥瞰図 複製 富士ゼロックス株式会社
0-2	準天頂衛星システムみちびき 模型 宇宙航空研究開発機構		2018(平成30)年 当館(原品:当館)

- 1-1 日本図 重要文化財 鎌倉時代 称名寺 (神奈川県立金沢文庫寄託)
日本図 複製 神奈川県立金沢文庫 (原品: 称名寺)
- 1-2 地球万国一覽之図 17世紀後半頃 横浜市立大学学術情報センター
- 1-3 坤輿全図 稲垣子戩 1802 (享和2)年 横浜市立大学学術情報センター
- 1-4 輿地全図 司馬江漢 1792 (寛政4)年2月 杜若文庫
- 1-5 豆州相州沿海街道並七島図 神奈川県立金沢文庫
- 1-6 自神奈川至小田原東海道図 江戸時代後期 当館
- 1-7 鎌倉一覽図 版木 大坂屋孫八 1879 (明治12)年個人
- 1-8 鎌倉一覽図 大坂屋孫八 1879 (明治12)年8月 鎌倉市中央図書館近代史資料室
- ◆ 鎌倉一覽図 大坂屋孫八 1879 (明治12)年8月 根岸調査局
- 参考 鎌倉一覽図 2020 (令和2)年 鎌倉市中央図書館近代史資料室
- 1-9 安政改正新版鎌倉名所記 版木 大坂屋孫八 1857 (安政4)年4月 個人
- ◆ 安政改正新版鎌倉名所記 大坂屋孫八 根岸調査局
- 参考 安政改正新版鎌倉名所記 2020 (令和2)年 鎌倉市中央図書館近代史資料室
- 1-10 鎌倉絵図 版木 一光斎芳盛 当館
- 1-11 鎌倉絵図 一光斎芳盛/二之宮 当館
- 1-12 神奈川港御貿易場御開地御役屋敷并町々寺院社地ニ至ル迄明細大絵図にあらわす一玉斎/新栄堂 1859 (安政6)年 当館
- 1-13 横浜明細之全図橋本玉蘭斎/師岡屋伊兵衛 1870 (明治3)年10月 当館
- 1-14 御開港横浜之全図 玉蘭斎橋本謙/宝善堂 丸屋徳造 1860 (万延元)年頃 当館 (丹波コレクション)
- 1-15 増補再刻御開港横浜之全図 玉蘭斎橋本謙/宝善堂 丸屋徳造 1865~1866 (慶応元~2)年以降 当館 (丹波コレクション)
- 1-16 横浜一覽之真景 橋本玉蘭斎/師岡屋伊兵衛 1871 (明治4)年 当館
- 1-17 神奈川県管内之図 石渡正敏/神奈川県 1874 (明治7)年9月 根岸調査局
- ◆ 神奈川県地誌略 川井景一/石渡正敏 1875 (明治8)年10月15日 神奈川県立図書館
- 1-18 神奈川県管内之図 岡田利正/玄々堂印刷所 1878 (明治11)年頃 当館
- 1-19 神奈川県管下之図 鴻益社 加藤景山 1883 (明治16)年1月30日 神奈川県立図書館
- 1-20 栗木全図 1870年代 個人
- 1-21 『神奈川県下武蔵国久良岐郡栗木村縮切図』 加藤景山/鴻益社 1882 (明治15)年6月 個人
- ◆ 『神奈川県下武蔵国橋本郡師岡村切図』 酒井景山 1881 (明治14)年9月 当館
- 1-22 兵要日本地理小誌全図 (大日本国全図) 陸軍兵学寮 1873 (明治6)年 根岸調査局
- ◆ 『改訂兵要日本地理小誌』 陸軍兵学寮 1875 (明治8)年7月 根岸調査局
- 1-23 『行軍測繪』 陸軍文庫 1876 (明治9)年9月 根岸調査局
- 1-24 『行軍測繪図』 陸軍文庫 1876 (明治9)年 根岸調査局
- 1-25 5千分1東京図 東京中部 銅版原版 参謀本部陸軍部測量局 1887 (明治20)年8月26日 国土地理院
- 1-26 5千分1東京図 参謀本部陸軍部測量局 根岸調査局
- 1-27 2万分1迅速測図 程箇谷駅 陸地測量部 1887 (明治20)年9月28日 杜若文庫
- ◆ 2万分1迅速測図 箱根駅 陸地測量部 1888 (明治21)年 杜若文庫
- 1-28 二万分一迅速測図記号 参謀本部陸軍部測量局 1887 (明治20)年9月28日 杜若文庫
- ◆ 測図記号 参謀本部陸軍部測量局 1887 (明治20)年8月28日 杜若文庫
- 1-29 『陸地測量部写真帖』 陸地測量部 1932 (昭和7)年8月 当館
- 1-30 カールバンベルヒ一等経緯儀 カールバンベルヒ社 国土地理院
- 1-31 25m インバール基線尺 カルバンチェー社 国土地理院
- 1-32 銅版用彫刻刀 国土地理院
- 1-33 経緯度秒尺箱 陸地測量部 国土地理院
- 1-34 1万分1地形図 日本橋 大日本帝国陸地測量部 1921 (大正10)年修正測図 根岸調査局
- 1-35 1万分1地形図 日本橋 大日本帝国陸地測量部 1925 (大正14)年部分修正 根岸調査局
- 1-36 20万分1帝国図 甲府 大日本帝国陸地測量部 1916 (大正5)年製版 根岸調査局
- 1-37 20万分1帝国図 甲府 大日本帝国陸地測量部 1922 (大正11)年 鉄道補入根岸調査局
- 1-38 『地形測図法式 經常測図地形原図図式之部』 陸地測量部 1900 (明治33)年 当館
- 1-39 『地形図図式』 陸地測量部 1917 (大正6)年改定・1925 (大正14)年加除 当館
- 1-40 『図名隷字集』 製図科 1935 (昭和10)年12月 根岸調査局
- 1-41 大正十二年関東震災地垂直変動要図 (『関東震災地復旧測量記事』付図) 陸地測量部 1930 (昭和5)年2月 根岸調査局
- 1-42 大正十二年関東震災地一等水準点変動断面図 (『関東震災地復旧測量記事』付図) 陸地測量部 1930 (昭和5)年2月 根岸調査局
- 1-43 2万5千分1地形図 上海陸地測量部・参謀本部 1932 (昭和7)年2月 筑波大学大学院歴史・人類学専攻

- 1-44 2万5千分1地形図 上海上海派遣軍司令部・陸地測量部・参謀本部 1932(昭和7)年7月25日 筑波大学大学院歴史・人類学専攻
- 1-45 海図第95号 日本海岸全図 大日本海軍水路局/伴幸吉 1878(明治11)年11月 当館(橘忠助氏旧蔵美術資料群)
- 1-46 海図W838 太平洋海上保安庁 2020(令和2)年4月補刷 根岸調査局
- 1-47 海図W1004A 日本西部 海上保安庁 2021(令和3)年10月補刷 根岸調査局
- 1-48 北海道浦川湾図 開拓使地理課 1874(明治7)年10月 杜若文庫
- 1-49 北海道厚岸港図 開拓使地理課 杜若文庫
- ◆ Western Shore of the Bay of Yedo(『ペリー提督日本遠征記 2巻』付図) 当館
- 1-50 海図第90号 東京海湾 水路部 1893(明治26)年6月5日印刷発行・1897(明治30)年小改正 根岸調査局
- 1-51 海図第90号 東京海湾 水路部 1936(昭和11)年7月3日印刷発行・1950(昭和25)年小改正 根岸調査局
- 1-52 海図第90号 東京湾 垂鉛版原版 海上保安庁水路部 1975(昭和50)年6月14日印刷発行 海上保安庁海洋情報部
- 1-53 海図第90号 東京湾海上保安庁水路部 1976(昭和51)年2月14日印刷発行・1980(昭和55)年小改正 神奈川県立生命の星・地球博物館
- 1-54 海図W90 東京湾海上保安庁 2021(令和3)年4月補刷・2022(令和4)年小改正 根岸調査局
- 1-55 海図第66号 横浜港附近 銅版原版 水路部 1924(大正13)年9月10日印刷発行・1931(昭和6)年小改正 海上保安庁海洋情報部
- 1-56 海図第66号 横浜港附近 水路部 1924(大正13)年9月10日印刷発行・1929(昭和4)年小改正 個人
- 1-57 海図第66号 横浜港水路部 1931(昭和6)年11月16日印刷発行・1932(昭和7)年小改正 根岸調査局
- 1-58 海図W66 京浜港 横浜海上保安庁 2021(令和3)年12月補刷 根岸調査局
- 1-59 海図第60号 品川湾 銅版原版 水路部 1924(大正13)年12月16日発行 海上保安庁海洋情報部
- 1-60 海図第60号 京浜港 東京附近 水路部 1935(昭和10)年11月15日印刷発行・1945(昭和20)年小改正 根岸調査局
- 1-61 海図 浦賀港 銅版原版 海上保安庁海洋情報部
- 1-62 海図第91号 浦賀港及近海 水路部 1925(大正14)年6月10日印刷発行・1943(昭和18)年小改正 根岸調査局
- 1-63 海図第1083号 横須賀港水路部 1958(昭和33)年5月印刷発行・1967(昭和42)年小改正 神奈川県立生命の星・地球博物館
- ◆ 海図W91 横須賀港浦賀及久里浜海上保安庁 2020(令和2)年1月補刷 根岸調査局
- 1-64 海図第68号 金田湾銅版原版 水路部1925(大正14)年6月10日発行・1929(昭和4)年小改正 海上保安庁海洋情報部
- 1-65 海図第1062号 東京海湾中部水路部 1936(昭和11)年7月3日印刷発行・1952(昭和27)年小改正 根岸調査局
- 1-66 海図W1062 東京湾中部海上保安庁 2021(令和3)年7月補刷・2022(令和4)年小改正 根岸調査局
- 1-67 絵葉書「水路部創立七拾週季記念」 1941(昭和16)年頃 根岸調査局
- 1-68 絵葉書「水路部創立八拾週季記念」 1951(昭和26)年頃 根岸調査局
- 1-69 横浜港図 第三管区海上保安本部横浜海上保安部庁舎竣工記念 第三管区海上保安本部 1952(昭和27)年3月 当館
- ◆ 『ゼンク応用写真平版術』 松島徳三郎/修文館 1928(昭和3)年7月20日 根岸調査局
- ◆ 『海図の話』 国生行孝/古今書院 1930(昭和5)年4月25日 根岸調査局
- ◆ 『印刷技術の変遷』 海上保安庁水路部印刷所 1965(昭和40)年4月5日 根岸調査局
- 2-1 『正智遺稿』 岩橋章山 1911(明治44)年2月 当館
- 2-2 神奈川港図 福岡金吾・松岡磐吉・西川寸四郎 1859(安政6)年6月 横浜開港資料館
- 2-3 軍艦側量旧記 甲賀村地下 1863(文久3)年6月 神戸市立博物館
- 2-4 相州三浦郡横須賀村測量日記 1865(元治2)年 個人
- 2-5 函館戦争日記原本 岩橋教章 1869(明治2)年 函館市立中央図書館
- 2-6 岩橋教章書簡 岩橋すず宛(岩橋正智箱館陣中状) 岩橋教章 1869(明治2)年11月 函館市立中央図書館
- 2-7 函館戦争図会 岩橋教章 1869(明治2)年 函館市立中央図書館
- 2-8 函館戦争図絵 岩橋教章 1869(明治2)年 函館市立中央図書館
- 2-9 正智遺稿 岩橋章山 1911(明治44)年 函館市立中央図書館
- 2-10 岩橋教章旧蔵外国製銅石版画 神戸市立博物館
- 2-11 澳国地理図法 岩橋章山訳 当館(橘忠助氏旧蔵美術資料群)
- 2-12 澳国式銅版法流布の由来 岩橋章山 神戸市立博物館
- 2-13 新聞の印刷機及挿絵版の変遷(『エッチング』66号) 岩橋章山 1938(昭和13)年4月 根岸調査局
- 2-14 『正智遺稿』 岩橋章山 1911(明治44)年 杜若文庫

- 2-15 正智遺稿記念帖 当館 (橘忠助氏旧蔵美術資料群)
- 2-16 『世界写真図説 雪』 志賀重昂/明治製版所 1911 (明治44)年7月10日 当館
- 2-17 測絵図譜 従五百分至五百分 内務省地理局測量課/文会舎彫刻科 1878 (明治11)年8月 当館 (橘忠助氏旧蔵美術資料群)
- 2-18 測絵図譜 二万五百分一 内務省地理局測量課 1881 (明治14)年2月 杜若文庫
- ◆ 『博物雑誌 第一号・第二号』 博物局/有隣堂・文会舎 1880~1881 (明治11~12)年 根岸調査局
- ◆ 『大日本水産共進会来館独案内』 文会舎 1886 (明治19)年4月 当館
- 2-19 東京上野公園地実測図 博物局・地理局測量課/文会舎彫刻科 1877 (明治10)年 杜若文庫
- 2-20 『日本地誌提要』 地誌課・元正院地誌課/日報社 1874 (明治7)年12月~1879 (明治12)年12月 根岸調査局
- 2-21 地誌提要附図大日本全図彫刻記 内務省地理局 1876 (明治9)年1月~1879 (明治12)年7月 西尾市岩瀬文庫
- 2-22 伊賀伊勢志摩尾張四州図 (大日本全図第二号) 地理局地誌課/文会舎彫刻科 1880 (明治13)年10月 杜若文庫
- 2-23 相模武蔵二州図 (大日本全図第五号) 地理局地誌課/中川耕山 1879 (明治12)年1月 当館 (橘忠助氏旧蔵美術資料群)
- 2-24 駿河甲斐伊豆三州図 (大日本全図第四号) 地理局地誌課/中川耕山 1879 (明治12)年12月 根岸調査局
- 2-25 伊豆七島並小笠原群島之図 (大日本全図第四号附図) 地理局地誌課/中川耕山 1879 (明治12)年12月 杜若文庫
- 2-26 大日本国全図 地理局地誌課/結城正明 1881 (明治14)年2月 当館 (橘忠助氏旧蔵美術資料群)
- 2-27 『大日本府県分轄図』 地理局地誌課/結城正明 1881 (明治14)年6月 杜若文庫
- 2-28 『大日本国誌 第三卷 安房』 内務省地理局/近藤圭造 1886 (明治19)年3月30日 根岸調査局
- 2-29 埼玉県管内全図 埼玉県/文会舎彫刻科 1880 (明治13)年4月6日 杜若文庫
- 2-30 千葉県管内実測全図 千葉県/結城正明 1885 (明治18)年3月13日 当館 (橘忠助氏旧蔵美術資料群)
- 2-31 横浜実測図 内務省地理局測量課 1881 (明治14)年2月 根岸調査局
- 2-32 兵庫神戸実測図 地理局測量課 1881 (明治14)年2月 神戸市立博物館
- 2-33 東京実測全図 一幀 神戸市立博物館
- 2-34 東京実測全図 三幀 内務省地理局 1886 (明治19)年11月 当館 (橘忠助氏旧蔵美術資料群)
- 2-35 大阪実測図 内務省地理局/江島鴻山 1888 (明治21)年4月19日 根岸調査局
- 2-36 藩士年譜 個人 (土浦市立博物館寄託)
- 2-37 『官員録』 西村組出版局 1875 (明治8)年6月 根岸調査局
- 2-38 人物図粉本 岡部永知 個人 (土浦市立博物館寄託)
- 2-39 縮図 岡部永知 個人 (土浦市立博物館寄託)
- 2-40 龍図 岡部永知 土浦市立博物館
- 2-41 鷹図 岡部永知 土浦市立博物館
- 2-42 鶏図 岡部永知 土浦市立博物館
- 2-43 寿庵居士七回忌追福書画会案内 安村江痴 1873 (明治6)年 土浦市立博物館
- 2-44 東京書画師大学者名医演説者一覧 四宮長蔵/秩山堂 1882 (明治15)年1月 個人
- 2-45 略歴 (章山略歴等 稿本) 岩橋章山 1932 (昭和7)年5月18日 神戸市立博物館
- 2-46 明治万国新図 岩橋章山 1887 (明治20)年1月15日 根岸調査局
- 2-47 最新台北市街俯瞰全図 岩橋章山 1910 (明治43)年12月 当館 (橘忠助氏旧蔵美術資料群)
- 2-48 台湾鉄道図 (岩橋章山銅鑄貼交) 神戸市立博物館
- 2-49 台湾日日新報挿絵「台湾風景」 彫孔堂 神戸市立博物館
- 2-50 東京一目瞭然新図 岩橋章山/魁真楼書房 1904 (明治37)年10月7日 根岸調査局
- 2-51 積塵雜記 岩橋章山 当館 (橘忠助氏旧蔵美術資料群)
- 2-52 近世銅版学及諸製版術 岩橋章山 1901 (明治34)年 当館 (橘忠助氏旧蔵美術資料群)
- 2-53 日本の銅版 岩橋章山 当館 (橘忠助氏旧蔵美術資料群)
- 2-54 広告「岩橋麒麟堂」 (岩橋教章・章山銅鑄貼交) 岩橋麒麟堂 神戸市立博物館
- ◆ 『エッチング』日本エッチング研究所 根岸調査局
- 2-55 『絵に添へて一筆集 上巻』 吉田初三郎/観光社 1930 (昭和5)年9月1日 横浜市立中央図書館
- 2-56 江之島名所図絵 吉田初三郎/熊谷治純 1917 (大正6)年4月25日 根岸調査局
- 2-57 鎌倉江乃島名所案内図絵 吉田初三郎/宮川素一郎 1917 (大正6)年7月1日 個人
- 2-58 鎌倉江之島名所図絵 吉田初三郎/小山吉三 1921 (大正10)年9月1日 根岸調査局
- 2-59 江之島鎌倉名所図絵 吉田初三郎/大正名所図絵社 1922 (大正11)年2月5日 根岸調査局
- 2-60 江之島と鎌倉名勝 熊谷治純/片瀬写真館印刷部 1922 (大正11)年3月15日 根岸調査局
- 2-61 鎌倉名所図絵 根岸調査局
- 2-62 箱根山鳥瞰図 吉田初三郎 1917 (大正6)年 萬翠楼福住
- 2-63 箱根名所図絵 吉田初三郎 当館

- 2-64 箱根名所図絵 吉田初三郎／妹尾春太郎 根岸調査局
- 2-65 箱根名所図絵 吉田初三郎／妹尾含翠堂 個人
- 2-66 箱根図絵 吉田初三郎／小田原電気鉄道株式会社
神奈川県立図書館
- 2-67 高級箱根案内 熊谷治純／片瀬写真館印刷部 1920
(大正9)年6月30日 当館
- 2-68 箱根名所図絵 吉田初三郎／箱根印刷株式会社
1922(大正11)年7月10日 根岸調査局
- 2-69 箱根名所図絵 吉田初三郎／妹尾春太郎 1925(大
正14)年8月1日 当館
- 2-70 箱根名所図絵 吉田初三郎／日新社 1926(大正
15)年8月1日 根岸調査局
- 2-71 『相豆温泉案内誌』 妹尾春太郎／大参社 1926
(大正15)年4月20日 神奈川県立図書館
- 2-72 箱根名所図絵 吉田初三郎／日新社 1927(昭和2)
年8月1日 根岸調査局
- 2-73 箱根名所図絵 吉田初三郎／日新社 1928(昭和3)
年8月1日 根岸調査局
- 2-74 箱根名所図絵 吉田初三郎／日新社 1930(昭和5)
年9月4日 根岸調査局
- 2-75 箱根地図 小田原電気鉄道株式会社最近実測 小田
原電気鉄道株式会社／堤印刷所 1915(大正4)年9
月25日再版 根岸調査局
- 2-76 最近実測箱根地図 妹尾春太郎／箱根印刷株式会
社 1920(大正9)年頃 根岸調査局
- 2-77 『函根名勝写真帖』 妹尾春太郎／箱根印刷株式会
社販売部 1922(大正11)年4月15日 根岸調査局
- 2-78 箱根名所図絵 桜木商店 1950年代 根岸調査局
- 2-79 川崎大師平間寺図絵 吉田初三郎／大正名所図絵社
1918(大正7)年9月25日 根岸調査局
- 2-80 時宗総本山清浄光寺全景 吉田初三郎 1920年代
当館
- 2-81 道了大薩埵鎮座大雄山名所図絵 吉田初三郎／大雄
山最乗寺 1922(大正11)年12月5日 当館
- 2-82 関東震災全地域鳥瞰図絵 吉田初三郎／大阪朝日新
聞社 1924(大正13)年9月15日 当館
- 2-83 相模鉄道沿線案内 金子常光／相模鉄道 1920～
1930年代 神奈川県立図書館
- 2-84 ポスター「南武鉄道開通」 吉田初三郎／南武鉄道株
式会社 1927(昭和2)年 個人
- 2-85 南武鉄道図絵 吉田初三郎／観光社 1927(昭和2)
年2月 横浜都市発展記念館
- 2-86 ポスター「開通最高速度 小田原急行電車」 吉田初
三郎 1927(昭和2)年 個人
- 2-87 小田原急行鉄道沿線名所図絵 吉田初三郎／観光社
1927(昭和2)年 神奈川県立図書館
- 2-88 コロムビアレコード川崎工場図 吉田初三郎 1931
(昭和6)年 日本コロムビア株式会社
- 2-89 レコード「コロムビアレコード川崎工場図」 『創
立70周年記念 流行歌のあゆみ』) 日本コロムビ
ア株式会社 1980(昭和55)年5月 根岸調査局
参考 写真「コロムビアマークの大ネオン」 日本コロム
ビア株式会社 1954(昭和29)年頃・1964(昭和
39)年頃 日本コロムビア株式会社
- 2-90 『神奈川県観光連合会要録』 神奈川県観光連合会
1936(昭和11)年 横浜開港資料館
- 2-91 神奈川県鳥瞰図 吉田初三郎 1932(昭和7)年 当館
- 2-92 神奈川県観光図絵 吉田初三郎／神奈川県観光連合会
1933(昭和8)年4月30日 根岸調査局
- 2-93 神奈川県観光図絵 吉田初三郎／神奈川県観光連合会
1934(昭和9)年12月30日 当館
参考 写真「県立金沢文庫地鎮祭」 神奈川県立金沢文庫
- 2-94 金沢文庫及昭和塾概要 1930(昭和5)年 神奈川県
立金沢文庫
- 2-95 告辞 県立金沢文庫開所式 山県治郎 1930(昭和
5)年8月8日 神奈川県立金沢文庫
- 2-96 工事報告 県立金沢文庫開所式 西岡広吉 1930
(昭和5)年8月8日 神奈川県立金沢文庫
- 2-97 湘南電鉄沿線名所図絵 吉田初三郎／湘南電鉄株式
会社 1930(昭和5)年4月1日 神奈川県立金沢文
庫(楠山永雄コレクション)
- 2-98 横浜市鳥瞰図 吉田初三郎／横浜商工会議所 1935
(昭和10)年3月25日 神奈川県立金沢文庫(楠山
永雄コレクション)
参考 写真「竣工当時の大倉精神文化研究所」 1931・
1934(昭和6・9)年 大倉精神文化研究所
- 2-99 3千分1地形図 大綱最北部・大綱北部内務省復興局
／遠藤市次 1926(大正15)年11月測図 大倉精神
文化研究所
- 2-100 写真「大倉精神文化研究所太尾建築現場」 1920年代
大倉精神文化研究所
- 2-101 目黒蒲田東京横浜電鉄沿線案内鳥瞰図 吉田初三郎
／東京横浜電鉄株式会社 1926(大正15)年 神奈
川県立図書館
- 2-102 沿線案内 東京横浜電鉄・目黒蒲田電鉄 東京横浜
電鉄株式会社 1930(昭和5)年10月 大倉精神文
化研究所
- 2-103 沿線案内 東横・目蒲・池上電車 東京横浜電鉄株
式会社 1933(昭和8)年 大倉精神文化研究所
- ◆ 沿線案内 東横・目黒・玉川電車 大倉精神文化研
究所
- 2-104 日本郵船航路図 日本郵船株式会社 1935(昭和
10)年 横浜銀行協会
- 2-105 絵葉書「川崎市」 吉田初三郎／川崎市役所 1938
(昭和13)年頃 当館
- 2-106 小田原景勝鳥瞰図 吉田初三郎／小田原市役所
1941(昭和16)年頃 当館

- 2-107 絵葉書「小田原景勝」 原画吉田初三郎 1930～40年代 小田原市
- 2-108 絵葉書「小田原景勝」 吉田初三郎／小田原市役所 1930～40年代 根岸調査局
- 2-109 横浜市観光鳥瞰図 吉田初三郎 1940年代 横浜市開港記念会館（横浜都市発展記念館寄託）
- 2-110 横浜市観光鳥瞰図 吉田初三郎／横浜市役所・横浜観光協会 1949（昭和24）年 神奈川県立図書館
- 2-111 川崎市観光鳥瞰図 吉田初三郎／川崎市役所 1949（昭和24）年頃 神奈川県立図書館
- ◆ 平面図ヲ美化シタル熱海温泉実写案内図 松井哲太郎／芹沢弘 1927（昭和2）年1月25日 個人
- ◆ 千葉県松戸町鳥瞰図 松井哲太郎 1937（昭和12）年10月3日 個人
- 参考 写真「後藤邦栄堂店舗外観」 鎌倉市中央図書館近代史資料室
- 2-112 国際観光都鎌倉市観光鳥瞰図 中村慈郎 1950（昭和25）年頃 鎌倉市中央図書館
- 2-113 鎌倉江之島名勝案内 中村慈郎／後藤邦栄堂 1949（昭和24）年4月 神奈川県立図書館
- 2-114 鎌倉江之島名勝案内 中村慈郎／後藤邦栄堂 1950（昭和25）年5月 鎌倉市中央図書館近代史資料室
- 2-115 江の島・鎌倉名所案内 後藤邦栄堂 1964（昭和39）年頃 鎌倉市中央図書館近代史資料室
- 2-116 三崎油壺観光案内 中村慈郎／日本地図研究社・泰山丸商店 1949（昭和24）年7月20日 根岸調査局
- 2-117 横須賀市観光鳥瞰図 中村慈郎／横須賀市役所 1951（昭和26）年7月10日 当館
- 2-118 相模原市構想鳥瞰図 中村慈郎 1951（昭和26）年5月 相模原市立博物館
- 3-1 鎌倉遊覧案内 内閣印刷局 1925（大正14）年10月 鎌倉市中央図書館近代史資料室
- 3-2 武蔵国鶴見寺尾郷絵図 重要文化財 1334（建武元）年 神奈川県立金沢文庫
- 3-3 『江戸名所図会』 松涛軒斎藤長秋 1836（天保7）年 当館
- 3-4 本寺雲外庵鶴見寺尾之地区 熊原政男 1947（昭和22）年9月23日 神奈川県立金沢文庫
- 写真 「閑靖と金沢文庫職員」 神奈川県立金沢文庫
- 3-5 武蔵国鶴見寺尾郷絵図模写図 吉谷華圃 1948（昭和23）年8月 松蔭寺
- 3-6 武蔵国鶴見寺尾郷絵図模写図 1947（昭和22）年頃 横浜開港資料館
- 3-7 武蔵国鶴見寺尾郷絵図模写図 吉谷華圃 1948（昭和23）年8月 横浜開港資料館
- ◆ 『横浜社会辞彙』 日比野重郎／横浜通信社 1917（大正6）年5月25日 根岸調査局
- 3-8 『工学博士 岸敬二郎伝』 大竹武吉／岸敬二郎君伝記編纂会 1931（昭和6）年3月4日 根岸調査局
- 3-9 岸敬二郎旧蔵陸地測量部地区帳 1884～1908（明治17～41）年 当館
- 3-10 岸敬二郎旧蔵農商務省地区帳 1898～1910（明治31～43）年 当館
- 3-11 岸敬二郎書簡 花岡次郎宛 岸敬二郎 1908（明治41）年8月6日 東芝未来科学館
- 3-12 岸敬二郎書簡 井上勘兵衛宛 岸敬二郎 1908（明治41）年8月6日 東芝未来科学館
- 3-13 岸敬二郎書簡 藤原銀次郎宛 岸敬二郎 1924（大正13）年1月23日 東芝未来科学館
- 3-14 辞令 芝浦製作所勤務 工業部部長 三井武之助 1895（明治28）年7月26日 東芝未来科学館
- 3-15 辞令 芝浦製作所電気主任 三井鉱山合名会社 1900（明治33）年8月18日 東芝未来科学館
- 3-16 辞令 予算方電気主務・検査方電気主務兼務 芝浦製作所 1900（明治33）年8月18日 東芝未来科学館
- 3-17 辞令 電気部主任 株式会社芝浦製作所 1905（明治38）年8月22日 東芝未来科学館
- 3-18 辞令 技術部長 株式会社芝浦製作所 1911（明治44）年5月13日 東芝未来科学館
- 3-19 辞令 鶴見工場長 株式会社芝浦製作所 1925（大正14）年9月11日 東芝未来科学館
- 3-20 手帳 岸敬二郎 1906（明治39）年 東芝未来科学館
- 3-21 手帳 岸敬二郎 1906（明治39）年 東芝未来科学館
- ◆ 発電水力一覽図 1910年代 当館
- 3-22 7万5千分1地質図 塩原 銅版原版 工業技術院地質調査所 1955（昭和30）年 産業技術総合研究所地質標本館
- 3-23 7万5千分1地質図 塩原 工業技術院地質調査所 1955（昭和30）年11月30日 神奈川県立生命の星・地球博物館
- 3-24 2万5千分1地形図 佐野 スクライブ版 国土地理院 国土地理院
- 3-25 2万5千分1地形図 佐野 国土地理院 1987（昭和62）年8月30日 根岸調査局
- 3-26 スイス製円筒型回転スクライパー 国土地理院
- 3-27 彫刻針とピンバイス 国土地理院
- 3-28 加熱スクライパーとトランス 国土地理院
- 3-29 ウイルド T3 経緯儀ウイルド社 国土地理院
- ◆ 『新編新しい社会科地図』 クライブ版 1997（平成9）年 平凡社地図出版
- ◆ 『新編新しい社会科地図』 東京書籍 1998（平成10）年2月10日 平凡社地図出版
- ◆ 『新高等地図』 作図原稿 2003（平成15）年 平凡社地図出版
- ◆ 『新高等地図』 東京書籍 1997（平成9）年検定済 平凡社地図出版
- ◆ 『新高等地図』 東京書籍 2005（平成17）年2月10日 平凡社地図出版
- ◆ スクライパーとバラピン 平凡社地図出版

- | | |
|--|--|
| <p>◆ 手描地形陰影図 長田濱之 平凡社地図出版</p> <p>3-30 数値地図フロッピーディスク 国土地理院／一般財団法人日本地図センター 1994 (平成6) 年一部修正 神奈川県立生命の星・地球博物館</p> <p>3-31 土地被覆図 箱根 神奈川県立生命の星・地球博物館地球環境グループ 1998 (平成10) 年11月11日 神奈川県立生命の星・地球博物館</p> <p>3-32 海図W1062 東京湾中部 海上保安庁 1998 (平成10) 年2月補刷 根岸調査局</p> <p>3-33 1万分1地形図 京都近郊 陸地測量部 1928 (昭和3) 年9月10日 根岸調査局</p> <p>3-34 1万分1地形図 東京中心部 国土地理院 1990 (平成2) 年11月12日 根岸調査局</p> | <p>3-35 1万分1地形図 東京中心部 国土地理院 2019 (令和元) 年10月22日 根岸調査局</p> <p>3-36 天皇陛下御即位記念四代御即位記念地図一式 一般財団法人日本地図センター 2019 (令和元) 年11月16日 根岸調査局</p> <p>3-37 2万5千分1地形図 横浜東部 国土地理院 2019 (令和元) 年11月調製 根岸調査局</p> <p>参考 電子国土基本図 横浜市 関内地区周辺 国土地理院</p> <p>3-38 海図JPN1 日本及近海 海上保安庁 2021 (令和3) 年8月19日 根岸調査局</p> |
|--|--|

ウ 「源頼朝が愛した幻の大寺院 永福寺と鎌倉御家人一荘厳される鎌倉幕府とそのひろがり」展

会 期：10月15日(土) ～ 12月4日(日)

主 催：神奈川県立歴史博物館、文化庁

特 別 協 力：国寶史蹟研究会、湘南工科大学、中世瓦研究会、日本女子大学

広 報 連 携：鎌倉国宝館、鎌倉歴史文化交流館、埼玉県立嵐山史跡の博物館、半蔵門ミュージアム、横浜市歴史博物館

後 援：神奈川新聞社、朝日新聞横浜総局、産経新聞横浜総局、東京新聞横浜支局、日本経済新聞社横浜支局、毎日新聞社横浜支局、読売新聞東京本社横浜支局、共同通信社横浜支局、時事通信社横浜総局、NHK 横浜放送局、TVK (テレビ神奈川)、ラジオ日本、FM ヨコハマ、J:COM

助 成：文化庁[令和4年度地域ゆかりの文化資産を活用した展覧会支援事業]

展示資料件数：224 件

入 場 者 数：12,220 名 (有料6,584 名、無料5,636 名)

担 当：学芸員 渡邊 浩貴

概 要：鎌倉の二階堂にある国指定史跡永福寺跡。かつて源頼朝は、奥州合戦で平泉藤原氏を滅ぼした際に、中尊寺・毛越寺・無量光院をはじめとした北の都の華麗な浄土世界を目の当たりにし、その文化を鎌倉に持ち帰った。その結果、文治五年(1189)に臨池伽藍をそなえた大寺院・永福寺が鎌倉二階堂の地に建立され、都市鎌倉のなかに浄土世界が体現されることとなる。以後永福寺は、鶴岡八幡宮寺・勝長寿院とならび宗教的権威として鎌倉幕府を支えるだけでなく、その偉容は東国武士たちに対して幕府支配の正当性を文化的側面から見せつける存在でもあった。ところが鎌倉幕府滅亡後の永福寺は、室町期の火災で焼失してしまうと再建されることなく廃絶してしまい、地中にその歴史をとどめることとなる。しかし、文献史料のみならず、永福寺跡からは往事の壮麗さを示すに余りある考古資料であふれており、鎌倉幕府や鎌倉御家人たちにとって永福寺がいかに重要視されていたかが偲ばれる。本展は、鎌倉幕府の成立とその展開に深く関わった永福寺に注目し、その全貌と軌跡を、文献資料・考古資料・美術資料などの多彩な歴史資料群から複合的かつ立体的に復原した。

関 連 行 事：・講演会「鼎談！黎明期の鎌倉研究を語りつくす」10月16日

・県博セミナー「永福寺から文化と権力を考える」

10月23日、30日、11月6日、13日、20日

・体験講座「永福寺の復元研究とVR体験」10月22日

・体験講座「中世考古学入門—瓦と武士本拠の世界—」11月27日

・現地見学会「永福寺とゆかりの地を訪ねる」11月9日

・ARで永福寺探訪—スマホで永福寺を探検しよう！— 10月15日～12月4日

・学芸員による展示解説 10月29日、11月19日、26日、12月3日

・展示解説動画 11月8日、25日

出品目録：(凡例) No.、指定、名称、品質形状、時代、所蔵

*資料名の前に付した記号のうち、●は国宝、◎は重要文化財、□は区・市指定文化財を示す。

1-1	赤星直忠氏資料 赤星直忠氏調査ノート 紙製 現代 神奈川 赤星直忠博士文化財資料館	9	常盤仲ノ町遺跡出土 五輪塔文軒丸瓦 (和泉産) 陶製 平安時代 京都 水垂収蔵庫
1-2	赤星直忠氏資料 鎌倉諸所採集瓦 (永福寺跡) 陶製 鎌倉時代 神奈川 赤星直忠博士文化財資料館	10-1	◎柳之御所遺跡出土 青白磁碗白磁 平安時代 岩手 平泉町教育委員会
1-3	赤星直忠氏資料 ガラス乾板写真 (永福寺跡) ガラ ス製 現代 神奈川 赤星直忠博士文化財資料館	10-2	◎柳之御所遺跡出土 白磁四耳壺 (画像のみ展示) 白磁 平安時代 岩手 岩手県教育委員会
2-1	八幡義生氏資料 八幡義生氏鎌倉遺跡調査ノート 紙製 現代 神奈川 鎌倉市中央図書館	10-3	◎柳之御所遺跡出土 折敷 (人々給絹日記) 木製 平安時代 岩手 岩手県教育委員会
2-2	八幡義生氏資料 鎌倉諸所採集拓本 紙製 現代 神奈 川 神奈川県立歴史博物館	10-4	◎柳之御所遺跡出土 人面墨画土器 土製 平安時代 岩手 岩手県教育委員会
2-3	八幡義生氏資料雑誌『國寶史蹟』紙製 現代 個人	10-5	◎柳之御所遺跡出土 烏帽子 絹製 平安時代 岩手 平泉町教育委員会
2-4	八幡義生氏資料雑誌『星月』紙製 現代 個人	10-6	◎柳之御所遺跡出土 金付着礫 石製 平安時代 岩手 岩手県教育委員会
3	アルバム『昭和初期の鎌倉古写真』 (高見千代子 氏旧蔵) 印画紙 昭和8年 (1933) 以降 神奈川 鎌 倉市中央図書館	11	白山社跡出土 かわらけ (ロクロかわらけ・手づく ねかわらけ) 土製 平安時代 岩手 平泉町教育 委員会
4	相州鎌倉之図 紙本彩色 江戸時代 神奈川 神奈川 県立歴史博物館	12	泉屋遺跡出土 柱状高台 土製 平安時代 岩手 平泉町教育委員会
5-1	□鳥羽離宮金剛心院跡出土 鴛鴦文具 銅製 平安 時代 京都 京都市考古資料館	13	◎無量光院跡出土 金銅裝飾金具 金銅製 平安時代 岩手 平泉町教育委員会
5-2	□鳥羽離宮金剛心院跡出土 方形金具 銅製 平安 時代 京都 京都市考古資料館	14-1	金鶏山経塚出土 経筒 銅製 平安時代 東京 東京 国立博物館
5-3	□鳥羽離宮金剛心院跡出土 飾金具 (天蓋瓔珞・八 双 金具・鈴・舌ほか) 銅製 平安時代 京都 京都市考古資料館	14-2	金鶏山経塚出土 甕 (常滑窯産) 陶製 平安時代 東京 東京国立博物館
5-4	□鳥羽離宮金剛心院跡出土 垂飾 銅製 平安時代 京都 京都市考古資料館	14-3	金鶏山経塚出土 刻線文壺 (渥美窯産) 陶製 平安 時代 東京 東京国立博物館
5-5	□鳥羽離宮金剛心院跡出土 瓔珞 金銅製 平安時代 京都 京都市考古資料館	15-1	○永福寺跡内経塚出土 甕 渥美窯産) 陶製 鎌倉 時代 神奈川 鎌倉市教育委員会
5-6	□鳥羽離宮金剛心院跡出土 玉類 ガラス製 平安 時代 京都 京都市考古資料館	15-2	○永福寺跡内経塚出土 片口鉢 (渥美窯産) 陶製 鎌倉時代 神奈川 鎌倉市教育委員会
5-7	□鳥羽離宮金剛心院跡出土 水晶玉 水晶製 平安時代 京都 京都市考古資料館	15-3	○永福寺跡内経塚出土 銅製経筒 (有蓋) 銅製 鎌倉時代 神奈川 鎌倉市教育委員会
5-8	□鳥羽離宮金剛心院跡出土 鬼瓦 陶製 平安時代 京都 京都市考古資料館	15-4	○永福寺跡内経塚出土 白磁有蓋小壺 白磁 鎌倉 時代 神奈川 鎌倉市教育委員会
5-9	□鳥羽離宮金剛心院跡出土 蓮華文軒丸瓦 (播磨 産) 陶製 平安時代 京都 水垂収蔵庫	15-5	○永福寺跡内経塚出土 皆彫滑扇 木製 鎌倉時代 神奈川 鎌倉市教育委員会
5-10	□鳥羽離宮金剛心院跡出土 唐草文軒平瓦 (播磨 産) 陶製 平安時代 京都 水垂収蔵庫	15-6	○永福寺跡内経塚出土 木製櫛 木製 鎌倉時代 神奈川 鎌倉市教育委員会
6-1	鳥羽離宮跡東殿出土 三巴文軒丸瓦 (尾張産) 陶製 平安時代 京都 水垂収蔵庫	15-7	○永福寺跡内経塚出土 数珠 水晶製 鎌倉時代 神奈川 鎌倉市教育委員会
6-2	鳥羽離宮跡東殿出土 唐草文軒平瓦 (尾張産) 陶製 平安時代 京都 水垂収蔵庫	15-8	○永福寺跡内経塚出土 金の粒 (舍利) 金製 鎌倉 時代 神奈川 鎌倉市教育委員会
7-1	鳥羽離宮跡白河天皇陵出土 三巴文軒丸瓦 (山城産) 陶製 平安時代 京都 水垂収蔵庫	15-9	○永福寺跡内経塚出土 短刀 鉄製 鎌倉時代 神奈川 鎌倉市教育委員会
7-2	鳥羽離宮跡白河天皇陵出土 下向き剣頭文軒平瓦 (山城産) 陶製 平安時代 京都 水垂収蔵庫	16-1	□苑池南岸IV期池中出土 透彫金具 銅製 鎌倉時代 神奈川 鎌倉市教育委員会
8	円勝寺跡出土 五輪塔文軒丸瓦 (和泉産) 陶製 平安時代 京都 水垂収蔵庫		

- 16-2 □苑池南岸Ⅳ期池中出土 幡吊金具 銅製 鎌倉時代
神奈川 鎌倉市教育委員会
- 16-3 □苑池南岸Ⅳ期池中出土 装身具片(臂釧力) 銅製
鎌倉時代 神奈川 鎌倉市教育委員会
- 17-1 □苑池東岸Ⅲ期池中出土 装身具片(環珞力) 銅製
鎌倉時代 神奈川 鎌倉市教育委員会
- 17-2 □苑池東岸Ⅲ期池中出土 桶状金属器 銅製 鎌倉
時代 神奈川 鎌倉市教育委員会
- 17-3 □苑池東岸Ⅲ期池中出土 帯状金具片 銅製 鎌倉時代
神奈川 鎌倉市教育委員会
- 17-4 □苑池東岸Ⅲ期池中出土 鈴 銅製 鎌倉時代 神奈川
鎌倉市教育委員会
- 18-1 □苑池西岸雨落ち内瓦溜り・池中出土 黒漆地螺鈿装
燈台断片 木製漆塗 鎌倉時代 神奈川 鎌倉市教
育委員会
- 18-2 □苑池西岸雨落ち内瓦溜り・池中出土 黒漆地螺鈿装
断片 木製漆塗 鎌倉時代 神奈川 鎌倉市教育委
員会
- 19-1 □遣水(5溝、7溝)・取水遣構出土 銀象嵌白毫
銀製 鎌倉時代 神奈川 鎌倉市教育委員会
- 19-2 遣水(5溝、8溝)・取水遣構出土 魚文漆絵椀 木製
漆塗 鎌倉時代 神奈川 鎌倉市教育委員会
- 20-1 □苑池西岸下層遺構面・下層 池中出土 鈴 銅製
鎌倉時代 神奈川 鎌倉市教育委員会
- 20-2 □苑池西岸下層遺構面・下層 池中出土 垂飾 銅製
鎌倉時代 神奈川 鎌倉市教育委員会
- 20-3 □苑池西岸下層遺構面・下層池中出土 釘隠 銅製
鎌倉時代 神奈川 鎌倉市教育委員会
- 20-4 □苑池西岸下層遺構面・下層 池中出土 縁金具
銅製 鎌倉時代 神奈川 鎌倉市教育委員会
- 20-5 苑池西岸下層遺構面・下層 池中出土 仏像断片
(手) 木製 鎌倉時代 神奈川 鎌倉市教育委員会
- 20-6 苑池西岸下層遺構面・下層 池中出土 仏像断片
(卷髮) 木製 鎌倉時代 神奈川 鎌倉市教育委
員会
- 20-7 □苑池西岸下層遺構面・下層 池中出土 台座蓮弁
木製 鎌倉時代 神奈川 鎌倉市教育委員会
- 21-1 □2溝出土 釘隠 銅製 鎌倉時代 神奈川 鎌倉市教
育委員会
- 21-2 □2溝出土 釘 銅製 鎌倉時代 神奈川 鎌倉市教育
委員会
- 21-3 □2溝出土 燈台 上部金具 銅製 鎌倉時代 神奈川
鎌倉市教育委員会
- 22-1 □苑池西岸瓦積み・瓦溜り・池中・地山面出土 隅金具
銅製 鎌倉時代 神奈川 鎌倉市教育委員会
- 22-2 □苑池西岸瓦積み・瓦溜り・池中・地山面出土 座金
銅製 鎌倉時代 神奈川 鎌倉市教育委員会
- 22-3 □苑池西岸瓦積み・瓦溜り・池中・地山面出土 鈴
銅製 鎌倉時代 神奈川 鎌倉市教育委員会
- 22-4 □苑池西岸瓦積み・瓦溜り・池中・地山面出土 縁取金
具 銅製 鎌倉時代 神奈川 鎌倉市教育委員会
- 22-5 □苑池西岸瓦積み・瓦溜り・池中・地山面出土 板状縁
取金具 銅製 鎌倉時代 神奈川 鎌倉市教育委員会
- 23 □北復廊出土 釘 銅製 鎌倉時代 神奈川 鎌倉市
教育委員会
- 24 □苑池南岸Ⅰ・Ⅱ期池中出土 縁金具 銅製 鎌倉時
代 神奈川 鎌倉市教育委員会
- 25 □滝口出土 蓮華座片 銅製 鎌倉時代 神奈川
鎌倉市教育委員会
- 26-1 苑池北岸池中出土 仏像断片(焰髮) 木製 鎌倉時代
神奈川 鎌倉市教育委員会
- 26-2 苑池北岸池中出土 仏像断片(天衣) 木製 鎌倉時代
神奈川 鎌倉市教育委員会
- 26-3 □苑池北岸池中出土 蓮華中房 木製 鎌倉時代
神奈川 鎌倉市教育委員会
- 27 □苑池北岸・東岸池中出土 蓮華蕾断片 木製
鎌倉時代 神奈川 鎌倉市教育委員会
- 28-1 薬師堂出土 束柱(薬師堂) 木製 鎌倉時代 神奈川
鎌倉市教育委員会
- 28-2 薬師堂出土 束石(薬師堂) 石製 鎌倉時代 神奈川
鎌倉市教育委員会
- 29 北翼廊出土 柱根(北翼廊・釣殿) 木製 鎌倉時代
神奈川 鎌倉市教育委員会
- 30 鬼瓦(Ⅰ期) 陶製 鎌倉時代 神奈川 鎌倉市教
育委員会
- 31 唐草文軒平瓦(Ⅰ期) 陶製 鎌倉時代 神奈川
鎌倉市教育委員会
- 32 蓮華文軒丸瓦(Ⅰ期) 陶製 鎌倉時代 神奈川
鎌倉市教育委員会
- 33 巴文軒丸瓦(Ⅰ・Ⅲ期) 陶製 鎌倉時代 神奈川
鎌倉市教育委員会
- 34 上向き剣頭文軒平瓦(Ⅲ期) 陶製 鎌倉時代
神奈川 鎌倉市教育委員会
- 35 下向き剣頭文軒平瓦(Ⅱ期) 陶製 鎌倉時代
神奈川 鎌倉市教育委員会
- 36 寺銘軒丸瓦(Ⅱ期) 陶製 鎌倉時代 神奈川
鎌倉市教育委員会
- 37 寺銘軒平瓦(Ⅱ期) 陶製 鎌倉時代 神奈川
鎌倉市教育委員会
- 38 軒平瓦片(「永福寺」銘) 陶製 鎌倉時代 神奈川
鎌倉市教育委員会
- 39 軒平瓦片(「文暦二年永福寺」銘) 陶製 鎌倉時代
神奈川 鎌倉市教育委員会
- 40 漆絵椀 木製漆塗 鎌倉時代 神奈川 鎌倉市教育委
員会
- 41 5溝(遣水)出土 五輪塔地輪(「明德三年正月廿六
日」銘) 石製 明德3年(1392) 神奈川 鎌倉
市教育委員会

- 42 若宮大路周辺遺跡群出土 唐草文軒平瓦（I期・八事裏山窯産） 陶製 鎌倉時代 神奈川 鎌倉市教育委員会
- 43 鶴岡二十五坊跡出土 蓮華文軒丸瓦（I期・八事裏山窯産） 陶製 鎌倉時代 神奈川 鎌倉市教育委員会
- 44 田中穰氏旧蔵典籍古文書 転法輪鈔 紙本墨書 鎌倉時代 千葉 国立歴史民俗博物館
- 45 東鑑（慶長古活字版） 紙本墨書 江戸時代 神奈川 神奈川県立歴史博物館
- 46 作庭記写 紙本彩色 天正20年（1592） 個人
- 47 鴨長明海道記 紙本墨書 江戸時代 千葉 国立歴史民俗博物館
- 48 □神田孝平氏旧蔵文書（第一巻） 関東下知状 紙本墨書 元徳3年（1331） 神奈川 鎌倉国宝館
- 49-1 八事裏山窯跡出土 蓮華文軒丸瓦 陶製 鎌倉時代 愛知 荒木集成館
- 49-2 八事裏山窯跡出土 唐草文軒平瓦 陶製 鎌倉時代 愛知 荒木集成館
- 50 千葉地東遺跡出土 蓮華文軒丸瓦（八事裏山窯産） 陶製 鎌倉時代 神奈川 神奈川県教育委員会
- 51-1 コクゾウ塚出土 唐草文軒平瓦（八事裏山窯産） 陶製 鎌倉時代 神奈川 あつぎ郷土博物館
- 51-2 コクゾウ塚出土 軒平瓦片（八事裏山窯産） 陶製 鎌倉時代 神奈川 あつぎ郷土博物館
- 52-1 下万正寺遺跡出土 巴文軒丸瓦 陶製 鎌倉時代 福島 桑折町教育委員会
- 52-2 下万正寺遺跡出土 唐草文軒平瓦 陶製 鎌倉時代 福島 桑折町教育委員会
- 53 地蔵院（尾羽寺跡）出土 軒平瓦（唐草文軒平瓦・下向き劔頭文軒平瓦） 陶製 鎌倉時代 栃木 益子町地蔵院
- 54-1 浜川北遺跡出土 巴文軒丸瓦 陶製 鎌倉時代 群馬 高崎市教育委員会
- 54-2 浜川北遺跡出土 唐草文軒平瓦 陶製 鎌倉時代 群馬 高崎市教育委員会
- 54-3 浜川北遺跡出土 鬼瓦片 陶製 鎌倉時代 群馬 高崎市教育委員会
- 55 三村山極楽寺跡出土 唐草文軒平瓦 陶製 鎌倉時代 茨城 つくば市教育委員会
- 56 小田城跡出土 唐草文軒平瓦 陶製 鎌倉時代 茨城 つくば市教育委員会
- 57 西浦遺跡出土 唐草文軒平瓦 陶製 鎌倉時代 埼玉 埼玉県教育委員会
- 58 菖蒲城跡出土 蓮華文軒丸瓦 陶製 鎌倉時代 埼玉 埼玉県教育委員会
- 59 浅見山I遺跡出土 唐草文軒平瓦 陶製 鎌倉時代 埼玉 早稲田大学考古資料館
- 60 真鏡寺後遺跡出土 唐草文軒平瓦 陶製 鎌倉時代 埼玉 本庄市教育委員会
- 61 羽根倉南遺跡出土 唐草文軒平瓦 陶製 鎌倉時代 埼玉 本庄市教育委員会
- 62 久下前遺跡出土 蓮華文軒丸瓦 陶製 鎌倉時代 埼玉 本庄市教育委員会
- 63 大久保山寺院跡出土 三鱗文平瓦 陶製 鎌倉時代 埼玉 本庄市教育委員会
- 64 堂裏遺跡出土 唐草文軒平瓦 陶製 鎌倉時代 埼玉 上里町教育委員会
- 65 保寧寺出土 唐草文軒平瓦 陶製 鎌倉時代 埼玉 加須市教育委員会
- 66-1 満願寺出土 蓮華文軒丸瓦（八事裏山窯産） 陶製 鎌倉時代 神奈川 横須賀市自然・人文博物館
- 66-2 満願寺出土 唐草文軒平瓦（八事裏山窯産） 陶製 鎌倉時代 神奈川 横須賀市自然・人文博物館
- 66-3 満願寺出土 唐草文軒平瓦 陶製 鎌倉時代 神奈川 横須賀市自然・人文博物館
- 66-4 満願寺出土 巴文軒丸瓦 陶製 鎌倉時代 神奈川 横須賀市自然・人文博物館
- 66-5 満願寺出土 鬼瓦 陶製 鎌倉時代 神奈川 横須賀市自然・人文博物館
- 66-6 満願寺出土 丸瓦 陶製 鎌倉時代 神奈川 横須賀市自然・人文博物館
- 66-7 満願寺出土 平瓦 陶製 鎌倉時代 神奈川 横須賀市自然・人文博物館
- 67-1 願成就院跡出土 巴文軒丸瓦 陶製 鎌倉時代 静岡 伊豆の国市教育委員会
- 67-2 願成就院跡出土 唐草文軒平瓦 陶製 鎌倉時代 静岡 伊豆の国市教育委員会
- 67-3 願成就院跡出土 下向き劔頭文軒平瓦 陶製 鎌倉時代 静岡 伊豆の国市教育委員会
- 67-4 願成就院跡出土 半截花文軒平瓦 陶製 鎌倉時代 静岡 伊豆の国市教育委員会
- 67-5 願成就院跡出土 手づくねかわらけ 土製 鎌倉時代 静岡 伊豆の国市教育委員会
- 68-1 北条氏館跡（円成寺跡）出土 唐草文軒平瓦 陶製 鎌倉時代 静岡 伊豆の国市教育委員会
- 68-2 北条氏館跡（円成寺跡）出土 下向き劔頭文軒平瓦 陶製 鎌倉時代 静岡 伊豆の国市教育委員会
- 68-3 北条氏館跡（円成寺跡）出土 半截花文軒平瓦 陶製 鎌倉時代 静岡 伊豆の国市教育委員会
- 68-4 北条氏館跡（円成寺跡）出土 宝珠形水晶 水晶製 鎌倉時代 静岡 伊豆の国市教育委員会
- 68-5 北条氏館跡（円成寺跡）出土 香炉（瀬戸美濃窯産） 陶製 室町時代 静岡 伊豆の国市教育委員会
- 68-6 北条氏館跡（円成寺跡）出土 天目茶碗 陶製 鎌倉時代 静岡 伊豆の国市教育委員会
- 69-1 御所之内遺跡出土 小壺（瀬戸美濃窯産） 陶製 室町時代 静岡 伊豆の国市教育委員会
- 69-2 御所之内遺跡出土 白色かわらけ 土製 鎌倉時代 静岡 伊豆の国市教育委員会

- 70 寺山遺跡出土 白色かわらけ 土製 鎌倉時代 静岡
熱海市教育委員会
- 71 □大芝遺跡出土 白色かわらけ 土製 鎌倉時代
神奈川 箱根町立郷土資料館
- 72 三島神社出土 白色かわらけ 土製 鎌倉時代 静岡
三島市教育委員会
- 73 樺崎寺跡出土 青白磁四耳壺 陶製 鎌倉時代 栃木
足利市教育委員会
- 74 ○平沢寺経塚出土 経筒 銅製 久安4年(1148)
埼玉 平沢寺(埼玉県立嵐山史跡の博物館寄託)
- 75-1 ○宮戸薬師堂山経塚出土 経筒 銅製 鎌倉時代
埼玉 朝霞市博物館
- 75-2 ○宮戸薬師堂山経塚出土 和鏡 銅製 鎌倉時代
埼玉 朝霞市博物館
- 75-3 ○宮戸薬師堂山経塚出土 甕(常滑窯産) 陶製 鎌倉
時代 埼玉 朝霞市博物館
- 75-4 ○宮戸薬師堂山経塚出土 鉢(常滑窯産) 陶製 鎌倉
時代 埼玉 朝霞市博物館
- 76-1 ○中山白山神社経塚出土 経筒 銅製 仁平4年
(1154) 東京 八王子市郷土資料館
- 76-2 ○中山白山神社経塚出土 和鏡(菊山吹双鳥文/秋
草双鳥文) 銅製 仁平4年(1154) 東京 八王子
市郷土資料館
- 76-3 ○中山白山神社経塚出土 経筒外容器 陶製 仁平4年
(1154) 東京 八王子市郷土資料館
- 76-4 ○中山白山神社経塚出土 常滑製甕 陶製 仁平4年
(1154) 東京 八王子市郷土資料館
- 76-5 ○中山白山神社経塚出土 経巻(法華経巻2・4)
紙本朱書 仁平4年(1154) 東京 八王子市郷土
資料館
- 77 龍見寺経塚出土 経筒 銅製 平安時代 東京 八王
子市教育委員会
- 78-1 利仁神社経塚出土 経筒 銅製 建久7年(1196)
東京 東京国立博物館
- 78-2 利仁神社経塚出土 瓦筒 陶製 建久7年(1196)
東京 東京国立博物館
- 78-3 利仁神社経塚出土 合子 陶製 建久7年(1196)
東京 東京国立博物館
- 78-4 利仁神社経塚出土 和鏡(草花双鳥文/松喰鶴文)
銅製 建久7年(1196) 東京 東京国立博物館
- 79 ◎大日如来坐像木造漆箔 建久4年(1193) カ
東京 半蔵門ミュージアム
- 80 阿弥陀如来坐像木造漆箔 鎌倉時代 神奈川 神奈
川県立歴史博物館
- 81 ◎頬焼阿弥陀縁起 紙本著色 鎌倉時代 神奈川
光触寺
- 82 ●當麻寺曼荼羅縁起 紙本著色 鎌倉時代 神奈川
光明寺
- 83 伊豆山権現立像銅造 鎌倉時代 静岡 伊豆山神社
- 84 ○阿弥陀如来坐像 木造漆箔 平安時代 静岡
- 伊豆山浜生協会
- 85 □菅根山縁起并序(白文本) 紙本墨書 室町時代
神奈川 箱根神社
- 86 ○長命富貴堆黒箱 木製漆塗 中国・南宋時代
神奈川 鶴岡八幡宮
- 87 ◎鶴岡社務記録 紙本墨書 南北朝時代 神奈川
鶴岡八幡宮
- 88 ◎相承院文書 良傳供僧職議状 紙本墨書 宝治2
年(1248) 神奈川 鶴岡八幡宮
- 89 □金銅四天王五鈷鈴 金銅製 中国・宋時代 神奈
川 鶴岡八幡宮
- 90 金銅五鈷杵 金銅製 室町時代 神奈川 鶴岡八幡宮
- 91 ◎浄光明寺敷地絵図 紙本墨書 南北朝時代 神奈川
浄光明寺(鎌倉国宝館寄託)
- 92 金子家文書 源頼朝袖判下文 紙本墨書 寿永3年
(1184) 神奈川 神奈川県立歴史博物館
- 93 田中穰氏旧蔵典籍古文書 祈雨御修法日記 紙本墨
書 永久5年(1117) 千葉 国立歴史民俗博物館
- 94 田中穰氏旧蔵典籍古文書 神泉苑請雨御修法記 紙
本墨書 永久5年(1117) 千葉 国立歴史民俗博物館
- 95 田中穰氏旧蔵典籍古文書 祈雨説経記 紙本墨書
建久元年(1190) 千葉 国立歴史民俗博物館
- 96 田中穰氏旧蔵典籍古文書 請雨法次第口伝 紙本墨書
鎌倉時代 千葉 国立歴史民俗博物館
- 97 龍頭 木造 室町～戦国時代 神奈川 師岡熊野神社
- 98 菩薩(行道面) 木造漆箔 平安時代 栃木 日光
山輪王寺
- 99 ○王の舞面 木造彩色 鎌倉時代 静岡 津毛利神社
- 100 菩薩(行道面) 木造 承安四年(1174) 神奈川
阿弥陀寺
- 101 ◎菩薩面 木造彩色 鎌倉時代 神奈川 鶴岡八幡
宮(鎌倉国宝館寄託)
- 102 ◎舞楽面 陵王 木造彩色 鎌倉時代 神奈川 鶴岡
八幡宮(鎌倉国宝館寄託)
- 103 ◎舞楽面 散手 木造彩色 鎌倉時代 神奈川 鶴岡
八幡宮(鎌倉国宝館寄託)
- 104 ◎舞楽面 貴徳鯉口 木造彩色 鎌倉時代 神奈川
鶴岡八幡宮(鎌倉国宝館寄託)
- 105 ◎舞楽面 貴徳番子 木造彩色 鎌倉時代 神奈川
鶴岡八幡宮(鎌倉国宝館寄託)
- 106 ◎舞楽面 二ノ舞 咲面 木造彩色 鎌倉時代 神奈川
鶴岡八幡宮(鎌倉国宝館寄託)
- 107-1 ○菩薩(行道面) 木造彩色 鎌倉時代 千葉 建暦寺
- 107-2 濱古山畧縁起 紙本墨書 文化元年(1804) 千葉
建暦寺
- 108 楽家系図 紙本墨書 正和2年(1313) 東京 宮内
庁書陵部
- 109 胡琴教録 紙本墨書 南北朝時代 東京 宮内庁書陵部
- 110 琵琶秘曲伝授記(春衡記) 紙本墨書 徳治2年
(1307) 東京 宮内庁書陵部

- | | |
|--|--|
| <p>111 ◎弁才天坐像 木造彩色 文永3年(1266) 神奈川 鶴岡八幡宮(鎌倉国宝館寄託)</p> <p>112 ●称名寺聖教 舞楽曼荼羅供祀記(大山) 紙本墨書 正安2年(1300) 神奈川 称名寺(神奈川県立金沢文庫管理)</p> <p>113 神武寺御縁起 紙本墨書 文禄3年(1594) 神奈川 神武寺(鎌倉国宝館寄託)</p> <p>114 ○千手観音菩薩像 絹本着色 鎌倉時代 神奈川 神武寺(鎌倉国宝館寄託)</p> <p>115 神武寺石造弥勒菩薩坐像銘文拓本 紙本拓本 現代 神奈川 神奈川県立歴史博物館</p> <p>116 ◎金銅骨蔵器(忍性塔納置品・嘉元元年十一月日刻銘) 金銅製 嘉元元年(1303) 神奈川 極楽寺</p> <p>117 ◎銅骨蔵器(忍性塔納置品・嘉元元年十一月二十五日刻銘) 金銅製 嘉元元年(1303) 神奈川 極楽寺</p> <p>118 ◎銅骨蔵器(順忍塔納置品・善願上人在銘) 金銅製 鎌倉時代 神奈川 極楽寺</p> <p>119 ◎金銅五輪塔(順忍塔納置品・延慶四年二月八日刻銘) 金銅製 延慶4年(1311) 神奈川 極楽寺</p> <p>120 ◎銅骨蔵器(順忍塔納置品) 金銅製 鎌倉時代 神奈川 極楽寺</p> <p>121 極楽寺十三重塔供養日記 紙本墨書 正和4年(1315) 神奈川 極楽寺</p> <p>122 舞楽面 還城楽 木造彩色 室町時代 神奈川 極楽寺</p> <p>123 舞楽面 抜頭 木造彩色 室町時代 神奈川 極楽寺</p> <p>124 獅子頭 木造彩色 江戸時代 神奈川 海南神社</p> <p>125 ○三番叟面 木造 江戸時代 神奈川 海南神社</p> <p>126 鎌倉北条九代記 紙本墨書 江戸時代 神奈川 神奈川県立歴史博物館</p> <p>127 阿弥陀二十五菩薩来迎図 絹本着色 南北朝時代 神奈川 神奈川県立歴史博物館</p> <p>128 ○熊野権現影向図 絹本着色 南北朝時代 神奈川 正念寺(神奈川県立歴史博物館保管)</p> <p>129 舞楽面 還城楽 木造 鎌倉時代 神奈川 高部屋神社(伊勢原大神宮保管)</p> <p>130 舞楽面 陵王 木造 室町時代 神奈川 高部屋神社(伊勢原大神宮保管)</p> | <p>131 能面 癒見 木造 江戸時代 神奈川 高部屋神社(伊勢原大神宮保管)</p> <p>132 大般若波羅蜜多經 版本・紙本墨書室町時代 神奈川 高部屋神社(伊勢原大神宮保管)</p> <p>133 摩訶般若波羅蜜經 版本 室町時代 神奈川 高部屋神社(伊勢原大神宮保管)</p> <p>134 大方等大集經 卷三〇 版本 室町時代 神奈川 高部屋神社(伊勢原大神宮保管)</p> <p>135-1 子易・中川原遺跡出土 礫石経 石製 鎌倉時代 神奈川 神奈川県教育委員会</p> <p>135-2 子易・中川原遺跡出土 合子陶製 鎌倉時代 神奈川 神奈川県教育委員会</p> <p>135-3 子易・中川原遺跡出土 青磁碗 陶製 鎌倉時代 神奈川 神奈川県教育委員会</p> <p>135-4 子易・中川原遺跡出土 三筋壺 陶製 鎌倉時代 神奈川 神奈川県教育委員会</p> <p>135-5 子易・中川原遺跡出土 壺 陶製 鎌倉時代 神奈川 神奈川県教育委員会</p> <p>135-6 子易・中川原遺跡出土 捏鉢 陶製 鎌倉時代 神奈川 神奈川県教育委員会</p> <p>135-7 子易・中川原遺跡出土 呪符木簡 木製 鎌倉時代 神奈川 神奈川県教育委員会</p> <p>136 神成松遺跡出土 水晶数珠 水晶製 鎌倉時代 神奈川 神奈川県教育委員会</p> <p>《参考出品》</p> <p>永福寺軒瓦の復元 鎌倉時代 永福寺跡出土 鎌倉市教育委員会</p> <p>○源頼朝袖判下文 建久3年(1192) 神奈川県立歴史博物館</p> <p>○源頼朝袖判下文 正治2年(1200) 神奈川県立歴史博物館</p> <p>木造栄西禅師坐像 現代 複製(原品:寿福寺)</p> <p>木造退耕行勇坐像 現代 複製(原品:浄妙寺)</p> <p>忍性菩薩像 現代 複製(原品:浄妙寺)</p> <p>石造五輪塔 元亨元年(1321) 永福寺跡出土 神奈川県立歴史博物館</p> <p>経箱蓋裏銘(復元) 現代 複製 高部屋神社</p> |
|--|--|

(3) その他の展示

ア 特別陳列「松平造酒助江戸在勤日記—武士の絵日記—」

会 期：令和5年2月18日(土) ～ 4月9日(日)

会 場：特別展示室 第1室

主 催：神奈川県立歴史博物館

協 力：鶴岡市郷土資料館

展示資料件数：104件

担 当：学芸員 寺西 明子、非常勤学芸員 根本 佐智子

概 要：本展は当館が所蔵する「松平造酒助江戸在勤日記」全50点を紹介するための特別陳列でありJSPS 科研費 JP18K00951(平成30年度～令和3年度 科学研究費助成事業 学術研究 助成基金助成金 基盤研究(C)「幕末期地方藩士による江戸在勤日記の基礎

的研究」研究代表者 根本佐智子)の成果を含む。「松平造酒助江戸在勤日記」は庄内藩上級武士松平造酒助によって、江戸在勤時中の元治元年8月より約一年間に記された日記である。幕末期庄内藩の動向、江戸における生活や職務、造酒助が見た幕末江戸の様相が記されることに加え、日記中に描かれる挿絵も本資料の魅力の一つである。展示では日記のほか松平造酒助が同時期に作成した書簡(鶴岡市郷土資料館蔵)等も併せて展示し、日記資料の内容をより立体的にわかりやすく紹介した。

関連行事：・連続古文書講座「松平造酒助江戸在勤日記を読む」 2月26日、3月5日、12日
 ・記念講演会「松平造酒助江戸在勤日記の魅力」3月19日
 ・学芸員による展示解説 2月18日、3月4日、26日、4月2日

出品目録：(凡例) No.、名称、時代、作成・発行、所蔵

1	松平造酒助江戸在勤日記第14冊ほか 元治元年(1864)11月1日 神奈川県立歴史博物館	21	松平造酒助江戸在勤日記第4冊 元治元年(1864)9月14日 神奈川県立歴史博物館
2	パネル 松平造酒助江戸在勤日記第39冊 慶応元年閏5月7日 神奈川県立歴史博物館	22	松平造酒助江戸在勤日記第17冊 元治元年(1864)12月8日 神奈川県立歴史博物館
3	パネル 丙申堂薬医門	23	松平造酒助江戸在勤日記第3冊 元治元年(1864)9月5日 神奈川県立歴史博物館
4	編年私記 五 嘉永2年(1849)8月25日 鶴岡市郷土資料館	24	松平造酒助江戸在勤日記第16冊 元治元年(1865)11月19日 神奈川県立歴史博物館
5	松平造酒助書簡 松平武右衛門文書70 (安政2年(1855))8月9日 鶴岡市郷土資料館	25	パネル 松平造酒助江戸在勤日記第23冊 元治2年(1865)正月19日 神奈川県立歴史博物館
6	松平造酒助書簡 松平武右衛門文書88 (安政2年(1855))10月10日 鶴岡市郷土資料館	26	パネル 松平造酒助江戸在勤日記第44冊 慶応元年(1865)6月16日 神奈川県立歴史博物館
7	松平三郎兵衛書簡 松平武右衛門文書10 (安政2年(1855))9月13日 鶴岡市郷土資料館	27	松平造酒助江戸在勤日記第13冊 元治元年(1864)11月7日 神奈川県立歴史博物館
8	松平造酒助書簡 松平武右衛門文書108 (安政3年(1856))4月2日 鶴岡市郷土資料館	28	松平造酒助江戸在勤日記第33冊 慶応元年(1865)4月17日 神奈川県立歴史博物館
9	編年私記 六 文久3年(1863)12月25日・文久4年正月22日 鶴岡市郷土資料館	29	酒井兵部達書 松平武右衛門文書209 (元治元年(1864))9月2日 鶴岡市郷土資料館
10	パネル 松平造酒助江戸在勤日記第1冊 元治元年(1864)8月14日 神奈川県立歴史博物館	30	松平造酒助江戸在勤日記第6冊 元治元年(1864)9月24日 神奈川県立歴史博物館
11	パネル 松平造酒助江戸在勤日記第1冊 元治元年(1864)8月17日 神奈川県立歴史博物館	31	松平造酒助江戸在勤日記第9冊 元治元年(1864)10月9日 神奈川県立歴史博物館
12	松平造酒助江戸在勤日記第1冊 元治元年(1864)8月19日 神奈川県立歴史博物館	32	パネル 松平造酒助江戸在勤日記第19冊 御役拜命 元治元年(1864)11月27日 神奈川県立歴史博物館
13	パネル 松平造酒助江戸在勤日記第6冊 元治元年(1864)9月晦日 神奈川県立歴史博物館	33	パネル 松平造酒助江戸在勤日記第19冊 寄合 元治元年(1864)11月27日 神奈川県立歴史博物館
14	パネル 松平造酒助江戸在勤日記第4冊 元治元年(1864)9月14日 神奈川県立歴史博物館	34	松平造酒助江戸在勤日記第22冊 元治2年(1865)正月11日 神奈川県立歴史博物館
15	松平造酒助江戸在勤日記第5冊 元治元年(1864)9月21日 神奈川県立歴史博物館	35	松平造酒助江戸在勤日記第23冊 元治2年(1865)正月24日 神奈川県立歴史博物館
16	松平造酒助書簡 松平武右衛門文書202 元治元年(1864)11月15日 鶴岡市郷土資料館	36	松平造酒助江戸在勤日記第39冊 慶応元年(1865)閏5月5日 神奈川県立歴史博物館
17	浅草向柳原屋敷絵図 嘉永2年(1849)4月吉日 鶴岡市郷土資料館	37	松平造酒助江戸在勤日記第42冊 慶応元年(1865)閏5月25日 神奈川県立歴史博物館
18	パネル 松平造酒助江戸在勤日記第43冊 慶応元年(1865)6月8日 神奈川県立歴史博物館	38	パネル 松平造酒助江戸在勤日記第21冊 元治2年(1865)正月1日 神奈川県立歴史博物館
19	松平造酒助江戸在勤日記第26冊 元治2年(1865)2月23日 神奈川県立歴史博物館	39	松平造酒助書簡 松平武右衛門文書213 (元治2年(1865))3月9日 鶴岡市郷土資料館
20	松平造酒助江戸在勤日記第41冊 慶応元年(1865)6月5日 神奈川県立歴史博物館	40	松平造酒助書簡 松平武右衛門文書195 (元治2年(1865))4月6日 鶴岡市郷土資料館

- 41 松平造酒助江戸在勤日記第21冊 新吉原 元治2年
(1865)正月 神奈川県立歴史博物館
- 42 松平造酒助江戸在勤日記第21冊 竹内組 元治2年
(1865)正月 神奈川県立歴史博物館
- 43 松平造酒助江戸在勤日記第10冊 元治元年(1864)10月
17日 神奈川県立歴史博物館
- 44 パネル 松平造酒助江戸在勤日記第13冊 元治元年
(1864)11月8日 神奈川県立歴史博物館
- 45 松平造酒助江戸在勤日記第24冊 元治2年(1865)正月
29日 神奈川県立歴史博物館
- 46 松平造酒助書簡 松平武右衛門文書173 元治元年
(1864)12月4日 鶴岡市郷土資料館
- 47 松平造酒助江戸在勤日記第18冊 元治元年(1864)12月
12日 神奈川県立歴史博物館
- 48 パネル 松平造酒助江戸在勤日記第21冊 元治元年
(1864)12月23日 神奈川県立歴史博物館
- 49 松平造酒助書簡 松平武右衛門文書37 元治元年
(1864)12月29日 鶴岡市郷土資料館
- 50 パネル 松平造酒助江戸在勤日記第16冊 元治元年
(1864)11月21日 神奈川県立歴史博物館
- 51 松平造酒助江戸在勤日記第35冊 慶応元年(1865)4月
晦日 神奈川県立歴史博物館
- 52 パネル 松平造酒助江戸在勤日記第44冊 慶応元年
(1865)6月21日 神奈川県立歴史博物館
- 53 パネル 松平造酒助江戸在勤日記第45冊 慶応元年
(1865)7月3日 神奈川県立歴史博物館
- 54 ゲベール銃 日野市
- 55 ゲベール銃 銃弾 日野市
- 56 ミニエー銃 日野市
- 57 ミニエー銃 銃弾 日野市
- 58 洋式銃胴乱 神奈川県立歴史博物館
- 59 パネル 松平造酒助江戸在勤日記第13冊 元治元年
(1864)11月9日 神奈川県立歴史博物館
- 60 パネル 松平造酒助江戸在勤日記第21冊 元治2年
(1865)正月6日 神奈川県立歴史博物館
- 61 パネル 編年私記 六 慶応元年(1865)閏5月13日
鶴岡市郷土資料館
- 62 松平造酒助江戸在勤日記第2冊 元治元年(1864)8月晦日
神奈川県立歴史博物館
- 63 パネル 松平造酒助江戸在勤日記第3冊 元治元年
(1864)9月6日 神奈川県立歴史博物館
- 64 松平造酒助江戸在勤日記第31冊 慶応元年(1865)4月
8日 神奈川県立歴史博物館
- 65 パネル 松平造酒助江戸在勤日記第33冊 慶応元年
(1865)4月15日 神奈川県立歴史博物館
- 66 松平造酒助江戸在勤日記第43冊 慶応元年(1865)6月
8日 神奈川県立歴史博物館
- 67 松平造酒助江戸在勤日記第47冊 慶応元年(1865)7月
16日 神奈川県立歴史博物館
- 68 パネル 松平造酒助江戸在勤日記第21冊 元治2年
(1865)正月 神奈川県立歴史博物館
- 69 松平造酒助江戸在勤日記第44冊 大門出る 慶応元年
(1865)6月19日 神奈川県立歴史博物館
- 70 松平造酒助江戸在勤日記第44冊 西瓜を割る 慶応元年
(1865)6月19日 神奈川県立歴史博物館
- 71 松平造酒助江戸在勤日記第27冊 王子遊行 元治2年
(1865)3月2日 神奈川県立歴史博物館
- 72 松平造酒助江戸在勤日記第27冊 扇屋 元治2年
(1865)3月2日 神奈川県立歴史博物館
- 73 パネル 松平造酒助江戸在勤日記第27冊 日暮 元治2
年(1865)3月2日 神奈川県立歴史博物館
- 74 松平造酒助江戸在勤日記第28冊 上野 元治2年
(1865)3月14日 神奈川県立歴史博物館
- 75 松平造酒助江戸在勤日記第28冊 元治2年(1865)3月
14日 神奈川県立歴史博物館
- 76 パネル 松平造酒助江戸在勤日記第28冊 元治2年
(1865)3月14日 神奈川県立歴史博物館
- 77 松平造酒助書簡 松平武右衛門文書206 元治2年
(1865)3月12日 鶴岡市郷土資料館
- 78 松平造酒助江戸在勤日記第8冊 元治元年(1864)10月
5日 神奈川県立歴史博物館
- 79 パネル 松平造酒助江戸在勤日記第23冊 元治2年
(1865)正月23日 神奈川県立歴史博物館
- 80 松平造酒助江戸在勤日記第37冊 慶応元年(1865)5月
16日 神奈川県立歴史博物館
- 81 松平造酒助江戸在勤日記第12冊 元治元年(1864)10月
27日 神奈川県立歴史博物館
- 82 松平造酒助江戸在勤日記第19冊 元治元年(1864)12月
3日 神奈川県立歴史博物館
- 83 松平造酒助江戸在勤日記第48冊 慶応元年(1865)7月
26日 神奈川県立歴史博物館
- 84 パネル 松平造酒助江戸在勤日記第27冊 元治2年
(1865)3月6日 神奈川県立歴史博物館
- 85 パネル 松平造酒助江戸在勤日記第21冊 元治元年
(1864)12月29日 神奈川県立歴史博物館
- 86 パネル 松平造酒助江戸在勤日記第21冊 元治2年
(1865)正月1日 神奈川県立歴史博物館
- 87 パネル 松平造酒助江戸在勤日記第10冊 元治元年
(1864)10月15日 神奈川県立歴史博物館
- 88 松平造酒助書簡 松平武右衛門文書103 慶応元年
(1865)閏5月19日 鶴岡市郷土資料館
- 89 松平造酒助江戸在勤日記第30冊 慶応元年(1865)4月
25日 神奈川県立歴史博物館
- 90 松平造酒助江戸在勤日記第45冊 慶応元年(1865)7月
7日 神奈川県立歴史博物館
- 91 松平造酒助書簡 松平武右衛門文書19 (慶応元年
(1865))9月7日 鶴岡市郷土資料館
- 92 パネル 編年私記 六 慶応元年(1865)11月19日 鶴
岡市郷土資料館

- | | |
|---|--|
| <p>93 聞書雑書 慶応3年(1867)9月18日 鶴岡市郷土資料館</p> <p>94 パネル 近世史略薩州屋敷焼撃之図 豊洲国輝画 明治24年(1891) 神奈川県立歴史博物館</p> <p>95 パネル 松平造酒助墓</p> <p>96 パネル 石城日記 文久元年(1861)6月15日~2年4月29日 慶應義塾大学文学部古文書室</p> <p>97 パネル 酒井伴四郎日記 万延元年(1860)5月11日~11月30日 江戸東京博物館</p> <p>98 パネル 東役飛翰 元治元年(1864)正月1日~4月27日 立正大学図書館古文書資料館</p> <p>99 松平造酒助江戸在勤日記第38冊 慶応元年(1865)閏5月1日 神奈川県立歴史博物館</p> | <p>100 松平造酒助江戸在勤日記第49冊 慶応元年(1865)7月29日 神奈川県立歴史博物館</p> <p>101 松平造酒助江戸在勤日記第11冊 元治元年(1864)10月21日 神奈川県立歴史博物館</p> <p>102 松平造酒助江戸在勤日記第16冊 元治元年(1864)11月18日 神奈川県立歴史博物館</p> <p>103 松平造酒助江戸在勤日記第50冊 慶応元年(1865)8月5日 神奈川県立歴史博物館</p> <p>104 松平造酒助江戸在勤日記第34冊 慶応元年(1865)4月25日 神奈川県立歴史博物館</p> |
|---|--|

イ 令和4年度かながわの遺跡展「縄文人の環境適応」

会 期：12月24日(土)～1月29日(日)

会 場：特別展示室

主 催：神奈川県教育委員会、神奈川県立歴史博物館、相模原市教育委員会

後 援：朝日新聞横浜総局、産経新聞社横浜総局、毎日新聞社横浜支局、読売新聞横浜支局、日本経済新聞社横浜支局、神奈川新聞社、東京新聞横浜支局、共同通信社横浜支局、時事通信社横浜総局、ラジオ日本、TVK(テレビ神奈川)、NHK 横浜放送局、FMヨコハマ、J:COM

展示資料件数：594件

入 場 者 数：6,378名

担 当：神奈川県教育委員会教育局生涯学習部文化遺産課中村町駐在事務所 主事 児玉 優

概 要：約1万年以上続いた縄文時代の中でも、中期(約5,500年前～約4,500年前)には、関東・中部地方において遺跡の数が最も多くなり、大規模な集落が形成されるようになった。しかし、中期の終わり頃から後期(約4,500年前～約3,300年前)にかけて、集落は小規模・分散化する傾向を示す。このことは、気候の寒冷化により減少した食糧資源を効率的に獲得するためと考えられている。環境の変化に対応しようとする縄文人の取り組みは、集落のあり方だけでなく、生業や祭祀にも及び、様々な遺構や遺物の様相に見ることができる。中期から後・晩期にかけて、縄文人がどのように環境に適応するための努力をしてきたのか、当時の文化と社会の変化について明らかにする。

関 連 行 事：・特別講演

第1回「気候変動と縄文集落の変遷」1月8日(日)

第2回「縄文人の狩猟・漁労と環境適応」1月15日(日)

・担当者による展示解説 1月7日, 14日, 28日

出 品 目 録：(凡例) No.、資料名、出土遺跡名(所在地)、年代、所蔵

*資料名の前に付した記号のうち、◎は重要文化財、○は県指定文化財、□は市町村指定文化を示す。

- | | |
|---|---|
| <p>1 大形中空土偶 菩提横手遺跡(秦野市) 縄文時代後期 神奈川県教育委員会</p> <p>2-5 縄文土器 深鉢 大地開戸遺跡(相模原市) 縄文時代中期中葉 神奈川県教育委員会</p> <p>6-7 縄文土器 深鉢 下原遺跡(相模原市) 縄文時代中期中葉 相模原市教育委員会</p> <p>8 縄文土器 深鉢 原口遺跡(平塚市) 縄文時代中期中葉 神奈川県教育委員会</p> <p>9 縄文土器 深鉢 大地開戸遺跡(相模原市) 縄文時代中期後葉 神奈川県教育委員会</p> <p>10 縄文土器 深鉢 原東遺跡(相模原市) 縄文時代中期後葉 神奈川県教育委員会</p> | <p>11 縄文土器 浅鉢 川尻中村遺跡(相模原市) 縄文時代中期後葉 神奈川県教育委員会</p> <p>12 縄文土器 浅鉢 原口遺跡(平塚市) 縄文時代中期後葉 神奈川県教育委員会</p> <p>13 縄文土器 釣手土器 川尻中村遺跡(相模原市) 縄文時代中期後葉 神奈川県教育委員会</p> <p>14 縄文土器 釣手土器 上粕屋・秋山遺跡(伊勢原市) 縄文時代中期後葉 神奈川県教育委員会</p> <p>15 縄文土器 釣手土器 生麦八幡前遺跡(横浜市) 縄文時代中期後葉 神奈川県教育委員会</p> <p>16-18 縄文土器 深鉢 川尻中村遺跡(相模原市) 縄文時代中期後葉 神奈川県教育委員会</p> |
|---|---|

- 19-20 縄文土器 深鉢 生麦八幡前遺跡(横浜市) 縄文時代
中期後葉 神奈川県教育委員会
- 21 縄文土器 浅鉢 生麦八幡前遺跡(横浜市) 縄文時代中期
後葉 神奈川県教育委員会
- 22 粘土塊 上中丸遺跡(相模原市) 縄文時代中期 相模原市
教育委員会
- 23-25 台形土器 上中丸遺跡(相模原市) 縄文時代中期 相
模原市教育委員会
- 26 □マメ庄痕土器 勝坂遺跡(相模原市) 縄文時代中期
相模原市教育委員会
- 27 □クルミ形土器 田名塩田遺跡群(相模原市) 縄文時代中
期 相模原市教育委員会
- 28 クルミ形土製垂飾 勝坂遺跡(相模原市) 縄文時代中期
相模原市教育委員会
- 29-32 オニグルミ核 勝坂遺跡 有鹿谷地点(相模原市) 縄
文時代後期 相模原市教育委員会
- 33 トチノキ種子 勝坂遺跡 有鹿谷地点(相模原市) 縄文時
代後期 相模原市教育委員会
- 34 キツネノカミソリ類の炭化球根 上ノ入B遺跡(平塚市)
縄文時代中期 平塚市博物館
- 35-36 石皿 川尻中村遺跡(相模原市) 縄文時代中期 神奈
川県教育委員会
- 37-40 磨石 川尻中村遺跡(相模原市) 縄文時代中期 神奈
川県教育委員会
- 41-43 石槌 川尻中村遺跡(相模原市) 縄文時代中期 神奈
川県教育委員会
- 44-49 石匙 川尻中村遺跡(相模原市) 縄文時代中期 神奈
川県教育委員会
- 50-58 打製石斧 川尻中村遺跡(相模原市) 縄文時代中期
神奈川県教育委員会
- 59-64 磨製石斧 川尻中村遺跡(相模原市) 縄文時代中期
神奈川県教育委員会
- 65-66 ○加工痕のある原礫 尾崎遺跡(足柄上郡山北町) 縄
文時代中期 神奈川県教育委員会
- 67-70 ○磨製石斧(未成品) 尾崎遺跡(足柄上郡山北町)
縄文時代中期 神奈川県教育委員会
- 71-75 ○磨製石斧(完成品) 尾崎遺跡(足柄上郡山北町)
縄文時代中期 神奈川県教育委員会
- 76-77 ○敲石 尾崎遺跡(足柄上郡山北町) 縄文時代中期
神奈川県教育委員会
- 78 ○砥石 尾崎遺跡(足柄上郡山北町) 縄文時代中期 神奈
川県教育委員会
- 79 土版 勝坂遺跡(相模原市) 縄文時代中期中葉 相模原市
教育委員会
- 80 顔面付土器 川尻中村遺跡(相模原市) 縄文時代中期中
葉 神奈川県教育委員会
- 81 顔面把手 下北原遺跡(伊勢原市) 縄文時代中期中葉 相
模原市教育委員会
- 82 顔面把手 蟹ヶ澤遺跡(座間市) 縄文時代中期中葉 座間
市教育委員会
- 83 土偶 上中丸遺跡(相模原市) 縄文時代中期中葉 相模原
市教育委員会
- 84 土製頭部片 公田ジョウロ塚遺跡(横浜市) 縄文時代中
期中葉 神奈川県立歴史博物館
- 85 土偶 上中丸遺跡(相模原市) 縄文時代中期後葉 相模原
市教育委員会
- 86 土偶 下原遺跡(相模原市) 縄文時代中期後葉 相模原市
教育委員会
- 87 □土偶 橋本遺跡(相模原市) 縄文時代中期後葉 相模原
市教育委員会
- 88 土偶 上中丸遺跡(相模原市) 縄文時代中期後葉 相模原
市教育委員会
- 89 土偶 下森鹿島遺跡(相模原市) 縄文時代中期後葉 相模
原市教育委員会
- 90 土偶 田名花ヶ谷戸遺跡(相模原市) 縄文時代中期後葉
相模原市教育委員会
- 91-94 土偶 川尻中村遺跡(相模原市) 縄文時代中期後葉
神奈川県教育委員会
- 95 □翡翠大珠 東開戸遺跡(秦野市) 縄文時代中期 秦野
市教育委員会
- 96-97 □琥珀大珠 東開戸遺跡(秦野市) 縄文時代中期
秦野市教育委員会
- 98 大珠(翡翠製) 西富貝塚(藤沢市) 縄文時代 藤沢市教
育委員会
- 99 大珠(翡翠製) 油壺遺跡(三浦市) 縄文時代中期 三浦
市
- 100 大珠(複製品) 石川山田遺跡(藤沢市) 縄文時代中期
神奈川県立歴史博物館
- 101 大珠形土製品 川尻中村遺跡(相模原市) 縄文時代中期
神奈川県教育委員会
- 102-107 垂飾 川尻中村遺跡(相模原市) 縄文時代中期 神
奈川県教育委員会
- 108 縄文土器 深鉢(破片) 原口遺跡(平塚市) 縄文時代中
期 神奈川県教育委員会
- 109-115 黒曜石(原石・石核・剥片) 原口遺跡(平塚市)
縄文時代中期 神奈川県教育委員会
- 116 黒曜石(石核) 川尻中村遺跡(相模原市) 縄文時代中
期 相模原市教育委員会
- 117 縄文土器 深鉢 宮ヶ瀬遺跡群北原No.9遺跡(愛甲郡清川
村) 縄文時代後期 神奈川県教育委員会
- 118-134 黒曜石(原石・石核) 宮ヶ瀬遺跡群北原No.9遺跡
(愛甲郡清川村) 縄文時代後期 神奈川県教育委員会
- 135 □縄文土器 深鉢(磨製石斧埋納) 上土棚南遺跡(綾瀬
市) 縄文時代後期 綾瀬市
- 136-142 □磨製石斧 上土棚南遺跡(綾瀬市) 縄文時代後期
綾瀬市
- 143-146 打製石斧 畑久保西遺跡(相模原市) 縄文時代後期
神奈川県教育委員会
- 147 縄文土器 深鉢 稲荷木遺跡(秦野市) 縄文時代中期 神
奈川県教育委員会

- 148 縄文土器 深鉢 下森鹿島遺跡(相模原市) 縄文時代中期 相模原市教育委員会
- 149-154 縄文土器 深鉢 稲ヶ原遺跡(横浜市) 縄文時代後期初頭 公益財団法人横浜市ふるさと歴史財団 埋蔵文化財センター
- 155 縄文土器 深鉢 原口遺跡(平塚市) 縄文時代後期初頭 神奈川県教育委員会
- 156 縄文土器 深鉢 青根馬渡No.2遺跡(相模原市) 縄文時代後期初頭 神奈川県教育委員会
- 157 縄文土器 深鉢 青根上野田遺跡(相模原市) 縄文時代後期初頭 神奈川県教育委員会
- 158-159 縄文土器 深鉢 稲荷山貝塚(横浜市) 縄文時代後期前葉 神奈川県教育委員会
- 160-162 縄文土器 鉢 稲荷山貝塚(横浜市) 縄文時代後期前葉 神奈川県教育委員会
- 163 縄文土器 注口土器 稲荷山貝塚(横浜市) 縄文時代後期前葉 神奈川県教育委員会
- 164 縄文土器 浅鉢 遠藤広谷遺跡(藤沢市) 縄文時代後期前葉 藤沢市教育委員会
- 165 縄文土器 注口土器 宮ヶ瀬遺跡群北原No.9遺跡(愛甲郡清川村) 縄文時代後期前葉 神奈川県教育委員会
- 166-167 縄文土器 注口土器 三ノ宮・下谷戸遺跡(伊勢原市) 縄文時代後期前葉 神奈川県教育委員会
- 168-170 縄文土器 注口土器 上土棚南遺跡(綾瀬市) 縄文時代後期前葉 綾瀬市
- 171 縄文土器 注口土器 向川名遺跡(藤沢市) 縄文時代後期前葉 藤沢市教育委員会
- 172 縄文土器 深鉢 稲荷山貝塚(横浜市) 縄文時代後期前葉 神奈川県教育委員会
- 173 縄文土器 深鉢 畑久保西遺跡(相模原市) 縄文時代後期前葉 神奈川県教育委員会
- 174 縄文土器 鉢 稲荷山貝塚(横浜市) 縄文時代後期前葉 神奈川県教育委員会
- 175 縄文土器 浅鉢 上土棚南遺跡(綾瀬市) 縄文時代後期前葉 綾瀬市
- 176-177 縄文土器 深鉢 西富貝塚(藤沢市) 縄文時代後期中葉 藤沢市教育委員会
- 178-179 縄文土器 深鉢 畑久保西遺跡(相模原市) 縄文時代後期中葉 神奈川県教育委員会
- 180 縄文土器 鉢 畑久保西遺跡(相模原市) 縄文時代後期中葉 神奈川県教育委員会
- 181 縄文土器 鉢 下北原遺跡(伊勢原市) 縄文時代後期中葉 神奈川県教育委員会
- 182-183 縄文土器 浅鉢 上土棚南遺跡(綾瀬市) 縄文時代後期中葉 綾瀬市
- 184 縄文土器 浅鉢 畑久保西遺跡(相模原市) 縄文時代後期中葉 神奈川県教育委員会
- 185 縄文土器 小形鉢 畑久保西遺跡(相模原市) 縄文時代後期中葉 神奈川県教育委員会
- 186 縄文土器 注口土器 畑久保西遺跡(相模原市) 縄文時代後期中葉 神奈川県教育委員会
- 187 縄文土器 注口土器 上土棚南遺跡(綾瀬市) 縄文時代後期中葉 綾瀬市
- 188 縄文土器 注口土器 東正院遺跡(鎌倉市) 縄文時代後期中葉 神奈川県教育委員会
- 189 縄文土器 注口土器 三ノ宮・下谷戸遺跡(伊勢原市) 縄文時代後期中葉 神奈川県教育委員会
- 190 縄文土器 注口土器 王子ノ台遺跡(平塚市) 縄文時代後期中葉 東海大学
- 191 縄文土器 注口土器 向川名遺跡(藤沢市) 縄文時代後期中葉 藤沢市教育委員会
- 192 縄文土器 壺 稲荷山貝塚(横浜市) 縄文時代後期中葉 神奈川県教育委員会
- 193 縄文土器 単孔壺 王子ノ台遺跡(平塚市) 縄文時代後期中葉 東海大学
- 194 縄文土器 異形台付土器 王子ノ台遺跡(平塚市) 縄文時代後期中葉 東海大学
- 195 縄文土器 双口土器 川名仲丸遺跡(藤沢市) 縄文時代後期中葉 藤嶺学園 鶴沼高等学校
- 196 編組製品 稲荷木遺跡(秦野市) 縄文時代後期 神奈川県教育委員会
- 197 板状土偶 向川名遺跡(藤沢市) 縄文時代後期 藤沢市教育委員会
- 198 仮面土偶 上粕屋・秋山遺跡(伊勢原市) 縄文時代後期 神奈川県教育委員会
- 199 中空土偶 王子ノ台遺跡(平塚市) 縄文時代後期 東海大学
- 200 □中空土偶 上土棚南遺跡(綾瀬市) 縄文時代後期 綾瀬市
- 201-202 □筒形土偶 上土棚南遺跡(綾瀬市) 縄文時代後期 綾瀬市
- 203 筒形土偶 東正院遺跡(鎌倉市) 縄文時代後期 神奈川県教育委員会
- 204 筒形土偶 原出口遺跡(横浜市) 縄文時代後期 横浜市歴史博物館
- 205 筒形土偶 向川名遺跡(藤沢市) 縄文時代後期 藤嶺学園 鶴沼高等学校
- 206 クリ 真田・北金目遺跡群(平塚市) 縄文時代後期 平塚市教育委員会
- 207 カヤ 真田・北金目遺跡群(平塚市) 縄文時代後期 平塚市教育委員会
- 208 トチノミ 真田・北金目遺跡群(平塚市) 縄文時代後期 平塚市教育委員会
- 209 クルミ 真田・北金目遺跡群(平塚市) 縄文時代後期 平塚市教育委員会
- 210-211 漆器(椀) 真田・北金目遺跡群(平塚市) 縄文時代後期 平塚市教育委員会
- 212 漆器(柄付容器) 真田・北金目遺跡群(平塚市) 縄文時代後期 平塚市教育委員会

- 213 土器底部(漆付着) 真田・北金目遺跡群(平塚市) 縄文時代後期 平塚市教育委員会
- 214-217 垂飾 真田・北金目遺跡群(平塚市) 縄文時代後期 平塚市教育委員会
- 218 垂飾(ヒト上顎小臼歯) 真田・北金目遺跡群(平塚市) 縄文時代後期 平塚市教育委員会
- 219 珧状耳飾 真田・北金目遺跡群(平塚市) 縄文時代 平塚市教育委員会
- 220 削器 真田・北金目遺跡群(平塚市) 縄文時代後期 平塚市教育委員会
- 221-225 筒形土偶 真田・北金目遺跡群(平塚市) 縄文時代後期 平塚市教育委員会
- 226 縄文土器 鉢(漆塗土器) 西富岡・向畑遺跡(伊勢原市) 縄文時代中期 神奈川県教育委員会
- 227 石斧柄 西富岡・向畑遺跡(伊勢原市) 縄文時代後期 神奈川県教育委員会
- 228-230 杭 西富岡・向畑遺跡(伊勢原市) 縄文時代後期 神奈川県教育委員会
- 231 枕木 古梅谷遺跡(横浜市) 縄文時代後期 横浜市歴史博物館
- 232 渡木 古梅谷遺跡(横浜市) 縄文時代後期 横浜市歴史博物館
- 233 縄文土器 深鉢 稲荷山貝塚(横浜市) 縄文時代後期 神奈川県教育委員会
- 234 アカニシ・シオブキ 稲荷山貝塚(横浜市) 縄文時代後期 神奈川県教育委員会
- 235 動物骨(クジラ類) 稲荷山貝塚(横浜市) 縄文時代後期 神奈川県教育委員会
- 236-247 動物骨(マイルカ科) 稲荷山貝塚(横浜市) 縄文時代後期 神奈川県教育委員会
- 248-252 動物骨(アシカ) 稲荷山貝塚(横浜市) 縄文時代後期 神奈川県教育委員会
- 253-257 組合式刺突具(鹿角製) 稲荷山貝塚(横浜市) 縄文時代後期 神奈川県教育委員会
- 258 有肩型銚頭(鹿角製) 稲荷山貝塚(横浜市) 縄文時代後期 神奈川県教育委員会
- 259-260 有肩型銚頭(鳥骨製) 称名寺D貝塚第3地点(横浜市) 縄文時代後期 公益財団法人横浜市ふるさと歴史財団 埋蔵文化財センター
- 261-262 有肩型銚頭(鹿角製) 称名寺D貝塚第3地点(横浜市) 縄文時代後期 公益財団法人横浜市ふるさと歴史財団 埋蔵文化財センター
- 263-264 有孔型銚頭(鹿角製) 称名寺D貝塚第3地点(横浜市) 縄文時代後期 公益財団法人横浜市ふるさと歴史財団 埋蔵文化財センター
- 265-266 単純型ヤス(鹿角製) 称名寺D貝塚第3地点(横浜市) 縄文時代後期 公益財団法人横浜市ふるさと歴史財団 埋蔵文化財センター
- 267 単純型ヤス(鹿骨製) 称名寺D貝塚第3地点(横浜市) 縄文時代後期 公益財団法人横浜市ふるさと歴史財団 埋蔵文化財センター
- 268-273 結合式ヤス(鹿角・鹿骨製) 称名寺D貝塚第3地点(横浜市) 縄文時代後期 公益財団法人横浜市ふるさと歴史財団 埋蔵文化財センター
- 274 有尾型ヤス(鹿角製) 称名寺D貝塚第3地点(横浜市) 縄文時代後期 公益財団法人横浜市ふるさと歴史財団 埋蔵文化財センター
- 275 鏃(骨製) 稲荷山貝塚(横浜市) 縄文時代後期 神奈川県教育委員会
- 276-279 鏃(鹿角製) 稲荷山貝塚(横浜市) 縄文時代後期 神奈川県教育委員会
- 280-281 鏃(エイ尾刺製) 稲荷山貝塚(横浜市) 縄文時代後期 神奈川県教育委員会
- 282-285 釣針(鹿角製) 稲荷山貝塚(横浜市) 縄文時代後期 神奈川県教育委員会
- 286-287 魚骨(マグロ) 稲荷山貝塚(横浜市) 縄文時代後期 神奈川県教育委員会
- 288-291 魚骨(カツオ) 稲荷山貝塚(横浜市) 縄文時代後期 神奈川県教育委員会
- 292-299 魚骨(スズキ) 稲荷山貝塚(横浜市) 縄文時代後期 神奈川県教育委員会
- 300-319 魚骨(マダイ) 稲荷山貝塚(横浜市) 縄文時代後期 神奈川県教育委員会
- 320-324 魚骨(ブリ) 稲荷山貝塚(横浜市) 縄文時代後期 神奈川県教育委員会
- 325-327 鹿角製品(用途不明) 稲荷山貝塚(横浜市) 縄文時代後期 神奈川県教育委員会
- 328 垂飾状鹿角製品 稲荷山貝塚(横浜市) 縄文時代後期 神奈川県教育委員会
- 329 棒状鹿角製品 稲荷山貝塚(横浜市) 縄文時代後期 神奈川県教育委員会
- 330-335 獣骨類 稲荷山貝塚(横浜市) 縄文時代後期 神奈川県教育委員会
- 336-342 獣骨(ニホンジカ) 稲荷山貝塚(横浜市) 縄文時代後期 神奈川県教育委員会
- 343-351 獣骨(イノシシ) 稲荷山貝塚(横浜市) 縄文時代後期 神奈川県教育委員会
- 352-355 獣骨(ニホンザル) 稲荷山貝塚(横浜市) 縄文時代後期 神奈川県教育委員会
- 356-359 獣骨(テン) 稲荷山貝塚(横浜市) 縄文時代後期 神奈川県教育委員会
- 360 獣骨(アナグマ) 稲荷山貝塚(横浜市) 縄文時代後期 神奈川県教育委員会
- 361-365 獣骨(カワウソ) 稲荷山貝塚(横浜市) 縄文時代後期 神奈川県教育委員会
- 366-371 獣骨(イタチ) 稲荷山貝塚(横浜市) 縄文時代後期 神奈川県教育委員会

- 372-376 獣骨(タヌキ) 稲荷山貝塚(横浜市) 縄文時代後期 神奈川県教育委員会
- 377 獣骨(キツネ) 稲荷山貝塚(横浜市) 縄文時代後期 神奈川県教育委員会
- 378-385 獣骨(ノウサギ) 稲荷山貝塚(横浜市) 縄文時代後期 神奈川県教育委員会
- 386-387 凹石 間口東洞穴遺跡(三浦市) 縄文時代後期 三浦市
- 388-391 台石 間口東洞穴遺跡(三浦市) 縄文時代後期 三浦市
- 392 管状垂飾(ヤドツガイ製) 間口東洞穴遺跡(三浦市) 縄文時代後期 三浦市
- 393-394 小玉垂飾(ベッコウイカ製) 間口東洞穴遺跡(三浦市) 縄文時代後期 三浦市
- 395 環状土製品 間口東洞穴遺跡(三浦市) 縄文時代後期 三浦市
- 396-398 貝刃 間口東洞穴遺跡(三浦市) 縄文時代後期 三浦市
- 399 鹿角製品 間口東洞穴遺跡(三浦市) 縄文時代後期 三浦市
- 400 縄文土器 深鉢 間口東洞穴遺跡(三浦市) 縄文時代後期初頭 三浦市
- 401-408 土器片錘 間口東洞穴遺跡(三浦市) 縄文時代後期 三浦市
- 409 貝層出土の貝(マツガイ) 間口東洞穴遺跡(三浦市) 縄文時代後期 三浦市
- 410 貝層出土の貝(レイガイ) 間口東洞穴遺跡(三浦市) 縄文時代後期 三浦市
- 411 貝層出土の貝(コシガソウガ) 間口東洞穴遺跡(三浦市) 縄文時代後期 三浦市
- 412 貝層出土の貝(ホニ) 間口東洞穴遺跡(三浦市) 縄文時代後期 三浦市
- 413 貝層出土の貝(カガイ) 間口東洞穴遺跡(三浦市) 縄文時代後期 三浦市
- 414 貝層出土の貝(サエ) 間口東洞穴遺跡(三浦市) 縄文時代後期 三浦市
- 415 貝層出土の貝(ワタミ) 間口東洞穴遺跡(三浦市) 縄文時代後期 三浦市
- 416 貝層出土の貝(バテイ) 間口東洞穴遺跡(三浦市) 縄文時代後期 三浦市
- 417 貝層出土の貝(イ) 間口東洞穴遺跡(三浦市) 縄文時代後期 三浦市
- 418 貝層出土の貝(マツガイ) 間口東洞穴遺跡(三浦市) 縄文時代後期 三浦市
- 419 縄文土器 深鉢(藻灰付着土器) 西ヶ原貝塚(東京都北区) 文時代後期 東京都北区教育委員会
- 420-423 製塩土器片 華蔵台遺跡(横浜市) 縄文時代後期 横浜市歴史博物館
- 424 縄文土器 深鉢 華蔵台遺跡(横浜市) 縄文時代後・晩期 公益財団法人横浜市ふるさと歴史財団 埋蔵文化財センター
- 425-426 縄文土器 深鉢 華蔵台遺跡(横浜市) 縄文時代晩期 横浜市歴史博物館
- 427 縄文土器 台付鉢 華蔵台遺跡(横浜市) 縄文時代晩期 横浜市歴史博物館
- 428-429 縄文土器 深鉢 華蔵台遺跡(横浜市) 縄文時代晩期 横浜市歴史博物館
- 430 縄文土器 台付鉢 下原遺跡(川崎市) 縄文時代晩期 川崎市教育委員会
- 431-432 縄文土器 深鉢 下原遺跡(川崎市) 縄文時代晩期 川崎市教育委員会
- 433 縄文土器 鉢 華蔵台遺跡(横浜市) 縄文時代晩期 公益財団法人横浜市ふるさと歴史財団 埋蔵文化財センター
- 434 縄文土器 深鉢 なすな原遺跡(町田市) 縄文時代晩期 町田市教育委員会
- 435 縄文土器 壺 華蔵台遺跡(横浜市) 縄文時代晩期 横浜市歴史博物館
- 436 縄文土器 鉢 下原遺跡(川崎市) 縄文時代晩期 川崎市教育委員会
- 437 香炉形土器 下原遺跡(川崎市) 縄文時代晩期 川崎市教育委員会
- 438 縄文土器 浅鉢 下原遺跡(川崎市) 縄文時代晩期 川崎市教育委員会
- 439-440 縄文土器 深鉢 なすな原遺跡(町田市) 縄文時代晩期 町田市教育委員会
- 441 装身具(翡翠製) 下原遺跡(川崎市) 縄文時代晩期 川崎市教育委員会
- 442-443 玉(翡翠製) 下原遺跡(川崎市) 縄文時代晩期 川崎市教育委員会
- 444 磨製石斧 下原遺跡(川崎市) 縄文時代晩期 川崎市教育委員会
- 445 垂飾(翡翠製) 上土棚南遺跡(綾瀬市) 縄文時代後期 綾瀬市
- 446-447 垂飾 上土棚南遺跡(綾瀬市) 縄文時代後期 綾瀬市
- 448 裝飾付勾玉 太岳院遺跡(秦野市) 縄文時代後期 秦野市教育委員会
- 449 岩版 子易・中川原遺跡/上粕屋・子易遺跡(伊勢原市) 縄文時代後期 神奈川県教育委員会
- 450 石棒 原口遺跡(平塚市) 縄文時代後期 神奈川県教育委員会
- 451 石棒 上土棚南遺跡(綾瀬市) 縄文時代後期 綾瀬市
- 452 石棒 称名寺D貝塚第3地点(横浜市) 縄文時代晩期 公益財団法人横浜市ふるさと歴史財団 埋蔵文化財センター
- 453 石剣 なすな原遺跡(町田市) 縄文時代晩期 町田市教育委員会

- 454 □石剣 下原遺跡(川崎市) 縄文時代晩期 川崎市教育委員会
- 455-474 石器 川尻石器時代遺跡(相模原市) 縄文時代晩期 相模原市教育委員会
- 475-485 土製品 川尻石器時代遺跡(相模原市) 縄文時代晩期 相模原市教育委員会
- 486-489 石製品 川尻石器時代遺跡(相模原市) 縄文時代晩期 相模原市教育委員会
- 490-491 □土錘 下原遺跡(川崎市) 縄文時代晩期 川崎市教育委員会
- 492-494 □石錘 下原遺跡(川崎市) 縄文時代晩期 川崎市教育委員会
- 495-496 異形石器 なすな原遺跡(町田市) 縄文時代晩期 町田市教育委員会
- 497-504 石鏃 なすな原遺跡(町田市) 縄文時代晩期 町田市教育委員会
- 505-544 石鏃 平沢同明遺跡9301地点(秦野市) 縄文時代晩期 秦野市教育委員会
- 545 土版 太岳院遺跡(秦野市) 縄文時代晩期 秦野市教育委員会
- 546 土版 平沢同明遺跡9301地点(秦野市) 縄文時代晩期 秦野市教育委員会

- 547 土版(複製品) 下原遺跡(川崎市) 縄文時代晩期 神奈川県立歴史博物館
- 548 動物形土製品 華蔵台遺跡(横浜市) 縄文時代晩期 横浜市歴史博物館
- 549-551 顔面付土器 太岳院遺跡(秦野市) 縄文時代晩期 秦野市教育委員会
- 552-554 土偶 平沢同明遺跡9301地点(秦野市) 縄文時代晩期 秦野市教育委員会
- 555-556 □土製耳飾 下原遺跡(川崎市) 縄文時代晩期 川崎市教育委員会
- 557-558 土製耳飾 華蔵台遺跡(横浜市) 縄文時代晩期 横浜市歴史博物館
- 559-560 土製耳飾 太岳院遺跡(秦野市) 縄文時代晩期 秦野市教育委員会
- 561-562 耳飾り表現のある土偶 太岳院遺跡(秦野市) 縄文時代晩期 秦野市教育委員会
- 563-581 土製耳飾 青山開戸遺跡(相模原市) 縄文時代晩期 神奈川県教育委員会
- 582-593 土製耳飾(複製品) なすな原遺跡(町田市) 縄文時代晩期 町田市教育委員会
- 594 ◎土製耳飾 下布田遺跡(調布市) 縄文時代晩期 江戸東京たてもの園

ウ パネル展示

(ア) かながわの近代建築

概要：神奈川県内には、現在も明治・大正・昭和戦前期に建てられた数多くの近代建築が残されている。これらの近代建築の多くは、横浜における開港場や居留地に由来する建築、湘南地域に幅広く分布する避暑・避寒のための別荘建築、海軍の軍都として発展した横須賀などに見られる軍事関連の建築、箱根を中心とした観光地に建てられた旅館やホテル建築、京浜工業地帯の一角を占める横浜・川崎の臨海部の工場建築という、五つの要素に大別してとらえることができる。これは神奈川県内の近代建築の特色を表現しているだけでなく、神奈川県内の近代の歩みを考える上で重要な要素でもある。本展示では、神奈川県内に現存する近代建築のうち、当館の建物である旧横浜正金銀行本店本館や「キングの塔」と通称される神奈川県庁本庁舎をはじめとする24棟の建物を取り上げ、その魅力を紹介した。

会 期：通年

会 場：1階 フリーゾーン 廊下

展示資料点数：25点(番外のマップを含む)

出品目録：(いずれも写真パネル)(凡例) No.、名称、所在地、竣工年月

番外 かながわの近代建築MAP(神奈川県内の近代建築のうち60棟を地図上に示し、各建物の写真と概要データを紹介したものの。)

- 1 旧横浜正金銀行本店本館(神奈川県立歴史博物館) 横浜市中区南仲通 1904年(明治37)7月
- 2 神奈川県庁舎(神奈川県庁本庁舎) 横浜市中区日本大通 1928年(昭和3)10月
- 3 旧新港埠頭煉瓦二号倉庫(横浜赤レンガ倉庫2号館) 横浜市中区新港 1911年(明治44)5月

- 4 旧三井物産横浜支店(三井物産横浜ビル) 横浜市中区日本大通1号ビルー1911年(明治44)8月、2号ビルー1927年(昭和2)
- 5 旧開港記念横浜会館(横浜市開港記念会館) 横浜市中区本町 1917年(大正6)6月
- 6 旧川崎銀行横浜支店(日本興亜馬車道ビル) 横浜市中区弁天通 1922年(大正11)
- 7 旧生糸検査所(横浜第2合同庁舎) 横浜市中区北仲通 1926年(大正15)2月
- 8 ホテルニューグランド本館 横浜市中区山下町 1927年(昭和2)11月

- | | |
|---|--|
| <p>9 旧横浜商工奨励館(横浜情報文化センター) 横浜市中区日本大通 1929年(昭和4)4月</p> <p>10 旧三井銀行横浜支店(三井住友銀行横浜支店) 横浜市中本町 1931年(昭和6)3月</p> <p>11 旧横浜英国総領事館(横浜開港資料館旧館) 横浜市中区日本大通 1931年(昭和6)</p> <p>12 横浜税関本関庁舎 横浜市中区海岸通 1934年(昭和9)3月</p> <p>13 横浜郵船ビル(日本郵船歴史博物館) 横浜市中区海岸通 1936年(昭和11)10月</p> <p>14 旧内田家住宅(外交官の家) 横浜市中区山手町 1910年(明治43)</p> <p>15 旧英国総領事公邸(横浜市イギリス館) 横浜市中区山手町 1937年(昭和12)</p> <p>16 旧大倉精神文化研究所(横浜山大倉山記念館) 横浜市港北区大倉山 1932年(昭和7)4月</p> | <p>17 福住旅館金泉楼・萬翠楼 足柄下郡箱根町湯本 1877年(明治10)・1878年(明治11)</p> <p>18 富士屋ホテル本館 足柄下郡箱根町宮ノ下 1891年(明治24)</p> <p>19 旧日本爆発物製造株式会社支配人執務室(旧海軍火薬廠将校クラブ、旧横浜ゴム平塚製造所記念館) 平塚市浅間町 1912年(明治45)頃</p> <p>20 旧木下邸 中郡大磯町大磯 明治時代末期</p> <p>21 旧近藤邸 藤沢市鶴沼東(同市内より移築) 1925年(大正14)</p> <p>22 旧華頂家住宅主屋(旧華頂宮邸) 鎌倉市浄明寺 1929年(昭和4)</p> <p>23 旧藤沢ゴルフ倶楽部クラブハウス(神奈川県立体育センター食堂) 藤沢市善行 1932年(昭和7)</p> <p>24 旧前田家別邸(鎌倉文学館本館) 鎌倉市長谷 1936年(昭和11)8月</p> |
|---|--|

エ 「馬車道を描く日曜画家展作品」展示

(ア) 「馬車道を描く日曜画家展 歴代金賞作品展」

概要：昭和55年度から始められた「馬車道を描く日曜画家展」の歴代金賞受賞作品を、会議室に展示した。なお、第43回(令和4年度)において、主任学芸員 角田 拓朗が審査員の一人として協力した。

会 期：12月9日(金) ～ 12月15日(木)

会 場：1階 会議室

主 催：馬車道商店街協同組合、神奈川県立歴史博物館

展 示 点 数：合計41点(第2回(昭和56年度)～第42回(令和3年度)の金賞作品)

(4) 教育普及・学習支援事業

広く県民の学習ニーズに応えるべく学習の機会を提供し、博物館で行う講座・講演会や各種行事などへの参加を通して、神奈川の歴史・文化や文化財についての知識・関心を深めることを目的として実施した。なお、講座等の催し物は定員を減らし受講者の間隔をあけて密にならないよう座席位置を工夫するなど新型コロナウイルス感染防止対策に万全を期して運営した。

ア 県立社会教育施設公開講座

生涯学習課主管の有料の連続講座(各回1,000円、全回申込者を優先するが、定員に達しない場合は各回単独受講可能)

県博セミナー「永福寺から文化と権力を考える」

(定員50名 応募者108名〈単回を含む事前申込者〉、13:30～15:30)

概要：特別展「源頼朝が愛した幻の大寺院 永福寺と鎌倉御家人一荘厳される鎌倉幕府とそのひろがり」に関する重要テーマについて、専門の研究者が講演した。

会 場：地下講堂

・第1回 10月23日(日) (受講者36名)

「平泉藤原氏の文化と権力」岩手大学平泉文化研究センター客員教授 八重樫 忠郎 氏

・第2回 10月30日(日) (受講者38名)

「鎌倉幕府の仏教と永福寺」大阪大学名誉教授 平 雅行 氏

・第3回 11月6日(日) 13:30～15:30 (受講者34名)

「永福寺瓦と鎌倉御家人」鎌倉市職員 小林 康幸 氏

・第4回 11月13日(日) (受講者34名)

「永福寺と運慶」鎌倉国宝館長、半蔵門ミュージアム館長 山本 勉 氏

・第5回 11月20日(日) (受講者26名)

「鎌倉幕府の音楽と御家人本拠の荘厳」学芸員 渡邊 浩貴

※担当(普及担当) : 学芸員 渡邊 浩貴 (非常勤学芸員 市野 悦子)

イ 特別展等関連行事(特別展等のテーマに沿った内容の講演会等の実施)

(ア) 特別展「洞窟遺跡を掘る ―海蝕洞窟の考古学―」

a オンライントーク (YouTube 配信、無料)

(a) 「間口洞窟遺跡の発掘調査」

公開日 : 前編 5月6日(日) (令和5年3月31日時点の再生回数1,238回)

後編 12月13日(火) (令和5年3月31日時点の再生回数166回)

概要 : 当館が1971年から73年にかけて実施した三浦市間口洞窟遺跡の発掘調査とその成果について、当時発掘に参加した学芸員とともに現地の様子を交えて紹介した。

講師 : 元当館学芸部長 川口 徳治朗 氏

主任学芸員 千葉 毅

※普及担当 : 非常勤学芸員 豊田 倫子

(b) 「三浦半島の海蝕洞窟遺跡 最新の発掘速報」

公開日 : 5月20日(金) (令和5年3月31日時点の再生回数5,550回)

概要 : 大正時代以来続く三浦半島洞窟遺跡の研究史を引き継ぎ、今日行われている白石洞窟遺跡の発掘調査とその成果を紹介した。

講師 : 東京大学大学院総合文化研究科特任研究員・白石洞穴学術調査団団長 杉山 浩平 氏

主任学芸員 千葉 毅

※普及担当 : 非常勤学芸員 市野 悦子

(c) 「幻の貝、オオツタノハの謎と魅力を語る！」

公開日 : 6月10日(金) (令和5年3月31日時点の再生回数1,270回)

概要 : 先史時代に装飾品の素材として多用された貝、オオツタノハについて、20年以上追いつけている研究者が謎と魅力を語った。

講師 : 市原市教育委員会ふるさと文化課主幹 忍澤 成視 氏

主任学芸員 千葉 毅

※普及担当 : 非常勤学芸員 豊田 倫子

b オンライン現地ツアー (YouTube 配信、無料)

「三浦半島の洞窟遺跡をめぐる」

公開日 : vol.1 5月13日(金) (令和5年3月31日時点の再生回数1,959回)

vol.2 12月21日(水) (令和5年3月31日時点の再生回数402回)

vol.3 12月21日(水) (令和5年3月31日時点の再生回数350回)

概要 : 当館が1971年から73年にかけて実施した三浦市間口洞窟遺跡の発掘調査とその成果について、当時発掘に参加した学芸員とともに現地の様子を交えて紹介した。

講師 : 元当館学芸部長 川口 徳治朗 氏

赤星直忠博士文化財資料館館長 釘持 輝久 氏

主任学芸員 千葉 毅

※普及担当 : 非常勤学芸員 市野 悦子

c オンラインギャラリートーク (YouTube 配信、無料)

公開日 : 6月3日(金) (令和5年3月31日時点の再生回数1,248回)

※当初5月27日(金)に前編、上記日程で後編を配信予定だったが、前後編を繋げ1編にて配信した。

概要 : 展覧会のみどころを三浦半島の洞窟遺跡に詳しい研究者と共に紹介した。

講師 : 横浜ユーラシア文化館主任学芸員 高橋 健 氏

※普及担当 : 非常勤学芸員 市野 悦子

- (イ) 特別展「地図最前線—紙の地図からデジタルマップへ—」
- a 記念講演会
「近代日本における鳥瞰図の系譜」 (無料、ただし特別展観覧券が必要)
開催日：8月20日(土)13:30~15:30 (定員50名 応募者106名 受講者41名)
概要：近代日本の鳥瞰図について、歴史地理学の研究者がその特徴と系譜について解説した。
講師：筑波大学教授 中西 僚太郎 氏
※担当 (普及担当)：学芸員 武田 周一郎 (非常勤学芸員 豊田 倫子)
- b 連続講座
- (a) 「地図を使った人たち」
(全2回、無料、ただし初回受講日のみ特別展観覧券が必要、13:30~15:30)
(定員50名 応募者58名 (単回含む事前申込者))
概要：特別展前期の展示内容に関連し、第1回は近現代史の観点から地図利用の諸相について、第2回は企業実務者の立場から地図を愛用した岸敬二郎 (電気技術者・水力発電開発) の動向について解説した。
・第1回 7月24日(日) (受講者38名)
「“Homo mapiens” 略史」学芸員 武田 周一郎
・第2回 7月31日(日) (受講者33名)
「芝浦製作所 岸敬二郎と水力発電水源調査」東芝産業機器システム株式会社顧問 揖斐 洋一 氏
※担当 (普及担当)：学芸員 武田 周一郎 (非常勤学芸員 豊田 倫子)
- (b) 「地図を作った人たち」
(全2回、無料、ただし初回受講日のみ特別展観覧券が必要、13:30~15:30)
(定員50名 応募者92名 (単回含む事前申込者))
概要：特別展後期の展示内容に関連し、美術史・近現代史の両観点から横浜における地図作成の動向を解説した。
・第1回 9月3日(土) (受講者43名)
「地図と美術—吉田初三郎を中心に—」府中市美術館学芸員 大澤 真理子 氏
・第2回 9月10日(土) (受講者33名)
「民間で作られた横浜の都市地図とその系譜」横浜都市発展記念館主任調査研究員 岡田 直 氏
※担当 (普及担当)：学芸員 武田 周一郎 (非常勤学芸員 市野 悦子)
- c 子ども向け講座
- (a) 「私は地球のどこにいるの?—経度・緯度・高さの話—」 (無料)
開催日：7月27日(水) 13:30~14:30 (定員15名 応募者10名 受講者8名)
概要：国土地理院の職員から、地球の位置を決める基準・測量の技術について解説。ウェブ地図「地理院地図」の活用方法も実演した。
講師：国土交通省国土地理院測地部計画課 課長補佐 平岡 喜文 氏
※担当 (普及担当)：学芸員 武田 周一郎 (非常勤学芸員 市野 悦子)
- (b) 「地球観測衛星の役割—地図・防災・環境保全」 (無料)
開催日：8月5日(金) 13:30~14:30 (定員15名 応募者19名 受講者10名)
概要：特別展出品資料の人工衛星「だいち 模型」を中心に、地球観測衛星の役割について解説した。
講師：宇宙航空研究開発機構 第一宇宙技術部門地球観測研究センター主任研究開発員 大木 真人 氏
※担当 (普及担当)：学芸員 武田 周一郎 (非常勤学芸員 豊田 倫子)
- d 大人向けワークショップ
「デジタル鳥瞰図を作る」 (無料、ただし特別展観覧券が必要)
開催日：7月30日(土) 13:00~16:00 (定員10名 応募者28名 受講者9名)

概要：自分のパソコンを使って地形を調べる方法を実習。衛星画像や標高データを利用してデジタル鳥瞰図を作成した。

講師：生命の星・地球博物館 主任学芸員 新井田 秀一

※担当（普及担当）：学芸員 武田 周一郎（非常勤学芸員 市野 悦子）

e 現地見学会（無料）

「横浜・関内を歩く」

開催日：9月22日（木）14:00～16:00（定員15名 応募者116名 受講者13名）

概要：幕末から明治期の関内・山手地区における外国人居留地に関する施設やその跡地等について、当時の地図に基づいて現地で解説した。

講師：横浜開港資料館 調査研究員 吉崎 雅規 氏

※担当（普及担当）：学芸員 武田 周一郎（非常勤学芸員 市野 悦子）

f 展示解説動画（YouTube 配信、無料）

(a) 前期

公開日：8月3日（水）（令和5年3月31日時点の再生回数1,593回）

概要：特別展「地図最前線」の前期のみどころを紹介した。

講師：学芸員 武田 周一郎

※普及担当：主査 岡田 和子

(b) 後期

公開日：8月24日（水）（令和5年3月31日時点の再生回数1,103回）

概要：特別展「地図最前線」の後期のみどころを紹介した。

講師：学芸員 武田 周一郎

※普及担当：主査 岡田 和子

(ウ) 特別展「源頼朝が愛した幻の大寺院 永福寺と鎌倉御家人一荘厳される鎌倉幕府とそのひろがり」

a 講演会（無料、ただし特別展観覧券が必要）

「鼎談！黎明期の鎌倉研究を語りつくす」

開催日：10月16日（日）13:30～16:00（定員40名 応募者125名 受講者30名）

概要：戦前から続く在野研究者による鎌倉研究の歩みについて鼎談形式で論じた。

講師：国寶史蹟研究会会長 八幡 義信 氏

一般社団法人鎌倉・中世文化研究センター 馬淵 和雄 氏

日本女子大学教授 古川 元也 氏

（司会：学芸員 渡邊 浩貴）

※普及担当：非常勤学芸員 市野 悦子

b 体験講座（無料、ただし特別展観覧券が必要）

(a) 「永福寺の復元研究とVR体験」

開催日：10月22日（土）13:30～15:30（定員40名 応募者43名 受講者31名）

概要：永福寺VR制作の研究者から復元研究のあらましや調査について紹介した。実際に永福寺VRの体験も実施した。

講師：湘南工科大学教授 長澤 可也 氏

※担当（普及担当）：学芸員 渡邊 浩貴（非常勤学芸員 大柳 麻美）

(b) 「中世考古学入門—瓦と武士本拠の世界」

開催日：11月27日（日）13:30～15:30（定員30名 応募者69名 受講者22名）

概要：中世瓦の楽しみ方、研究の方法を伊豆国北条氏の研究者が紹介。瓦資料の拓本を行い、文様や構造を観察した。

講師：伊豆の国市教育委員会文化財課 池谷 初恵 氏

※担当（普及担当）：学芸員 渡邊 浩貴（非常勤学芸員 豊田 倫子）

c 現地見学会（無料）

「永福寺とゆかりの地を訪ねる」

開催日：11月9日（水）13:30～16:00（定員15名 応募者124名 受講者13名）

概要：永福寺の発掘を担当した研究者の解説のもと永福寺跡を見学し、その後当館学芸員の解説で勝長寿院跡、大倉幕府跡等を見学した。

講師：鎌倉市教育委員会文化財部文化財課 福田 誠 氏
学芸員 渡邊 浩貴

※普及担当：非常勤学芸員 豊田 倫子

d 展示解説動画（YouTube 配信、無料）

(a) 永福寺と瓦

公開日：11月8日（火）（令和5年3月31日時点の再生回数1,343回）

概要：永福寺と瓦に焦点を当てて展覧会のみどころを紹介した。

講師：学芸員 渡邊 浩貴

※普及担当：主査 岡田 和子

(b) 運慶と音楽受容

公開日：11月25日（金）（令和5年3月31日時点の再生回数737回）

概要：運慶と音楽受容に焦点を当てて展覧会のみどころを紹介した。

講師：学芸員 渡邊 浩貴

※普及担当：主査 岡田 和子

(イ) 令和4年度 かながわの遺跡展「縄文人の環境適応」

a 特別講演（無料、ただし常設展の観覧券が必要）

(a) 「気候変動と縄文集落の変遷」

開催日：令和5年1月8日（日）14:00～16:00（定員50名 応募者178名 受講者38名）

概要：全3回の講座の内1回目。

講師：元日本大学教授 鈴木 保彦 氏

(b) 「縄文人の狩猟・漁労と環境適応」

開催日：令和5年1月15日（日）14:00～16:00（定員50名 応募者287名 受講者40名）

概要：全3回の講座の内2回目。

講師：早稲田大学非常勤講師 樋泉 岳二 氏

(ウ) 特別陳列「松平造酒助江戸在勤日記—武士の絵日記—」

a 記念講演会（無料、ただし常設展観覧券が必要）

「松平造酒助江戸在勤日記の魅力」

開催日：令和5年3月19日（日）14:00～15:30（定員50名 応募者141名 受講者39名）

概要：「松平造酒助江戸在勤日記」の解説・翻刻、研究に長年携わった元当館学芸員が、日記の特徴や魅力について講演した。

講師：元当館学芸員 古宮 雅明 氏

※担当（普及担当）：非常勤学芸員 根本 佐智子（非常勤学芸員 市野 悦子）

b 連続古文書講座

「松平造酒助江戸在勤日記を読む」

（全3回、無料、ただし初回受講日のみ常設展観覧券が必要、14:00～15:30）

（定員50名 応募者133名（単回含む事前申込者））

概要：「松平造酒助在勤日記」の原文を解説しながら江戸までの道中や江戸での生活を紹介する。原文を読み解くことで古文書の面白さ、博物館資料としての魅力を伝え、親しむ機会とする。

・第1回 令和5年2月26日（日）（受講者43名）

- 「造酒助江戸にやってくる」学芸員 寺西 明子
- ・第2回 令和5年3月5日（日）（受講者41名）
「造酒助の在勤生活」 非常勤学芸員 根本 佐智子
 - ・第3回 令和5年3月12日（日）（受講者40名）
「造酒助江戸を満喫」 非常勤学芸員 根本 佐智子
- ※担当（普及担当）：非常勤学芸員 豊田 倫子

c 関連動画（YouTube 配信、無料）

- (a) 展示紹介動画
公開日：令和5年2月9日（木）（令和5年3月31日時点の再生回数1,010回）
概要：特別陳列開催前に特別陳列の内容を紹介。
- (b) みきのすけ西瓜を割る
公開日：令和5年2月16日（木）（令和5年3月31日時点の再生回数545回）
概要：特別陳列で展示された日記の中でも松平造酒助が橋で西瓜を割った日の記載について紹介。
- (c) みきのすけの通勤経路を見る
公開日：令和5年2月16日（木）（令和5年3月31日時点の再生回数880回）
概要：松平造酒助の通勤経路がどのようなものだったのか、現在の神田～大手町周辺の状況を合わせて紹介。
- (d) みきのすけと西洋銃
公開日：令和5年3月1日（水）（令和5年3月31日時点の再生回数482回）
概要：松平造酒助が強い関心を持っていた西洋銃に焦点を当てて紹介。
- (e) みきのすけと輸送経路
公開日：令和5年3月1日（水）（令和5年3月31日時点の再生回数508回）
概要：庄内藩→江戸をどのような経路で書簡や物をやりとりしていたかに焦点を当てて紹介
- (f) 展示解説
公開日：令和5年3月10日（金）（令和5年3月31日時点の再生回数746回）
概要：特別陳列のみどころを担当学芸員が紹介。
- (g) みきのすけのお宅拝見
公開日：令和5年3月17日（金）（令和5年3月31日時点の再生回数343回）
概要：松平造酒助が住んでいた屋敷に焦点を当てて紹介。

※普及担当：主査 岡田 和子

ウ 学芸員による展示解説

特別展・遺跡展・特別陳列の担当職員による展示解説。

展覧会名	開催日	時間	会場	解説者	受講者 (名)
コレクション展 「帰源院文書からみた戦国時代—小田原北条氏と鎌倉—」	4月3日（日）	13:30 ～	講堂	学芸員 梯 弘人	17
	4月9日（土）	14:00			35
小計					52
特別展「洞窟遺跡を掘る—海蝕洞窟の考古学—」	4月30日（土）	13:30 ～ 14:00	講堂	主任学芸員 千葉 毅	40
	5月14日（土）				16
	5月28日（土）				37
	6月11日（土）				41
	6月25日（土）				44
小計					178

特別展「地図最前線 一紙の地図からデジ タルマップへ」	7月23日(土)	13:30 ～ 14:00	講堂	学芸員 武田 周一郎	35			
	8月7日(日)				21			
	8月28日(土)				35			
	9月18日(日)				26			
小計					117			
特別展「源頼朝が愛 した幻の大寺院 永 福寺と鎌倉御家人一 荘厳される鎌倉幕府 とそのひろがり」	10月15日(土)	13:30 ～ 14:00	講堂	学芸員 渡邊 浩貴	46			
	10月29日(土)				34			
	11月19日(土)				40			
	11月26日(土)				25			
	12月3日(土)				50			
小計					195			
令和4年度かながわ の遺跡展「縄文人の 環境適応」	1月7日(土)	11:00～ 11:45	講堂	文化遺産課 主事 児玉 優	31			
		14:00～ 14:45			22			
	1月14日(土)	11:00～ 11:45			28			
		14:00～ 14:45			15			
	1月28日(土)	11:00～ 11:45			文化遺産課 副主幹 加藤 勝仁	25		
		14:00～ 14:45				42		
	小計					163		
	特別陳列「松平造酒 助江戸在勤日記―武 士の絵日記―」	2月18日(土)			13:30 ～ 14:00	講堂	非常勤学芸員 根本 佐智子	23
3月4日(土)		29						
3月26日(日)		21						
小計					73			
合計					778			

エ ミュージアムトーク「今月の逸品」

常設展展示資料より毎月逸品をピックアップし、展示室内で学芸員が解説を行うもの。

※新型コロナウイルス感染防止対策のため、展示室内での開催に替えてウェブサイトのみでの展開とし、詳しい解説を掲載した。

開催月	逸品テーマ	解説者
4月	横浜居留地模型	嶋村 元宏
5月	青木文庫	角田 拓朗
6月	上小田中村文書 稲毛川崎二箇領用水組井筋村高反別調帳	根本 佐智子
7月	北条氏規と「茶の湯」文化	梯 弘人
8月	長吉筆 布袋図	橋本 遼太
9月	銅造観音菩薩立像	神野 祐太
10月	風俗三十二相	山口 希
11月	山水花鳥人物図カップ&ソーサー	鈴木 愛乃
12月	多摩川の川狩―武蔵国橋樹郡長尾村鈴木家資料	寺西 明子
1月	八幡義生の中世鎌倉コレクション	渡邊 浩貴
2月	稲荷講	三浦 麻緒
3月	かながわの上巳の節句	新井 裕美

オ その他の行事

- (ア) 「旧横浜正金銀行本店本館 建物見学会」(無料、ただし常設展観覧券が必要、定員各 15 名)
国の重要文化財である旧館部分について、学芸員が案内・解説する。

- ・開催日：6月4日(土) ①10:30~12:00 (応募者 15 名 受講者 10 名)
②14:00~15:30 (応募者 18 名 受講者 11 名)
- ・開催日：9月23日(金・祝) ①10:30~12:00 (応募者 15 名 受講者 11 名)
②14:00~15:30 (応募者 15 名 受講者 13 名)
- ・開催日：12月14日(水) ①10:30~12:00 (応募者 23 名 受講者 13 名)
②14:00~15:30 (応募者 28 名 受講者 11 名)
- ・開催日：3月10日(金) ①10:30~12:00 (応募者 27 名 受講者 15 名)
②14:00~15:30 (応募者 43 名 受講者 18 名)

講師：学芸部長 丹治 雄一

※普及担当：非常勤学芸員 市野 悦子／大柳 麻美／豊田 倫子

- (イ) 博物館入門講座(無料、ただし常設展観覧券が必要、各回定員 30 名、13:30~16:00)
受講者の博物館利用がより豊かなものになることを目指し、当館の様々な活動や学芸員の仕事について、講義・見学・体験を交えて紹介する。なお、ボランティアに参加希望者には本講座の受講を勧めており、講座終了後に令和 5 年度から活動する博物館ボランティアの募集説明会を行った。

- ・第 1 回 10月1日(土) (応募者 17 名 参加者 14 名)
館内見学と講義「学芸員の目と技 作品解説に挑戦！」学芸員 橋本 遼太
- ・第 2 回 10月8日(土) (応募者 21 名 参加者 14 名)
館内見学と講義「学芸員の目と技 神奈川県鳥瞰図を読む」学芸員 武田 周一郎

※担当：非常勤学芸員 豊田 倫子

- (ウ) ミュージアムコンサート(無料、ただし常設展観覧券が必要)

「クラシック・ヨコハマ 2022 ミュージアムコンサート in 神奈川県立歴史博物館」

(無料、ただし常設展観覧券が必要)

日時：12月18日(日) 14:00~14:45 (定員 50 名 応募者 101 名 参加者 37 名)

演奏者：石川 未央 氏、岡 祐佳里 氏、多湖 桃子 氏、大江 慧 氏

(ミュージック・マスターズ・コース・ジャパン修了生)

概要：「クラシック・ヨコハマ 2022」(クラシック・ヨコハマ推進委員会、毎日新聞社、横浜市主催)の一環として、室内楽(弦楽四重奏)を実施。

※担当：非常勤学芸員 大柳 麻美

- (エ) 講演会

- a 「世界を伝えた『オランダ別段風説書』—幕末期海外情報史研究—」

概要：日本の開国に多大な影響を及ぼした『オランダ別段風説書』について、史料をもとにわかりやすく説明した。

開催日：6月12日(日) 13:30~15:30 (定員 50 名 応募者 50 名 受講者 40 名)

講師：主任学芸員 嶋村 元宏

※担当：非常勤学芸員 豊田 倫子

- b 「描かれた開国を語る」

概要：ペリー来航当時の状況を示すとされてきた『ペリー提督日本遠征記』の石版画画像について、脚色も含まれることが確認された研究を元に、ペリー艦隊の訪れた中国や琉球との比較を行いながら久里浜・浦賀の風景画や人物図の解説を行った。

開催日：12月17日(土) 13:30~15:30 (定員 50 名 応募者 42 名 受講者 29 名)

講師：主任学芸員 嶋村 元宏

※担当：非常勤学芸員 市野 悦子

- (オ) 館長トーク 多摩川をさぐる（無料、ただし常設展観覧券が必要、定員各回 50 名、14:00～15:30）
概要：神奈川県内のさまざまな歴史について館長が解説し、地域の歴史に親しむ講座。今年度は多摩川の下流域を中心に 4 回のシリーズとして流域の歴史を紹介した。

講師：館長 望月 一樹

・第 1 回 6 月 23 日（木）（応募者 47 名、受講者 41 名）

「多摩川下流域の展望」

・第 2 回 11 月 24 日（木）（応募者 28 名、受講者 24 名）

「多摩川下流域の治水」

・第 3 回 1 月 12 日（木）（応募者 45 名、受講者 33 名）

「多摩川下流域の利水」

・第 4 回 2 月 9 日（土）（応募者 59 名、受講者 48 名）

「多摩川下流域の交通」

※普及担当：非常勤学芸員 市野 悦子／大柳 麻美

- (カ) 現地見学会（無料）

- a 「真鶴の地形・地質と石材関連遺産を巡る」

概要：箱根火山外輪山の火山活動で噴出した溶岩で形成された真鶴町域の地形と地質について、学芸員の解説で巡りながら石造物や石材業の歴史を物語る遺産を見学した。

開催日：5 月 21 日（土）10:00～15:30（定員 15 名 応募者 24 名 受講者 12 名）

講師：生命の星・地球博物館情報資料課長 山下 浩之

学芸部長 丹治 雄一

※雨天につき、当日の予定を 13:00 に短縮して実施した。

※担当：非常勤学芸員 豊田 倫子

- b 「横須賀の地形・地質と石材関連遺産を巡る～観音崎・浦賀エリア～」

概要：横須賀市の観音崎・浦賀エリアに所在する地形・地質の観察スポットと近代化遺産などを学芸員の解説で巡り、大地の歴史と人々の活動を関連付けて理解する講座。

開催日：10 月 26 日（水）10:00～15:30（定員 15 名 応募者 34 名 受講者 13 名）

講師：生命の星・地球博物館情報資料課長 山下 浩之

生命の星・地球博物館主任学芸員 田口 公則

学芸部長 丹治 雄一

※担当：非常勤学芸員 市野 悦子

カ 子ども・青少年向け教育普及事業

- (ア) ミュージアム・ミッション 2022

2003 年からはじまった地域連携イベントが元になっており、みなとみらい・関内・山手地区にある博物館を巡っていく、夏休みの子どもの向け事業。クイズ等の課題(ミッション)をクリアしながら現地を巡ることで、博物館に親しむ機会を創出することをねらいとしたもの。令和 3 年度に引き続き、新型コロナ対策のため特設サイトを開設し参加館 12 館に関するクイズを WEB 上で出題する形式を踏襲しつつ、現地ではおまけシールを集めるラリーを実施した。

開催期間：7 月 21 日（木）～8 月 31 日（水）

開催期間中の閲覧数：4,003 回

開催期間中の実来館数：延べ 1,330 名

開催館園：(12 館) 大佛次郎記念館、県立神奈川近代文学館、JICA 横浜 海外移住資料館、シルク博物館、ニュースパーク(日本新聞博物館)、野毛山動物園、放送ライブラリー、三菱みなとみらい技術館、横浜都市発展記念館、横浜ユーラシア文化館、横浜人形の家、当館

※担当：非常勤学芸員 市野 悦子

- (イ) おうちでかながわけんぱく

新型コロナウイルス感染症の影響による休校等でおうち時間が増えた子どもたちが楽しめるよう、令和 2 年 4 月下旬にホームページ上に新たに開設した子ども向け WEB コンテンツ。当初は子どもを対象としていたが、大人も楽しめるようなコンテンツも作成し、実際の展示の内容とも関連するコンテン

ツも作成する等、WEB だけで楽しむのではなく、来館にもつながるような内容になるよう工夫している。

閲覧数：30,436回

- (ウ) 高校生向け連続講座（無料、ただし常設展観覧券が必要、定員各回8名、13:30～16:00）

「浮世絵に親しむ」

開催日：第1回 8月18日（木）（応募者5名 受講者7名）

第2回 8月19日（金）（応募者5名 受講者6名）

概要：浮世絵に関心を持った高校生に向け、横浜浮世絵を展示室で鑑賞する他、歴史や作り方などに着目し、浮世絵をより深く知る機会とした。

講師：企画普及課長 桑山 童奈

※普及担当：非常勤学芸員 大柳 麻美

- (エ) 学んでたのしむ博物館（自由参加、子ども向け）

内容：展示資料に関するワークシートを配布。参加者には記念品を配布。

開催期間：3月16日（木）～31日（金）実施日数12日間（新型コロナウイルス感染防止のため令和元年3月4日から令和5年3月15日まで休止、無料観覧日は除く）

参加者：135名

※普及担当：非常勤学芸員 豊田 倫子

キ 学校連携事業の状況

- (ア) 小・中・高等学校及び特別支援学校等の利用状況

	県 内											
	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校・学級		その他		県内合計	
	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数
4月	2	103	2	88	8	223	0	0	0	0	12	414
5月	0	0	34	1,345	5	78	1	4	0	0	40	1,427
6月	4	296	25	1,174	3	55	0	0	1	1	33	1,526
7月	3	205	2	80	1	5	0	0	2	30	8	320
8月	1	95	2	12	2	5	0	0	0	0	5	112
9月	5	365	6	299	1	14	1	2	0	0	13	680
10月	1	33	2	16	2	205	2	6	0	0	7	260
11月	7	584	13	760	4	59	1	4	2	4	27	1,411
12月	7	446	8	425	0	0	1	7	0	0	16	878
1月	3	211	12	712	0	0	0	0	0	0	15	923
2月	7	400	4	81	1	22	4	37	1	8	17	548
3月	0	0	2	117	1	2	0	0	0	0	3	119
合計	40	2,738	112	5,109	28	668	10	60	6	43	196	8,618

	県 外											
	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校・学級		その他		県外合計	
	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数
4月	0	0	3	53	11	265	0	0	0	0	14	318
5月	0	0	13	514	13	322	0	0	0	0	26	836
6月	1	71	5	83	9	248	0	0	0	0	15	402
7月	0	0	2	49	1	6	0	0	0	0	3	55
8月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9月	0	0	6	248	2	43	0	0	0	0	8	291
10月	2	142	6	80	8	333	0	0	0	0	16	555
11月	4	199	14	288	7	84	0	0	0	0	25	571
12月	0	0	11	264	6	25	1	7	0	0	18	296
1月	0	0	9	377	1	3	0	0	0	0	10	380
2月	3	204	20	625	1	3	2	8	0	0	26	840
3月	1	24	12	364	0	0	0	0	0	0	13	388
合計	11	640	101	2,945	59	1,332	3	15	0	0	174	4,932

	令和4年度総計		令和3年度総計		令和2年度総計		平成31(令和元)年度総計		平成30年度総計	
	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数
4月	26	732	16	535	休館		32	1,291	0	0
5月	66	2,263	10	567	休館		63	1,536	93	2,233
6月	48	1,928	12	702	0	0	37	1,096	31	867
7月	11	375	8	339	1	2	14	361	11	53
8月	5	112	1	21	0	0	51	594	10	54
9月	21	971	0	0	6	199	17	366	19	378
10月	23	815	12	411	9	288	16	491	19	775
11月	52	1,982	49	2018	17	708	58	3,006	42	2,568
12月	34	1,174	36	1999	7	372	18	490	15	603
1月	25	1,303	7	250	0	0	33	1,159	25	1,016
2月	43	1,388	6	100	休館		14	262	30	1,495
3月	16	507	54	2177	7	142	0	0	6	222
合計	370	13,550	211	9119	47	1,711	353	10,652	301	10,264

来館児童・生徒の県内外の内訳

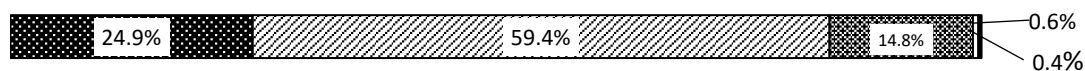
■ 県内 □ 県外



総数 13,550名

来館児童・生徒の校種別内訳

■ 小学校 ■ 中学校 ■ 高等学校 □ 特別支援学校 ■ その他



総数 13,550名

(イ) 当館の利用目的 (単位：校数)

	利用目的	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校・学級
県内	教科学習(社会科等)	25(67%)	3(5%)	3(23%)	0(0%)
	総合的な学習の時間	0(0%)	16(24%)	2(15%)	3(50%)
	学校・学年行事(遠足等)	11(30%)	45(69%)	6(47%)	2(33%)
	その他(部活動等)	1(3%)	1(2%)	2(15%)	1(17%)
	合計	37	65	13	6
県外	教科学習(社会科等)	0(0%)	5(10%)	0(0%)	1(25%)
	総合的な学習の時間	0(0%)	6(12%)	2(13%)	0(0%)
	学校・学年行事(遠足等)	9(100%)	40(78%)	13(81%)	3(75%)
	その他(部活動等)	0(0%)	0(0%)	1(6%)	0(0%)
	合計	9	51	16	4

※事前連絡校による統計

※義務教育学校、中等教育学校は課程により分類

(ウ) 学校の博物館利用の状況 (単位：校数)

校種	事前準備			博物館活用			利用形態			付帯施設利用		
	FAX連絡校	電話連絡校	下見来館校	ボランティア解説	ワークシート活用	特別依頼	全員一斉	グループ	その他	駐車場	講堂・会議室	その他
小学校	32	42	21	1	12	1	30	8	8	14	25	0
中学校	66	81	29	0	2	1	1	109	5	0	10	25
高等学校	13	20	5	0	1	0	5	21	3	0	2	1
特別支援学校・学級	9	5	5	1	0	0	10	0	0	1	1	0
合計	120	148	60	2	15	2	46	138	16	15	38	26

※事前連絡校による統計

※「ワークシート活用」＝館提供のワークシートを活用して見学。

※「特別依頼」＝学芸員による館の概要説明や建物の解説など。

※付帯施設利用の「その他」＝ライブラリーの利用、エントランスでのチェックポイント設置など。

(エ) ボランティア、学芸員等による解説へのテーマ別対応状況

※令和4年度はボランティア等による解説は7月より再開

(単位：延べ校数)

依頼テーマ	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校・学級	その他
テーマ1 さがみの古代に生きた人びと	0	0	0	0	1
テーマ2 都市鎌倉と中世びと	0	0	0	0	1
テーマ3 近世の街道と庶民文化	1	0	0	0	1
テーマ4 横浜開港と近代化	1	1	0	1	1
テーマ5 現代の神奈川と伝統文化	0	0	0	0	1
特別展示・その他 (含む専門解説)	0	0	0	0	1

(f) 教員、児童・生徒に向けた資料の提供

小・中学生向けの「小・中学生の歴史学習に関連した展示資料」と、小学校及び中学校教員向けの「歴史学習に対応した主な展示資料」を引き続きホームページに掲載するとともに、下見に来館した教員へ配付するなど、展示の内容を紹介する資料として活用した。

「高校生のための展示資料50」も併せて、ホームページに掲載している。

(g) ワークシートの作成と活用

児童・生徒向けに「けんぱく見学シート」、「けんぱくクイズ」、「けんぱくミッション」をホームページに掲載し提供した。課題を持って見学するうえで効果的であった。

(h) 教員対象の講座・研修の実施

教員のための博物館講座

第1回 日時 8月10日(水) 10:00~16:00 参加者 20名

第2回 日時 8月17日(水) 10:00~16:00 参加者 16名

内容(第1回・第2回とも同じ内容) 第1回は「社会体験研修」の5名を含む

バックヤードツアー・学芸員による常設展示解説・常設展見学・特別展示解説・特別展見学
学芸員による展示資料を活用した教材化のワークショップ

社会体験研修の実施

1日目 日時 8月10日(水) 10:00~16:00 参加者 5名

内容 第1回「教員のための博物館講座」に合同開催

2日目 日時 8月11日(木) 19:00~17:00 参加者 5名

内容 博物館資料の調査と整理、広報・企画作業、博物館の学校利用について

(i) 出張講座

休館中の学校連携の一環として開始した、学芸員が講師となり県内の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校に出張して講義をする「出張講座」を実施した。

日付	学校名	講座名	概要	講師名	対象学年 授業時限数 受講者数
5月17日 (火)	湘南白百合学園中学・高等学校	博物館・学芸員の仕事	博物館という施設とそこで資料に関わる様々な仕事をしている学芸員について、実際の体験に基づき解説した。	学芸員 梯 弘人	中2 1時限 152名
5月31日 (火)	藤沢市立大鋸小学校	鎌倉大仏になってみよう	神奈川の仏像、特に鎌倉大仏について、その形の意味や服装を実際にまねしてもらいながら紹介した。	学芸員 神野 祐太	小6 1時限 121名
6月22日 (水)	鎌倉市立今泉小学校	江戸時代の花、浮世絵の話	浮世絵の歴史、木版画の技術、題材、歌麿、北斎、広重など浮世絵師の魅力について紹介した。	企画普及課長 桑山 童奈	小6 1時限 74名
6月23日 (木)	横浜市立桂台小学校	鎌倉大仏になってみよう	神奈川の仏像、特に鎌倉大仏について、その形の意味や服装を実際にまねしてもらいながら紹介した。	学芸員 神野 祐太	小6 3時限 73名
7月4日 (月)	海老名市立有鹿小学校	鎌倉大仏になってみよう	神奈川の仏像、特に鎌倉大仏について、その形の意味や服装を実際にまねしてもらいながら紹介した。	学芸員 神野 祐太	小6 3時限 93名

7月7日 (木)	横須賀市 立野比東 小学校	鎌倉大仏に なってみよ う	神奈川の仏像、特に鎌倉大仏に ついて、その形の意味や服装を 実際にまねしてもらいながら紹 介した。	学芸員 神野 祐太	小6 1時限 79名
7月15日 (金)	海老名市 立柏ヶ谷 小学校	中世の美術	室町時代の水墨画について、ど のようなテーマで何が描かれて いるか、どのように楽しむかに ついて紹介した。	学芸員 橋本 遼太	小6 2時限 63名
8月30日 (火)	川崎市立 下沼部小 学校	鎌倉大仏に なってみよ う	神奈川の仏像、特に鎌倉大仏に ついて、その形の意味や服装を 実際にまねしてもらいながら紹 介した。	学芸員 神野 祐太	小6 3時限 175名
9月13日 (火)	横浜市立 駒岡小学 校	鎌倉大仏に なってみよ う	神奈川の仏像、特に鎌倉大仏に ついて、その形の意味や服装を 実際にまねしてもらいながら紹 介した。	学芸員 神野 祐太	小6 4時限 131名
9月29日 (木)	海老名市 立柏ヶ谷 小学校	江戸時代の 花、浮世絵 の話	浮世絵の歴史、木版画の技術、 題材、歌麿、北斎、広重など浮 世絵師の魅力について紹介し た。	企画普及課長 桑山 童奈	小6 2時限 63名
11月1日 (火)	川崎市立 南菅小学 校	江戸時代の 花、浮世絵 の話	浮世絵の歴史、木版画の技術、題 材、歌麿、北斎、広重など浮世絵 師の魅力について紹介した。	企画普及課長 桑山 童奈	小6 2時限 46名
11月15日 (火)	横浜市立 上末吉小 学校	日本の開国 と異文化交 流	ペリー来航、横浜開港など、日 本の開国過程、幕末明治期の異 文化交流について紹介した。	主任学芸員 嶋村 元宏	小6 3時限 98名
11月18日 (金)	横浜市立 東高等学 校	江戸時代の 花、浮世絵 の話	浮世絵の歴史、木版画の技術、題 材、歌麿、北斎、広重など浮世絵 師の魅力について紹介した。	企画普及課長 桑山 童奈	高2 1時限 21名
11月22日 (火)	座間市立 相模野小 学校	鎧兜の移り 変わりから 見る歴史	講師が鎧を着用して、平安後期 から戦国時代にかけての鎧兜の 変遷や作り方、社会の変化につ いて紹介した。	学芸員 梯 弘人	小6 3時限 102名
11月24日 (木)	横浜市立 初音が丘 小学校	絵図で見る 江戸時代	江戸時代の日本図、関東図、武 蔵国相模国絵図などに加え、学 校がある地域の絵図を見て、地 域の歴史を紹介した。	非常勤学芸員 根本 佐智子	小6 3時限 110名
12月5日 (月)	横浜市立 上末吉小 学校	旅のよそお いと神奈川 の名所	江戸時代の旅と、旅に持ってい く道具が今のものと昔のものど う違うのかを紹介した。	学芸員 寺西 明子	小6 3時限 98名
1月24日 (火)	フェリス 女学院中 学校・高 等学校	中世武士の 鎌倉	鎌倉時代の武士や中世人の心性 について『呑香童子絵巻』など の絵画資料を用いて紹介した。	学芸員 渡邊 浩貴	中2 3時限 184名
3月3日 (金)	神奈川県 立あおば 支援学校	旅のよそお いとかなが わの名所	江戸時代の旅と、旅に持ってい く道具が今のものと昔のものど う違うのかを紹介した。	学芸員 寺西 明子	高等部1年 1時限 32名
合 計					40時限 1,715名

(ケ) 大学団体利用

授業内容等の専門性を高めるため、常設展または特別展等の見学や学芸員による解説を行う。

【受入実績】

	見 学 日	大 学 名	人 数 (名)
1	4月16日(土)	鶴見大学	80
2	6月5日(日), 12日(日), 19日(日)	法政大学	54
3	6月7日(火), 10日(金), 11日(土)	神奈川大学	21
4	6月12日(日)	東洋大学	12
5	8月3日(水)	神奈川大学	10
6	8月6日(土)	東洋英和女学院大学	10
7	8月6日(土)	専修大学	18
8	9月2日(金)	國學院大學栃木短期大学	6
9	10月17日(月)	日本大学	18
10	10月20日(木)	慶應義塾大学	16
11	11月2日(水)	防衛大学	24
12	11月13日(日)	早稲田大学	5
13	11月16日(水)	大東文化大学	19
14	11月20日(日)	立教大学	6
15	11月22日(火)	お茶の水女子大学	9
16	11月23日(水・祝)	東京都立大学	5
17	12月3日(土)	専修大学	20
18	12月23日(金)	防衛大学	22
19	1月27日(金)、 2月7日(火)、 9日(木)、10日(金)	横浜デザイン学院	95
合 計			450

(5) ミュージアムライブラリー

県民の学習活動を支援する場として、1階フリーゾーンにミュージアムライブラリーを設置している。図書、情報システム端末(デジタルミュージアム用)などがあり、展示を中心とした神奈川の歴史や文化について学ぶことが出来る。

職員1名以上が常駐し、質問等を受け付けるなど、生涯学習の場として広く利用されるように運営している。(図書、情報システムの内容についてはそれぞれの項目に記載)

令和4年度の利用者総数は4,808名で、フリーゾーンを含めた入館者に対する比率は5.4%。

ア 閲覧用座席数

16席、来館者用情報システム端末：2台

イ 利用者数

(単位：名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
小学生	12	9	11	42	124	6	8	3	7	16	5	131	374
中学生	2	152	0	3	8	0	3	3	1	0	3	12	187
高校生	3	4	1	2	8	2	0	2	2	0	1	6	31
大学生	8	3	26	4	28	22	6	11	9	4	3	6	130
一般成人	142	195	191	182	322	187	152	193	138	181	119	386	2,388
65歳以上	109	125	120	133	125	138	120	134	104	133	118	286	1,645

生徒引率	0	7	0	1	7	0	0	0	15	0	0	23	53
合計	276	495	349	367	622	355	289	346	276	334	249	850	4,808
開館日数(日)	24	26	25	26	26	26	25	26	21	22	22	25	294
1日平均	11.5	19.0	14.0	14.1	23.9	13.7	11.6	13.3	13.1	15.2	11.3	34.0	16.4

ウ 利用形態

(単位：名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
図書閲覧	154	338	208	212	227	208	163	206	160	203	144	306	2,529
情報システム端末	3	3	6	5	10	2	8	2	2	2	2	11	56
各種照会※	102	325	186	106	188	154	136	187	120	130	152	349	2,135
ワークシート				16	73							125	214
コピーサービス	(件数)	10	11	22	14	16	27	25	17	12	14	8	34
	(枚数)	110	202	312	162	140	126	458	145	85	163	95	139

※レファレンス、写真資料の特別利用、ポスター掲出・チラシ配架、周辺施設案内など

(6) 普及印刷物

ア 図録

- ・特別展図録「洞窟遺跡を掘る—海蝕洞窟の考古学—」
令和4年4月28日神奈川県立歴史博物館発行
- ・特別展図録「地図最前線—紙の地図からデジタルマップへ—」
令和4年7月15日神奈川県立歴史博物館発行
- ・特別展図録「源頼朝が愛した幻の大寺院永福寺と鎌倉御家人—荘厳される鎌倉幕府とそのひろがり—」
令和4年10月14日合同会社小さ子社発行

イ 広報印刷物

- ・特別展「洞窟遺跡を掘る—海蝕洞窟の考古学—」ポスター・チラシ
- ・特別展「地図最前線—紙の地図からデジタルマップへ—」ポスター・チラシ
- ・特別展「源頼朝が愛した幻の大寺院 永福寺と鎌倉御家人—荘厳される鎌倉幕府とそのひろがり—」
ポスター・チラシ
- ・特別陳列「松平造酒助江戸在勤日記—武士の絵日記—」ポスター・チラシ
- ・「催し物のご案内（2022年4月～2023年3月）」

ウ 神奈川県立歴史博物館だより

- 『神奈川県立歴史博物館だより』VOL. 28 No. 1 通巻220号 令和4年5月24日（2,000部）
- 『神奈川県立歴史博物館だより』VOL. 28 No. 2 通巻221号 令和4年8月3日（2,000部）
- 『神奈川県立歴史博物館だより』VOL. 28 No. 3 通巻222号 令和5年2月1日（2,000部）

(7) ボランティアの活動

博物館ボランティアについては、展示解説ボランティアの活動を平成9年度から開始し、平成13年度から活動年数を最長5年とした。また、写真職が撮影したフィルムをスキャンしデジタル化する作業に従事するボランティアもいた。平成22年度からは行事補助ボランティアを導入して活動を拡大した。

令和4年度のボランティア人数は95名（令和5年3月末日現在）である（詳細は下記「(イ)ボランティア数」参照）。なお、新型コロナウイルスの影響から長期のボランティア活動休止があり、活動機会が制限されたため、18期のボランティアについては1年間任期を延長し令和4年度は16期と17期のボランティアが卒業した。令和3年度は新規のボランティアの募集を行わなかったが、令和4年度は新規ボランティアの募集を行い、22名が新たに令和5年度からボランティアとして活動することになった。

ア 活動状況及び実績

新型コロナウイルス感染状況等に鑑み、展示解説を中止していたが令和4年7月から常設展示し内での展示解説を10人以内10分以内という一定の制限の下再開した。また団体解説についても同様の制限の下展示解説の受付を再開した。特別展の展示解説については令和4年度中の再開には至らなかったが、令和5年3月に令和5年度の特別展からボランティアの展示解説を再開することを決めた。2年間行っていなかったボランティア全体の館外研修を令和4年11月16日(水)と11月29日(火)に2日間に分けて平塚市博物館で開催した。令和5年2月15日(水)と2月23日(木・祝)にボランティアを対象としたフォローアップ研修も開催した。また、ボランティア会では、幹事会(各曜日班から2名の幹事を選出)を組織し、月1回、館側の担当者と様々な調整や情報・意見交換を行うほか、年3回『ボランティアニュース』の編集・発行や、自主的な研修の企画等を行っている。

【参考：コロナ禍以前の活動内容】

展示解説ボランティア：常設展の展示解説、特別展開催中には1日2回の定時解説(11時、15時)を行うほか、看視や来観者案内を行う。

行事補助ボランティア：子ども向け行事等の指導補助をはじめ、受付や案内など、学習支援事業の補助を行う。

(ア) 活動日数及び人数

月	活動日数(日)	延べ活動人数(名)
4	24	277
5	26	297
6	25	288
7	26	295
8	26	264
9	26	283
10	25	288
11	26	289
12	21	205
1	22	244
2	22	239
3	25	289
合計	294	3,258

(イ) ボランティア数(令和5年3月末現在)

展示解説ボランティア 計82名

火曜班：14名、水曜班：14名、木曜班：12名、金曜班：15名、土曜班：13名、日曜班：14名

行事補助ボランティア 計13名

(年代別・男女別人数等)

年代	男	女	計
30	1	0	1
40	1	0	1
50	0	3	3
60	23	14	37
70	36	17	53
合計	61	34	95
平均年齢	69.1	67.8	68.6

イ 専門研修

翌年度の新規採用ボランティアを対象として、展示解説に必要な常設展示に関する知識や資料の保存、教育普及活動について、その内容を知ってもらうために実施する。

新型コロナウイルス感染防止のため、令和2年度及び令和3年度から活動のボランティアの専門研修については、変更や中止が多かった。そこで、令和2年度及び令和3年度活動開始のボランティアの中で希望者は令和5年度活動予定のボランティアと一緒に令和4年度に実施した専門研修を受講できることとした。

- ・令和5年度活動開始予定の新規ボランティア及び令和2年度及び令和3年度活動開始のボランティアのうち希望者を対象とした

実施日：1月21日（土）、29日（日）、2月4日（土）、11日（土）、19日（日）、25日（土）、3月11日（土）

ウ その他の研修

(ア) 特別展勉強会

特別展「洞窟遺跡を掘る」・特別展「地図最前線」・特別展「永福寺と鎌倉御家人」・かながわの遺跡展「縄文人の環境適応」・特別陳列「松平造酒助江戸在勤日記」開催にあたり、看視活動に備えるため、必要な資料を配布するとともに、これまで展示室で担当学芸員が解説しながら行っていた勉強会を、新型コロナウイルス感染防止のため、令和3年度に引き続き講堂での講座形式に替えて実施した。

(イ) フォローアップ研修

常設展示等解説のフォローアップとして、例年、常設展からテーマを決めて研修講座を実施している。令和4年度は下記の通り実施した。

令和5年2月15日（水）15時～15時40分、16時～16時40分（学芸員 鈴木愛乃）

令和5年2月23日（木・祝）15時～15時40分、16時～16時40分（主任学芸員 新井裕美）

※新型コロナウイルス感染防止の為に1日に2回行い、分散して行った。

(8) 博物館実習生の受け入れ

「神奈川県立歴史博物館博物館実習生受け入れ要領」に基づき、見学実習と実務実習を受け入れた。

ア 見学実習

当館の概要（歴史・施設・組織・展示や事業概要など）について説明した後、展示室、バックヤード等の見学を行う。

【受け入れ実績】

	見 学 日	大 学 名	人 数 (名)
1	5月21日（土）	日本大学	38
2	6月5日（日）	日本女子大学	77
3	6月5日（日）	大正大学	9
4	8月5日（金）	東海大学	13
5	8月6日（土）	日本女子大学	8
6	8月30日（火）	日本女子大学	6
7	9月16日（金）	日本女子大学	11
8	11月5日（土）	日本大学	22
9	11月6日（土）	東海大学	47
10	12月11日（日）	東京家政学院大学	8
11	12月11日（日）	目白大学	13
		合 計	252

イ 実務実習

博物館運営に関わる業務や教育普及事業、学芸部の資料の取扱いや整理の方法などについて学ぶ全6日間の実習を行った。

○応 募 数：36 大学47名

○受 入 数：16 大学16名

○実 受 入 数：16 大学16名

○実受入大学名：鎌倉女子大学、京都女子大学、国士舘大学、駒沢女子大学、淑徳大学、成城大学、聖心女子大学、大正大学、中央大学、鶴見大学、東洋大学、日本女子大学、日本大学、明治大学、立教大学、立命館大学

(1大学につき1名)

【実習内容】

博物館運営にかかわる業務や教育普及事業、博物館資料の取扱いや整理の方法などについて学ぶ全6日間の実習を行った。

	日付	内容
第1日	9月7日(水)	ガイダンス、当館の概要、館内・バックヤード見学、博物館の広報とデザイン、学校連携、最終日の課題について
第2日	9月8日(木)	ボランティア活動、資料の受入と収蔵資料データベース(情報システム)、写真資料の役割と保存、写場見学・撮影体験、資料保存と環境
第3日	9月9日(金)	考古資料の取扱い方(梱包・輸送、資料の固定) 民俗資料の取扱い方(クリーニングと採番)
第4日	9月14日(水)	美術資料の取扱い方 (立体・平面資料の調書の取り方)
第5日	9月15日(木)	歴史資料の取扱い方 (近世資料の整理と目録作成、近代資料の整理と運搬)
第6日	9月16日(金)	教育普及の実践と発表 (常設展のワークシート作成と実践)

6 資料

(1) 条例・規則

ア 神奈川県立の博物館条例

〔 昭和41年10月7日
条例第43号 〕

最終改正 平成28年10月21日条例第77号

(趣旨)

第1条 この条例は、神奈川県立の博物館の設置、管理等に関し必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 博物館法(昭和26年法律第285号)に基づき、次のとおり神奈川県立の博物館(以下「博物館」という。)を設置する。

名 称	位 置	目 的
神奈川県立歴史博物館	横浜市中区南仲通5丁目60番地	神奈川の文化及び歴史に関する資料の収集、保管及び展示並びにこれに関する調査研究、情報提供等を行い、県民の学習活動を支援すること。
神奈川県立生命の星・地球博物館	小田原市入生田499番地	地球及び生命の営みに関する資料の収集、保管及び展示並びにこれに関する調査研究、情報提供等を行い、県民の学習活動を支援すること。

(職員)

第3条 博物館に、事務職員、技術職員その他の所要の職員を置く。

(観覧料の納付)

第4条 博物館に展示している博物館資料を観覧する者(以下「観覧者」という。)は、別表に定める額の観覧料を納めなければならない。ただし、公開の施設に展示している博物館資料の観覧については、この限りでない。

2 前項本文の規定にかかわらず、特別な企画の展覧会を開催する場合の観覧料は、神奈川県教育委員会(以下「教育委員会」という。)がその都度定めることができる。

3 教育委員会は、第1項本文及び前項に規定する観覧料を納めた者に観覧券を交付するものとする。

4 観覧者(別表備考2に規定する者を除く。)は、入館する際に、前項に規定する観覧券又はこれに代わるものとして教育委員会が認めたものを提出し、又は提示しなければならない。

(観覧料の減免)

第5条 前条第1項本文及び第2項の規定にかかわらず、教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する者については、観覧料を減免することができる。

(1) 教育委員会が開催する行事に参加する者

(2) 教育課程に基づく教育活動として入館する高校生(学校教育法(昭和22年法律第26号。別表備考において「法」という。)第1条に規定する高等学校及び中等教育学校の後期課程並びにこれらに準ずる教育施設に在学する者という。別表において同じ。)並びに児童及び生徒の引率者

(3) その他教育委員会が適当と認めた者

(観覧料の不還付)

第6条 既に納付された観覧料は、還付しない。ただし、教育委員会が災害その他特別の事情により還付するのを適当と認めたときは、この限りでない。

(資料の特別利用)

第7条 博物館資料を学術上の研究のため特に利用しようとする者は、教育委員会の承認を受けなければならない。

(利用の制限)

第8条 教育委員会は、博物館の利用者が次の各号のいずれかに該当する場合には、その利用を制限することができる。

(1) この条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。

(2) 他の利用者に著しく迷惑をかけるおそれがあると認めるとき。

(3) 施設、博物館資料等を損傷するおそれがあると認めるとき。

(4) その他教育委員会が必要と認めるとき。

(委任)

第9条 この条例に定めるもののほか、博物館の管理等に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

この条例は、公布の日から起算して6月をこえない範囲内で教育委員会規則で定める日から施行する。（昭和41年11月18日教育委員会規則第8号で、同41年11月21日から施行。ただし、第4条から第9条までの規定の施行期日にあつては昭和42年3月22日とし、第10条の規定の施行期日にあつては昭和42年4月1日とする。）

(略)

附 則(平成28年10月21日条例第77号)

この条例は、平成28年12月1日から施行する。

別表(第4条関係)(抄)

区 分		個 人	20人以上の団体
神奈川県立歴史博物館	20歳以上65歳未満の者 (学生及び高校生を除く)	1人につき 300円	1人につき 250円
	20歳未満の者(高校生を除く。) 学生(65歳以上の者を除く。)	同 200円	同 150円
	65歳以上の者	同 100円	同 100円
	高 校 生	同 100円	同 100円

備考 1 学生とは、法第1条に規定する大学及び高等専門学校、法第124条に規定する専修学校並びに法第134条第1項に規定する各種学校に在学する者をいう。

2 学齢に達しない者並びに法第1条に規定する小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程及び特別支援学校並びにこれらに準ずる教育施設に在学する者は、無料とする。

イ 神奈川県立の博物館組織規則

〔昭和41年11月18日
教育委員会規則第10号〕

最終改正 平成18年3月31日教育委員会規則第13号

(趣旨)

第1条 この規則は、神奈川県立の博物館の組織に関し必要な事項を定めるものとする。

(部等の設置)

第2条 神奈川県立の博物館に、次の部及び課を置く。

管理課

企画情報部

企画普及課

情報資料課

学芸部

(管理課の事務)

第3条 管理課においては、次の事務を分掌する。

- (1) 公印に関する事。
- (2) 文書の收受、発送、保存、閲覧等に関する事。
- (3) 個人情報の開示、訂正、利用停止等に関する事。
- (4) 人事に関する事。
- (5) 財産の管理及び館内の秩序の維持に関する事。
- (6) 予算の経理に関する事。
- (7) 観覧料の徴収に関する事。
- (8) 物品の調達及び処分に関する事。
- (9) 寄贈品の受納並びに寄託品の受納及び返納に関する事。
- (10) その他他部課の主管に属しない事。

第4条 削除

(企画普及課の事務)

第5条 企画普及課においては、次の事務を分掌する。

- (1) 博物館活動の企画及び調整に関する事。
- (2) 博物館活動の普及及び広報に関する事。
- (3) 博物館活動に関する講演会、講習会、研究会等の開催に関する事。
- (4) 他の博物館その他教育、学術又は文化に関する施設、団体等との連絡、協力及び情報の交換に関する事。

(情報資料課の事務)

第6条 神奈川県立歴史博物館の情報資料課においては、次の事務を分掌する。

- (1) 人文科学等に関する図書等の収集、整理、保管及び閲覧に関すること。
- (2) 博物館情報システムの運用に関すること。

2 神奈川県立生命の星・地球博物館の情報資料課においては、次の事務を分掌する。

- (1) 自然科学等に関する図書等の収集、整理、保管及び閲覧に関すること。
- (2) 博物館情報システムの総合的企画及び調整並びに運用に関すること。

(学芸部の事務)

第7条 学芸部においては、次の事務を分掌する。

- (1) 博物館資料の収集、製作、整理、保管、展示、解説及び指導に関すること。
- (2) 博物館資料の専門的及び技術的な調査研究に関すること。

(委任)

第8条 この規則の施行に関し必要な事項は、神奈川県教育委員会教育長が定める。

附 則

この規則は、昭和41年11月21日から施行する。

(略)

附 則(平成18年3月31日教育委員会規則第13号)

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

ウ 神奈川県立の博物館の利用等に関する規則

〔 昭和41年11月18日
教育委員会規則第9号 〕

最終改正 令和5年3月31日教育委員会規則第15号

(趣旨)

第1条 この規則は、神奈川県立の博物館の利用等に関し必要な事項を定めるものとする。

(権限の委任)

第2条 次に掲げる神奈川県教育委員会の権限は、神奈川県教育委員会教育長(以下「教育長」という。)に委任する。

- (1) 神奈川県立の博物館条例(昭和41年神奈川県条例第43号。以下「条例」という。)第4条第2項の規定により観覧料を定めること。
- (2) 条例第4条第3項の規定により観覧券を交付すること。
- (3) 条例第4条第4項の規定により観覧券に代わるものを認めること。
- (4) 条例第5条の規定により観覧料を減免すること。
- (5) 条例第6条ただし書の規定により観覧料の還付を認めること。
- (6) 条例第7条の規定により利用を承認すること。
- (7) 条例第8条の規定により利用を制限すること。

(休館日等)

第3条 神奈川県立歴史博物館及び神奈川県立生命の星・地球博物館(以下「博物館」という。)の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 月曜日(国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「国民の祝日等」という。)に当たるときを除く。)
- (2) 国民の祝日等の翌日(土曜日、日曜日又は国民の祝日等に当たるときを除く。)
- (3) 12月28日から翌年の1月4日まで
- (4) その他教育長が定める日

2 前項の規定にかかわらず、教育長は、必要があると認めるときは、臨時に博物館を開館することができる。

(開館時間等)

第4条 開館時間は、次のとおりとする。

名 称	開 館 時 間
神奈川県立歴史博物館	午前9時30分から午後5時まで。ただし、午後4時30分以降は、入館することができない。
神奈川県立生命の星・地球博物館	午前9時から午後4時30分まで。ただし、午後4時以降は、入館することができない。

2 前項の規定にかかわらず、教育長は、必要があると認めるときは、これを変更することができる。

(観覧券の様式)

第5条 条例第4条第3項に規定する観覧券は、神奈川県立歴史博物館にあつては第1号様式とし、神奈川県立生命の星・地球博物館にあつては第2号様式とする。

(観覧料の減免申請)

第6条 観覧料の減免を受けようとする者は、あらかじめ、観覧料減免申請書を教育長に提出し、観覧料減免承認書の交付を受けなければならない。

(観覧料の還付申請)

第7条 観覧料の還付を受けようとする者は、観覧料還付申請書に観覧券を添えて教育長に提出し、観覧料還付承認書の交付を受けなければならない。

(資料の特別利用)

第8条 条例第7条の規定により博物館資料の特別利用の承認を受けようとする者は、特別利用承認申請書を教育長に提出し、特別利用承認書の交付を受けなければならない。

(利用の方法)

第9条 博物館を利用する者は、博物館の管理上必要な事項を守り、職員の指示に従わなければならない。

(資料の館外貸出し)

第10条 次に掲げるものは、教育長の承認を受けて博物館資料の館外貸出しを受けることができる。

- (1) 国立の博物館、博物館法(昭和26年法律第285号)第2条第1項に規定する博物館及び同法第31条第1項の規定により文部科学大臣の指定した博物館に相当する施設
- (2) 社会教育法(昭和24年法律第207号)第21条に規定する公民館
- (3) 国立の図書館及び図書館法(昭和25年法律第118号)第2条第1項に規定する図書館
- (4) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第1条に規定する学校
- (5) その他教育長が適当と認めるもの

2 前項の規定による承認を受けようとするものは、館外貸出承認申請書を教育長に提出し、館外貸出承認書の交付を受けなければならない。

(館外貸出しの期間)

第11条 博物館資料の館外貸出しの期間は、30日以内とする。ただし、教育長は、特に必要があると認めるときは、これを延長することができる。

2 前項の館外貸出しの期間は、博物館が当該博物館資料を引き渡した日から起算してその返還を受ける日までの日数により算定するものとする。

3 教育長は、館務の都合により必要があるときは、博物館資料の館外貸出しの期間中であつても、当該博物館資料の返還を求めることができる。

(館外貸出しをした資料の利用方法)

第12条 博物館資料の館外貸出しを受けたものは、当該博物館資料を、承認を受けた利用の目的又は場所以外の目的又は場所で、利用してはならない。

(資料滅失等の届出)

第13条 博物館資料の館外貸出しを受けたものは、当該博物館資料を滅失し、又は損傷したときは、直ちに資料滅失(損傷)届出書を教育長に提出しなければならない。

(寄託を受けた資料の利用の制限)

第14条 寄託を受けた博物館資料の館外展示及び館外貸出しは、寄託者の承諾がある場合のほかは、行なうことができない。

(委任)

第15条 この規則の施行に関し必要な事項は、教育長が定める。

附 則

この規則は、昭和41年11月21日から施行する。ただし、第2条から第9条までの規定は、昭和42年3月22日から施行する。

(略)

附 則(令和5年3月31日教育委員会規則第15号)

この規則は、令和5年4月1日から施行する。

(2) 利用案内

- 1 名称：神奈川県立歴史博物館 (Kanagawa Prefectural Museum of Cultural History)
- 2 所在地：横浜市中区南仲通 5-60 〒231-0006
- 3 電話：045-201-0926(代表)
- 4 FAX：045-201-7364
- 5 ホームページ：<https://ch.kanagawa-museum.jp/>
- 6 交通：みなとみらい線「馬車道駅」3・5番出口から徒歩1分、
横浜市営地下鉄「関内駅」9番出口から徒歩5分、JR「桜木町駅」新南口（ICカード専用）
から徒歩5分
- 7 休館日：月曜日(ただし、祝日の場合は開館)、資料整理休館日、年末年始
- 8 観覧料：常設展
 - ・20歳以上(学生を除く)：300円(250円) ()内は20名以上の団体
 - ・20歳未満及び学生：200円(150円)
 - ・高校生及び65歳以上：100円(100円)
 - ・中学生以下及び障害者手帳等をお持ちの方は無料特別展
 - ・常設展とは別料金となり、金額は展示ごとに別途定める。コレクション展
 - ・無料
- 9 団体見学：事前にご連絡ください。
- 10 地図



神奈川県立歴史博物館年報 令和4年度

令和5(2023)年9月1日

編集・発行 〒231-0006

横浜市中区南仲通5-60

神奈川県立歴史博物館

本書の無断転載を禁ず

ISSN 1346-6127

Kanagawa Kenritsu Rekishi Hakubutsu-kan

Nen-po

Annual Report of the Kanagawa Prefectural Museum of Cultural History

(2022.4~2023.3)

Kanagawa Prefectural Museum of Cultural History

Naka-ku, Yokohama, Kanagawa, JAPAN